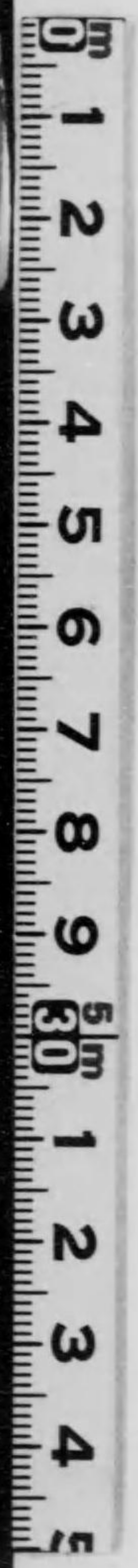


14
701A



始



桑木博士講述

(非賣品)

哲學

全

大正十二年
東京帝國大學
講義



桑木博士講述

(非賣品)

學

全

大正十二年度
東京帝國大學 講義

大正
13. 10. 30
内交



14-701

哲学 目次

第一章	哲学ノ概念	一
第一節	哲学思想	一
第二節	哲学ノ形式	七
第三節	哲学ノ内容	二
第二章	科学ト哲学	二
第一節	科学ノ分類	四
第二節	文化科学	六
第三節	價值ノ哲学(文化價值ト哲学ノ關係)	四
第三章	哲学ト形而上学	四
第一節	論理の形而上学	九
第二節	直覺主義ノ哲学	六〇
第三節	批評哲学	七五

一 一 二 二 四 四 六 四 四 九 九 六〇 七五



桑木博士講義

(非賣品)

哲

學

全

大正十一年夏 東京帝國大學 編纂



第四章	取而上学ノ問題	八九
第一節	实在ノ本質	九〇
第二節	实在ノ屬性	一〇三
第三節	实在ノ過性	一二四
第五章	智識哲学(一)	一三六
第一節	総説	一三六
第二節	理性論ト経験論	一四三
第三節	批評的經驗論	一四四
第六章	智識哲学(二)	一五三
第一節	智識ノ本質(総説)	一五三
第二節	智識ノ批評	一五九
第三節	主観	一六八
第四節	真理ノ標準	一七五
第五節	客観的实在	一八一
哲学目次終リ		

哲 學

桑 木 博 士 述



第一章 哲學ノ概念
第一節 哲學思想

哲學ノ語義ハ頗ル多岐ニシテ時トシテハ單ニ學ト云フコト、同義語ニ使
用セラレ時トシテハ學ニアラサルモノノ意義ニ用ヒラル、而シテ此ノ哲學
ノ意義ハ何處ノ國ニモ存在スルモ其ノ語ヲ精確ナル意味ニ於テ學ヲ表ハ
スニ至リテハハ希臘ニ於ケル哲學ノ發達セシ以來ノコトニシテ今日ハ概ニ
哲學ト稱スルハ希臘以來ノ思想ノ系統ヲ引ケルモノナリ、希臘ニテハ
Philosophiaト云フ語ヲ用ヒテ此ノ學ノ名トス、之カヤカテ歐洲各國
ニ用ヒラル、ニ至ル、今日吾人カ哲學ト稱スルハ希臘ノPhilosophia

ノ取ヲ引ケルモノナリ、此語ノ意義ハ *Quintus* (愛) *Oppia* (愛) ト、意ヨリ即チ智ヲ愛スルノ義ナリ、

此ノニツニ結ヒ付ケラレタル語カ動詞トシテ用ヒラレタル *Pythagoras* 或ハ *Platonis* ヲ以テ最初ト云ハル、其ノ初メニ於テハ單ニ學術ノ道理ヲ解メルト云フ漢意タル意ニ用ヒラレ即チアテエル智識等同ヲ包括スルニ用ヒラレ、然ルニ後世種々ノ學問發立シ、醫學、教養、自然科學等水第ニ合離シ來リ近代ニナリテハ所云精神科學カ之ニ反據ヲ懸スニ至リタリ、オクシテ哲學ト云フ領分次第ニ減少シ遂ニ獨立シテ存在スルヲ稱スト稱セラル、ニ至ル、此ハ最少ノ好意ヲ有スルモノハ只種々ノ學問ヲ包括スル空名ニスキスト解叙スルモノナリ、然ルニ又一方ニ於テハ哲學ハモトヨリ普通ノ學問トハ異ルモノニシテ學トハ專口名付ケサルヲ宜シトス、即チ此ノ哲學ニ對シテ一種特別ナル智識ナラザルヘカラスト考フルモノナリ、斯ク正反對ノ意見カ在ニ存在スト云モ此等ノ解叙ニ依レハ哲學ハ充分ノ學的價値ヲ有セザルニ至ル、然ルニ吾人ハ此ノ外ニ哲學ハ一種ノ學ナレトモ此ノ學問トハ異リ

タル美ヲ有スト云ヒ得ヘシ、斯クノ如キ愛意ヲ以テ此ヨリゴノ論及ヲ違ノント歟ス、

此ノ問題ヲ解叙スルニ至ツテ吾人ハ哲學ニ對シテ學問的ト非學問的或ハ教養ノ哲學ト哲學思想トヲ區別セザルヘカラス、普通ニ天地人生等ニ關シテ或種ノ觀念ヲ述フルモノアラハ之ヲ哲學ト稱スルコトアルモ之レハ非學問的哲學或ハ哲學思想ト稱スルモノニシテ此ノ意味ニ於テ吾人ハ詩歌其他ノ文藝中ニ在ル哲學思想ヲ哲學ト呼フコトナリ、或ハ之ヲ世界觀、人生觀ノ名ニテ呼フ、斯クノ如キハ何人モ多少懷包スル所ニシテ古代ノ神話、傳説、但言、格言等ノ中ニ見ルコトアルヘシ、之ニ反シテ所云學問的哲學ト云フモノモ畢竟斯クノ如キ思想ヨリ發シタルモノニシテ結局之ヲ組織シタルモノニ通キスト考ヘ得ルカ、殊ニ其形式等ニ於テ非常ナル洞達アルカ故ニ問題ソノモノモ本異ル、單ニ實際的要求ヨリ云ハハ却ツテ非學問的哲學ヲ説キタルモノ歟シ、蓋シ人ハ議論ニ依ツテ動クモノニアラス、專口本能衝動ニヨツテ動クモノニシテソノ方カ人生ノ根本ナリ、ソレニ理論ヲ發露スルコトハ實際生活ニ直接利益ナキコトナリ、此ノ意味ニ於テ吾人ハ非

集

三

サテ進ンテ學トシテ哲學ヲ考フレハ吾人ハ一面他ノ一般ノ學向ト共通ノ性實ヲ有シ他面特色ヲ具フルモノト考ヘサルヘカラス。此ノニツノ方面ハ凡テノ定義ヲ依ルニ必要ナリ、蓋シアル事物ノ定義ハソノ事物ノ屬シテナレ類念 (*Genus*) トソノ物ノ差別セラル、念即チ差別性 (*Differenz*) 換言スレハ派生 (*Species*) ヲ具ヘサルヘカラス。然レニ哲學ニ於テハ此ノ兩者ヲ定ムルコト困難ナリ、或ル人 (*Wunderband*) ハ哲學中ニハ學ニアラサルモノアレハ學ニ入ルヘカラストスルモノアリ、然ルニ假リニ之ヲ學トシテモ他ノ學ト時ニ區別スル莫確定セズ、然シナカラ蘇達ノ如ク哲學ヲ嚴密ニ學トシテノ哲學ニ限ラハ所云類念ハ確定セリト云フヘシ、次ニ種差ヲ何処ニ置クヘキカト云フ莫ニ問シテハ之レヲニツノ莫ヨリ考フルヲ得、即チハソノ外形ヘハソノ内面ナリ、即チ哲學ト他ノ學同トハ第一外形或ハ形式ニ於テ差別アリ、即チ研究方法及見方ニ於テ相違セリ、内面トハ即チ内容 (*Inhalt*) ニシテ哲學ニ於テハ科學ト異ニスル問題ヲ研究ス、故ニ吾人ノ哲學ニ問シ形式及内容ノ方面ヨリシテ論及スルヲ得、故チ之ヨリ學問哲學ノ意義ヲ定ム得ルナリ、

第二節 哲學ノ形式

哲學ノ形式ハ哲學ニ關スル心モ一般のナル定義ヲ由リ之ヲ追及シテ論シ出スヲ得、已ニ述ヘタルカ如ク哲學ノ辭源ハ人ニヨリテ異ナレハ之ヲ歴史ニ徴シテ一般共通ナルモノヲ探リ出スハ殆ント不可能ナリ、又若シ夫レヲ強イテ求ムレハ之ヲ抽象的ナルモノニ歸スルナリ、例ハ *Niboney* (哲學者) ノ哲學史ノ始メニ哲學ハ原理ノ學ナリト定義ヲ下セリ、之レハ一般の性質ヲ有スルト云モ未タ充分ノ意ヲ明リニスル餘ハズ、然レトモ吾人今斯クノ如キ定義ヲ基本トシテ之ヲ布釘シ其ノ中ヨリ哲學ノ形式的定義ヲ作ラン、之レカ流ムニハ原理ヲ詳シクシテ根本的原理 (*Grundprinzipale*) トシ、之ニ學ニ批評的語ヲ加フントス、斯クノ如キ形式ニ當テ改メテ各ノ語ヲ介折セントス、

- 一、 學 *Wissenschaft* science
- 二、 根本原理 *Grund principle*
- 三、 批評的 *Critical*

學

入

學トハ概念的智識ノ集團ナリ、ソノ學的智識ノ要件ハ三ニ區キル、
 (1)ハ概括的、(2)ハ方法的、(3)ハ合理的ノ三ツナリ、哲學ヲ學ト見ル莫ニ
 於テハ之等ノ三ツノ要件ヲ具ヘサルヘカラス、此ノ莫ニテ一般ノ科學ト
 一致シテ宗教大體ト同力ニ區別セラル、元來哲學ト宗教トハ要ニ同シキ
 問題ニ關係スルコトアリ、ソノ起源ニ遡リテ考フレハ共ニ神話ニ察スル
 モノト見ルヘシ、神話ノ中ニテ莫ノ說明的ノ部分ハ漸次科學トナリ、ソ
 ノ中ノ宗教的及ヒ教訓的部分ハ宗教トナリタリ、コノニ有ノ中間ニ入り
 テ之ヲ猶ヒツケントスルモノハ哲學ナリ、哲學ヲ以テ宗教ト念ク莫リヌ
 ル性質ノモノト見ルモノアリ、例ハハ宗教ハ念ク人間ノ感情ノ要求ヨリ
 生シ、或ハ道德ノ理想ヲ樹アンカ爲メニ生シタルモノトシテ考フル論者
 アレトモ一方大宗教ニ哲學ニ念ク同一事項ヲ別種ノ形式ニテ述フルモノ
 ナリ考フル人アリ、ツマリ哲學ハ概念トシテ現ハレ宗教ハ之ヲ直覺的ノモ
 ノトシテ現ハスモノトシテ考フルモノナリ、例ハハ Hegel ノ如シ、照
 シ宗教中ニ哲學ノ要素ノ包マレ居ルコトハ何人モ大部分一致スルコトヲ

或斯クノ如クニ見タル場合ニソノ宗教ト區別スル第一ノ莫ハコノ學ト云
 莫ナリ、

根本原理

根本原理トハ種々ノ科學ノ基礎トナルトコロノ原理ナリ、而テ上學派ニ
 於テハコノ基礎力特別ニ存在スルコトヲ主張スルニ極端學派ニ於テハ強
 ラス、照シナカラ斯クノ如ク内容ニ處スル論ニハ入ラス只論ノ意味ヲ解
 釈セン、之ニ五ツノ要素アリ

1. 普遍的 (一般的)
2. 究竟的 Ultimate 能對的
第一的
3. 統一性

此等ノ莫ニ於テ根本原理ノ學ハ此ノ故ニ科學ト區別セラル、
 以上ノコトヨリ哲學ハ古來學ニ科學ノ云ハ科學ノ科學ト稱セラル、保
 シ此ノ科學トノ關係ハ念慮觀ノ別トスヘキカ、照ラヌンバ而テ上ノ別
 ニ進キサルモノト見做スヘキナリ、只カケノ如ク哲學ノ問題ハ根本原理
 ト云フ念ヲ離ルヘカラサル故ニ若干ノ根本原理ヲ集メテ之ヲ以テ進キニ

其ノ根本原理トナスコトヲ避ケサルヘカラス、換言スレハ種々ノ科學ニ對シテ哲學アリトハ誤リナリ、

(三) 批評的

次ニ根本的學ハ如何ナル概ヲ以テ現ハレ居ルカヲ見ムトスレハ第三ノ批評的及進歩的ノ性質ヲ考ヘサルヘカラス、以上ノ根本的性質ハ哲學ト科學トノ相違矣ヲ辨的ニ見タルモノナルカ之ヲ動的ノ方面ヨリ見レハ進歩的及批評的ノ性質ヲ考フルヲ得ルナリ、然ルニ根本的學ハ一見スレハ確定的ナルモノニテミダリニ進歩變化スレコトナキ探考ヘラルヘシ、然レ學的原理トハ學者ノ談ケタルモノニシテ此ノ意味ニテ之ハ比較的ノモノナリ、然シナカラ普通ノ科學ニテハ此等ノ原理ニ相當スルモノカ常に直觀的ニ存在スト考ヘラル、科學ノ原理ハ直觀性ヲ有ス、然ルニ哲學ノ原理ハ科學原理ノ基礎タルモノヲ承ス又ニシテソレヲノ原理ノ相互ノ關係ヲ定ムルモノナリ、假テカ、ル原理ハ直觀的ニハ何處ニモ存在セス、即チ科學的要素即チ主觀的要素ヲ包有セリ、故ニ能ク學問ハ智識精神ノ表達ニ伴ヒテ純ニ進歩スヘキモノナリ、此等哲學ノ原理ニ至リテハ智識

ノミナラス、其ノ取扱フ原理ソノモノニ科學ノ變化ニヨリテ變化スルモノナルカ故ニ表達ノ程度カ違カニ科學ヲ演習ス、此ノ意味ニ於テ哲學ニハ進歩ト云フ性質ヲ附加スルヲ得ヘシ、即チ根本的ナル故ヨリ進歩性ヲ有スト云ヒ得ヘシ、

斯クノ如ク哲學ノ原理カ進歩變動スルコトハ哲學ノ原理カ諸科學原理ニ基クモノナリト云フニ由ル、換言スレハ哲學原理ハ諸科學原理ノ批評ヲナスモノナルニ依ル、故ニ批評ト云フハ即チ種々ノ科學原理ノ基礎カ如何ナルモノナルカ又派生シテ確立ナルモノナルカカヲ論究スルコトナリ、哲學ノ問題ハ斯クシテ批評ト云フコトニ歸ス、此ノ真ヨリ批評ト云フ性質ヲ考フルヲ得ヘシ、

哲學ノ性質ハカク科學的基礎ニ批評ヲ歸スル故ニソノ材料ハ科學ニ仰キ別哲學トシテ新シキ事實ヲ報道スルヲ得ス、科學ノ研究材料ハ實驗觀察ニヨルニ哲學ニテハ之等ノ材料ニヨラス、種々ノ科學者ノ考フル Theory 又ハ從來ノ哲學者ノ有スル意見ノ比較ヲナスモノナリ、即チソレハ Theory 之 應說、Opinion ヲ比較シ自己ノ學說原理ヲ導

キ火サメトスルナリ、已ニ哲學ノ研究ニハ一般科學ノ如ク事實ノ研究ヲ
ナスニアラス、他ノ學者ノ意見ヲ研究スルノミ、即チ哲學者ノ研究ハ歴
史的研究トナル、哲學ニ於テ哲學史ノ重要ナルハコレヲノ理由ニヨルニ
ナリ。

第三節 哲學ノ内容

形式論ニ次イテ内容論ヲ述ヘ、形式論ハ主トシテ理論的概念ノ分析ヲ
説ケルカ今内容論ヲ説クニハ歴史のニソノ系連ノ事實ヲ材料トシテ論セザル
ヘカラス、形式論ハ哲學ノ類ヲ明カニセルモノトスレハ内容論ハ程度ヲ表
ハスナリ、斯ク兩者差別アレトモ形式論ヨリ推シテ内容ヲモ想像スルヲ得
レナリ、即チ吾人カ以テ是ニ取而上哲學ハ一般の智識ノ性質ヲ存セルト云ハ
ルカ一般のト云フコトハ内容ノ上ニモ表ハル、即チ哲學ハ一般問題ニ關ス
ルモノナルコトヲ知ルナリ、
叔本華クノ如キ一般の概括的智識ハ一見高遠ニシテ超越セル如ク見ユル

モ一方又卑近ニシテ通俗ナルコトナリ、即チ人々ハ日常目前ノ相々ノコ
トニ扱レテ居ルカ如ク見ユルモ、殊シク人々ハ容易ニ概括的意見ヲ提出ス
ルコトヲ得ルナリ、故ニ斯クノ如キ一般の解釈ハ古代ニ於テモ亦文化ノ程
度ノ低キ所ニ於テ之種々ノ取ニテ存在ス、神話、但言等即チソレナリ、
哲學ハ畢竟スルニ是等ノ内容ヲ合理化スルモノト見ルヲ得ヘシ、從テ之
等ノ中ニ舍マレタル内容ヲ調ヘテ見レハ之ニヨリテ哲學ノ内容ヲ定メ得ル
ナリ、神話ハ天地ノ現象ヲ神祕ノ所業又ハ神ソノモノトシテ考ヘ之レヲ人
間ノ運命ニ關係セシメテ解釈スルモノナリ、茲ニ所云物ト云フトノ關係カハ
種ノ説明ノ説明ヲ得ヌト見ルヘキナリ、假令モ亦人間ノ世界ニ對スル關係
スハ通テ説ケルモノナリ、神話ハ比較的自來ノ説明ヲ主トシ但シハ人生ノ
晦澁ヲ示スモノト云ヒ得ヘシ、而シテ神話ニ向應トセル自來現象ハ外洋ニ
著シク表レタル現象ナル故ニ早ク人ノ注意ヲ惹クナリ、ソレ故ニ道理ヲ
究メル精神ヲ察達スルト共ニゴノ自來ノ現象ニ對シテ驚異スルニ止マラス、
ソレヲ吾人ノ日常經驗セル目前ノ事實ト雖ヒ付ケテ説明セントスル要求カ
生スルナリ、故ニ種々ノ問題カ起リ、自來取ノ難多ナル莫化ハ果シテ自然ノ

眞相トスヘキカ、或ハ之ハ外處上ノ一帯ニシテ實ハ或ル一ツノ狀態ニスキ
 サルニアラサルカ、或ハ物体ハ元素經驗スル後ハサル所ノモノヨリ生シタ
 ルモノニハアラサルカト、カ、ル考ヲ述シテ進ミテ自然界ノ法則ヲ明カニ
 セントスル者ヲ起リシナリ、即チ神意又ハ人意ヲ離レテ自然ヲ自取トシテ
 考察シソレテ一指シテ説明セントスル考ヲ生ス、希臘ニ於ケル哲學ハカク
 シテ自然ノ本意ヲ示ナリト解釈セル *Phallos* ノ説ニヨリテ始レリ、(紀元前
 六四〇年) 他ノ諸國ニテモ自然ノ問題カ早クヨリ注意セラレタレカ如シ、
 ソノ初メハ自然ノ原初本質ナレモノハソレカ同時ニソノ中ニ或ル活動ノ性
 質ヲ具ヘテソノ両者即チ本体ト作用トハ離レ居ラサルモノト考ヘラレシカ
 故ニ前者ヲ正題スルニ至レリ、即チ原初本質(原質) *metaph* カ抽象的
 ニ解セラルト共ニソノ中カラ作用ト云フモノヲ抽象的ニ分離シテ原質ト
 作用トカ相對ス、故ニ各ヲ主トスル説カ生シ相對立セリ、スソレヲ調和セ
 ントスル者ハモ現レタリ、之カ希臘古代ノ哲學ノ主ナル問題ニシテ自然科
 學ナルモノカ哲學中最モ早ク表ハレタル所以ナリ、自然ヲ部分的ニ研究ス
 ル場合ニハ自然科學ト云シテ右介論シタルモ當時ハコノ區別ハ明ニ置キテ

ナヤハリキ、然ルニ自然哲學ニ關スル解釈カ色々ニ現ハレソノ極ニ達スル
 ト共ニ古來哲學ノ動機トナレル自然ト我トノ關係ヲ考フル極ニナリテ單ニ
 自然界ノモノノ解釈ノミニ止マラサルニ至レリ、即チ眼ヲ外界ニ轉レテ内
 界即チ人生ノ生活ニ移スニ至レリ、希臘ニ於テハ道德法律等人間界ノ事情
 ニ關シテハ初メハ既存ノ事實ニ首肯セシカ漸次等ニ關スル智見ノ用クト共
 ニソレテモノニ感觸ヲ抱クニ至レリ、ソクトモ多クノ人ハ之等ニ對シテ
 自然界ニ於ケルカ如ク理法ヲ察見セント努メタリ、神話ヨリ自然科學カ生
 シタリト見レハ恒謬、格言等ヨリ人生哲學生レタリト云フヲ得ヘシ、即チ
 自然ノ理法ト連絡シテ人生ヲモ亦合理的ニ説カントシテ起リシナリ、之レト
 共ニ自然人生ニ關スル人々ノ智ノ作用ニツキテソレカ果シテ確實ナリヤ否
 ヤノ疑問起リタリ、又ソノ標準ヲ何処ニ置クカノ問題起ル、之レハ広キ意
 味ニテハ人生ノ問題ナルモ之ヲ介ケテハ智識ノ問題即チ智識哲學ト云フヲ
 得ルナリ、希臘ニテハ五世紀ノ末頃ヨリ之等ノ問題起レリ、ソノ頃 *Dyptic*
etc (說希臘學派) ト云ハレタル一派カ之ヲ説キソレニ對シテカ *doctrines*
(Bc 490-399) カ積極的解法ヲ興ヘタリト云ハル *doctrines* ノ内人中間

女ロニ *Platon* (BC 429-399) 三著、問題ヲ組織シテ之ニ深キ解答ヲ
 施シ古代ノ自然哲學ト合セテ偉大ナル希臘ノ先トモ云フハキ組織ヲ依レリ
 又 *Platon* ノ門人ナリ *Aristoteles* (384-322) 二亞リテ形式上ニ
 於テ完備セル哲學的組織ヲ依レリ *Platon* ノ學派ニテハ哲學ヲ余テテ
 ミトナマリ 即チ *Logica Physica Ethica* ナリ

Aristoteles

- Theoretica* (理)
- Practica* (実)
- Poetica* (創作)

二三分セルカ大抵ニ於テ取扱ヒ上ハ異ラス
Aristoteles ノ行ニハ希臘ノ國情カ理論的研究ニ走ル厥ナク特殊研究
 ニ走ルモノアリテ論理ノ科學發達セリ 其他上述ノ哲學中ニテ主トシテ人
 性ニ關スル部余カ研究サレタリ 即チ道徳宗教カ主ナル題目トナレリ 而
 シテ希臘ヨリローマニ移リテ論理ニ及水サレタリ 然ルニ一方ニ於テ水質
 ニ宗教ノ力強クナリテ特殊ニナリスト歐カローマニ取扱フ得ルト共ニ哲學ハ

キリスト教ト結ビ付キスハソノ米漢ノ論ニ便用マラルニ至レリ 斯ク
 シテ一種ノ哲學カ中世記ニ於テ起レリ 之ヲ *Scholastic philosophy*
 ト云フ 此ノ哲學ノ目的ハ希臘哲學トクリストノ教義トヲ調和シテ智識ト
 信仰トノ全ヲハカレニアルカソノ問題トスルコロハ主トシテ希臘ニ於テ
 發達セルモノヲ繼承セルノミ 向チ人主哲學カ主タリ 斯クシテ種々ノ考
 ハカ現ハレテ智ト信トノ關係ヲ動搖ヲ求メスニ至レリ 之ヲ最モ巧妙ニ合
 ヘセシモノハ *Thomas Aquinas* (1225) ナリ 之カカトリック教ノ正
 宗ノ哲學ト公認セラレ今日ニ至ルマテ莫ラス 然ルニニノ哲學ハ多少智ニ
 宜キヲ置キタリ 全時ニ水ハシロ信仰ト智トヲ分離致シマシメントスル誠
 モ一方ニ起レリ ソレ故ニ斯クノ如キ哲學ヲ離レテ個人的信仰ニ重ヲオク
 者モ多ク 公理ニ信仰ト分離シテ智ヲ自由ニ標カシメントスル公理ヲ表レ
 リ コノ考カ次第ニ於テ智ト信仰トハ新次分離シ *Scholastic* 哲學ノ目的
 トハ遠サカルニ至ル 斯クシテ *John Locke* 哲學ノ哲學ノ方面カ一層發達シテ
 來ルニ共ニ自ラ鮮体シテモレヨリ新ラシキ近世哲學カ生レ表レリ 一六世
 紀即チ近世ノ始メニ至リテ文學復興ノ運動起リ今マテノ古人ノ思想會ノ

一八
歐歐ト独立シテ自然ヲ直接研究セントスル試ミ起リテ種々ノ學術コレニ從
テ勃興シ希臘哲學ノ初メニ歸レルカ如キ觀ヲ呈セリ、自然ニ由スル事物ノ
研究即チ自然科學ヲ發達シ來リ之ト共ニ一面ニハ自然ノ全体ヲ論スル哲學ヲ
ニ生スルニ至レリ、云ハノ哲學ハ一歐學 Universal Science ト稱
セラレタリ、 Bacon (1561-1626) マ蘇トスル英國ノ哲學ハ觀シテ
經驗論 (Empiricism) ニ傾キ Descartes (1596-1650) ヨリ起
レル佛國哲學亦ニ其ノ系統ヲ取メ、 Spinoza (蓋) Leibniz (報)、大陸
哲學ハ多ク形而上學ニ傾ケリ、カリシテ一七世紀ニ種々ノ偉大ナル哲學巨
擘ヲ生シ、ソノ結果一ハ世紀ノ歐歐運轉ヲ起ス、餘カモ希臘、 Sophists
時代ノ觀アリ、ニノ傍有西ノ Socrates、 Platon、任務ヲイヘルモノ
ハ概ヒ、 Kant (1724-1804) ナリ、今マテハ哲學ヲ形而上學トシテ科
學ノ奥ニアルモノヲ研究スルモノ若クハ一取科學ト見做サレ科學試驗ヲ集
メタルモノトキレタルニ反シ英ノ何レニモ屬セザルモノヲ起ス、即チ科學
ノ立場ニ上マリテ科學ノ基礎ヲ究メルヲ哲學ノ任務トシ明カニ實驗哲學ノ
由來ヲ説クニ至レリ、哲學ハ故ニ新時期ニ入レリ、其ノ概一九世紀ニ入リ

一七
歐歐トシテ經驗論ヲ主張スルモノアリ、又カントノ説ヲ祖述シ之ヲ形而上
學トセントスル試ミモアリ、加ニ於スシモ哲學ハカントニ於テ徹底セリト
云フニアラス、依然經驗論ト形而上學存在シソノ間ニカントノ批評哲學存
在ス、現今ニ於テ講壇哲學ト称スルモノハ多クハカント派ナリ、以上ノ發
達ニ源シテ見レハ哲學ニ於テ根本問題トナレルモノハ大体ニ於テ自然、人生
皆誠ニ三分スルヲ得、吾人ハ進ミテ此ニツノ概念ヲ研究セントス、
自然 (Natura) (Natura) トハ何ヲ存在シ生存スルモノヲ總称スル
モノニシテ吾人カ日常遭遇スル世界全体ナリ、或ヒハコレヲ存在物、實
在物 (Seiendg) 又ハ經驗全体トシテ云ヒ現ハス、普通自然ヲ物候ト
同類ノ意ニ用スルモ或ハ別ノ意ナリ、普通ニ自然科學ヲ以テ物候科學
ノ意ニ用フルモ或ハ有リマヌニ有スルモノヲ總称ス、自然ヲ今チテ物候
自然、神的自然ニトナス、科學ニ於テハコレニツノ自然ヲ更ニ分チテソ、
レヲ細分シテ研究セリ、哲學ハ之等ノ自然ヲハツノ道理ヲ以テ説明セント
ス、ソノ説明ノタメニハ或ハ物ニ直キヲ置クモノアリ、然ラヌハ心ハ物
ノ一種トナリ終ル、反對ニ心ヲ主トシテ説クモノアリ、後チ物ハ心ノ一種

トナリ、又ソノ何レニモ附カサル説ヲ立テレモノ下リ、
シモ**物神**尙界ニ通スル理ヲ究メルコトハ一致ス、カダシク如キ根本的尙界ナ
ルモノハ**常**ノ何レノ自然現象ト合體觀ノモノト考フルトキ然ルニ止スル
ナリ、三ニ又シ合致スルモノ**普通**ノ結果ニテハ極スルハナルカ体ナリト
ナリ、然レテ尙界上學ノ名ニテ呼ブニ至ル、但シ尙界上學ヲ底義ニ採用セハ必
ズシモ自然現象以外ノ本質ヲ認メス、只現象ニ通スル根本法則ヲ探ク研究
スルモノヲ意味スルコトナリ、後ハ**現象**ニハ物候意識ノ根本問題ヲ論ず
シテ尙界上學ト呼フコトナリ、斯クシテ自然哲學ノ一節ヲ尙界上學ノ名ニ
テ呼ブ、自然ヲ以テ依リニソノ自然ヲ義スルニト考フレハソノ自然ニ應
ズルト云トニテ價值ノ相違ヲ生ス、人々カ若シ自然ヲ觀賞スル態度ヨリ云
ハハ自然ノ價值ヲ善トス、植物若クハ動物ノ真ヨリ見レハ宗教的價值ヲ生
ズルノ故ニ自然哲學ハ余レテ審美哲學ト宗教哲學トニ合カス
人生トハ人ノ行動ノ集合ヲ指ス、*John Giff* ナリ、行動ヲ
自然ヨリ起レハハ *Natural* ナリ、*John Giff* ナリ、人生ハ自由意思ヲ有スト然レ
リ、而シテ自由意思ニ行動ニ付テハ他ノ自然ニ對スルヨリハ異リタル場合

ノ見方ヲスルナリ、自然ニ對シテハ只觀察スルノミナレトモ人生行動ニ對
シテハ之ヲ觀々ニ變更セシムコトヲ欲シ又ナシ得レバ倍ヒリ、人生ニ對シテ
ハ單ナル現象ヲ觀入レル態度ヲナクテ理想ヲ加味スルノ態度ヲトル、コノ
場合ニ理想ハ**善** (*Good*) ノ名ニテ呼ハル、カクシテ自然人生トハ別
トナレテ特別ナル問題トナル、之ヲ人生哲學ト云フ、但シ善ニ云フ善ハ極
ムテ**正義**ニシテ使テ道徳上ノ意味ニ限ラレタルニシテ、**人生ノ生活**
ニ於ケルアラユル**善**及**善**ノ中ニ包含ス、**宗教**ト**倫理**トハ人生ニ於ケル現
象トシテ此ノ**善**ノ善ノ中ニ入ル、其他**法律**、**經濟**、**風俗**、**習慣**等ノ實際生活ノ
下ニ此ノ現象ハ此ノ善ノ中ニ入ル、之等カ**現象**リテ文化 *Kultur* ヲ形成ス、
善ノ代リニ文化價值ノ名ヲ以テスルニ至リ、故ニ於テ顯カニ自然ト相對
スルコトヲ得、而シテ文化現象ハ相々ノ成立スルモノヲナク相集リテ歴史
的**善**ニ至スモノナリ、文化ト云フハ從テ**善**ニ接スル**善**ヲ有ス、從テ人
生ヲ文化哲學スハ**善**又**善**ニ解スルヲ得ヘシ、
管識ハ人ノ智識作用ハソノ源泉ニ選キスト考ラレハソレハ一類ノ自然
ト見レハシ、餘シニハ行動ト成シテ吾人カ自由ニ變更シ得ル範圍ニ屬ス

二二
 ルモノト有ノレハ特別ノ問題ヲ生ス、即チ智識ノ心理的起源ヲ考フル
 ハソレハ自然哲學即チ心理學ニハレトモ智識哲學ノ真意ハソノ外ニアリ、
 蓋シ然テノ學問ハ衆ノ智識ノ存在ヲ限定ス、限レトモソノ智識ニモ色々ノ
 誤謬アリ、從テ智識ノ真实性及ヒ起源ノ真ニ識論生スルナリ、之レハ從來
 ノ自然哲學ニハ包マレガレモノナリ、之ヲ智識ノ哲學 Wissenschaft
 哲學ト云フ、コノ學ニテ智識ノ起源ヲ論スルヲ認識論ト云フ、又智識ノ
 正當ナル形式ヲ論スルヲ論理學ト云フ、從來コノニツハ別ノ名ニテ呼ハレ
 スルカ此等ハ智識全体ニ関スル根本原理ナル故ニ此ノ真ニテ哲學ノ中ニ包
 括スヘシ、論理學ノ中ニハ科目ニ直ルモノアル故ニテ特別ノ科學トシテ説
 クヲ撰トスレトモソノ根本ノ問題ハ智識ノ哲學ナラザルヲ得ス、
 以上述ハタル所ヲ以テ哲學ノ内容ヲ簡潔スルヲ得ヘシ、然シ試ミニ之ヲ
 別トシテノ關係ニテハメテ考フレハ自然哲學ハ物カ我ニ及ホス影響ヲ三
 トシテ考ヘタルモノ人生哲學ハ我ノ物ニ及ホス影響ヲ考ヘタルモノ、智識哲
 學ハ物ノ影響ニ對シテ我カ之ヲ整理スル方面ヲ主トシテ考ヘタルナリ、自
 然哲學ニハ能動物ヲ主トシテ我カ之ヲ考ヘタル科學ニ歸着スル所更シ、然ラ

之レハハ種特別ナルモノ、即チ本體ヲ考フル限而上學ノ立場トナリ、其ノ他
 ハ能動物ノ見タル物トスフコトニナリ、物ノ個中ノ方面ヨリ理解シ得ル部分
 ニ歸着ス、從テ自然科學ハ智識人生文化ノ問題ニ入ル特別ナル限而上學ヲ
 考メサル立場トナレハ自然哲學ハ存在セザルニ至ル、哲學ハ人生及ヒ文化
 問題ト智識ノ問題ノニツニ分ル、保シテハ(余)ノ見方ニ限ラレ世ニハ取
 前上學ノ存在ヲ認メテ考ヘテ、進シテ吾人ハ哲學カ如何ナル真ニ科學
 ノ立場ヲ考ヘタル問題カニシテ今日ノ哲學ハ限而上學ト如何ナル真ニ於テ
 果テレカヲ問カニキントス、



Practica - Politica, Economica Ethica

コレハ學問ノ目的ニヨル區別ナルコト顯カナリ。コノ中ニハ評シテ見レ
 Platonノ心理的區別カ合マレ居ルヲ見レシ。カクニ人ノ分類ハ相
 違ヒルモ同者共通ナル矣ヲ見レハ其ニ學問ソノモノヨリ分類セルモノニ
 ラスシテ研究スル人ノ意識ヨリシテ分類セルモノナリ。是ヲ心理的
 分類ト云フ。中世ニ至ルマテ學問ノ分類ハ大体之ト異ナル所ナシ。是
 世ニ至リテ
 科学起リ科學ノ分類法モ種々起リタリ。是世ニ至リテ
 長如ニ此ノ如クハ英國ノ Francis Baconナリ。即チハ大ニ
 "Dedigitate et argumentis Scientiarum" ノ中ニ是ヲ論ス
 大ニ五章ニモ
 Advancement of Learning 云々ヲモ説ク。是等ノ
 此學問ノ分類ヲナセリ。

Human Learning Divine (Theology)

Memory (History) Imagination (Poetry) Reason (Philosophy)

natural civil ecclesiastical literary divine phi natural phi metaphysics human philo

Bacon ハハ方學問研究ノ心理作用ヲ本トスルト云ヘヌ。一方ニ研究ノ新
 法ニヨル區別ヲナセリ。即チ一面 Platonノ如キ心理的主義的
 分類法ヲ
 採リ一面客観的
 分類法ヲアテハセリ。此ノ分類法ハ精意ナル故ニ以後ノ學
 界ニ可成リノ
 標カヲ有セリ。一ハ世紀ニ
 及ビテ學者カ集リテ百科全書ヲ作
 リシカ以テ彼等ヲ百科全書家 (Encyclopedist) ト稱セリ。其
 中著者トシテ D. Diderot ハ
 全書ノ序説ノ中ニ大體ニ
 分類法ニヨレリ。然シ彼ハ此ノ外ニ
 一種ノ分類法ヲナセリ。即チ併セテ
 一種ノ分類法ヲトレルナリ。
 此ノ心理的
 分類法ナリ。之ハ
 智識発達ノ順序ニ
 從テ科學ヲ分類セントス

ルモノニシテコノ其ニ於テハ復ハ其ノ Locke ノ學說ヲトリ、智識ハ感覺
ヨリ起リ奈達セルモノトシ、從テ單純ナル感覺ニ則スル科學ヨリ初メテ次第
ニ複雑ナル概念ヲ取扱フ科學ニ至ルト見ル法ナリ、即チ色々ノ學問ハ初
歩ノ學問ニシテ、或ヤ教學ナトハ、進々ノ概念ノ聯合セルモノナレバ故ニコノ
法ニ排列スヘキモノナリトセリ、(一)ハ論理的分類法ニシテ、百科全書的順序
トス、即チ、バーコンノ分類法ニヨリテ、種々ノ學問ヲ排列シテ、直覺シ易キ
モノトナセリ、(二)ハ歴史的分類法ナリ、即チ、大英振興後ニ於ケル學問奈達
ノ順序ニヨリ排列ス、第一ハ古史學ヲオキ、其右奈達セルモノヲ、ア尺的ニ排
列ス、傑シ最モ バーコンノ分類法ニ重キヲ置ケリ、バーコンノ分類法ハ、カ
ク、實ニセラレシ、オハ一八世紀ノ後半ヨリ一九世紀ノ初メニ當リ新シキ分類法
起リ、傑、Amperle、Linnaeus、Benthamノ分類法ナリ、コノ二人ハ當
時最モ有名ナリシ Linnaeusノ植物分類法ニ倣ヒニ Dictyology
ヲ採レリ、即チ科學ヲ以テ物質界ニ於ケル科學ト精神界ノ科學、ニツニ分
テスリ、

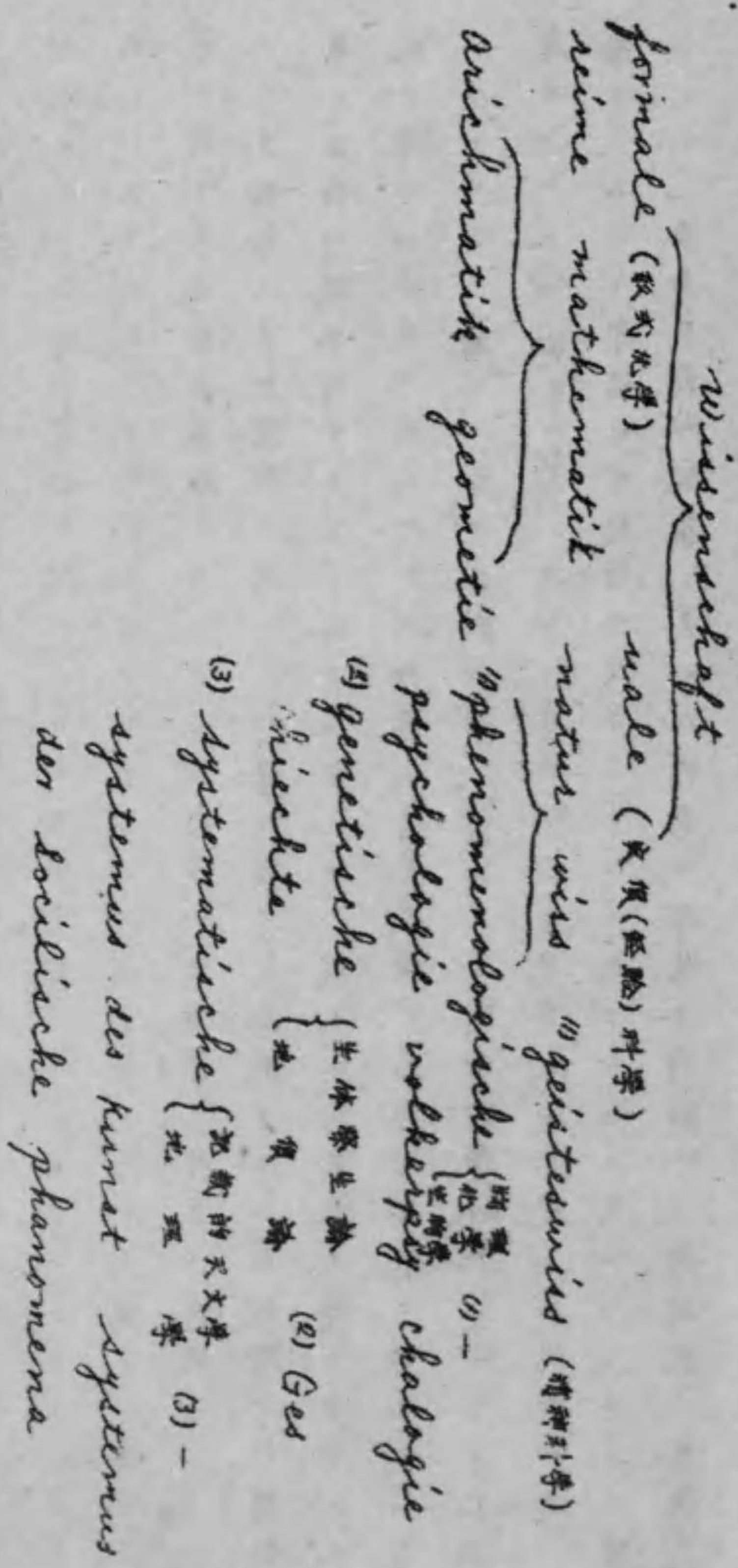
Ampire、分類 { *Cosmologic* (宇宙論)
noologic (精神論)
Somatology (body, 身)
Pneumatology (精神)

コノ分類ニヨリ初メテ學問研究ノ対象ニ根本的區別ヲナスヘキモノアル
コトカ認メラレタルナリ、物質界ト精神界トハ *Racon* ヲ *Aristoteles*
ナトニハ、傑別ニ混同サレタリ、即チ *natural History* ト政治史ト
ハ根本的區別ナク、傑別ニ置カレ、傑ニ自然研究ノ方法ニ倣フヘキモノトセ
ラレタリ、*Bentham* 等ハ根本的ニニ分類ヲ立テタリ、コハ新ラシキ分類
ニシテ、傑的的分類法ノ其ノ意味カ現ハレタリト云フヘシ、傑シニ等ノ人モ
科學研究ノ方法ヲ問者ノ學問ニ於テ、傑然異リタルモノナリトハ考ヘサリキ、
即チ其ノ傑恐ニ於テハ傑ニ同一ノ方法即チ自然科學研究ノ方法ニアルヘキ
モノナリト思ヘリ、傑ニコノ傑ノ傑ノ科學ハ研究ノ方法ニヨリテハ傑別サレ
タルモ其他ニハ傑別スル所ナリキ、傑テ後世科學ヲハツノ方法ニテ排列

斯クノ如クニシテ大体ニ於テ研究事項(対象)ニヨリ分類ハ此ノ所有ニ
 ヲツテ完備セリ、假令ハ分類ニ凡テノ學問ニ同シ研究方法を凡テハキニト
 フ云セリ、即チ自然現象學ト精神現象ノ學トニ根本的區別ヲナスヘカラス
 トセリ、斯ク研究事項ヨリスル區別ハ理解者中故今日ノ人口ハ三ニ迄キ意
 見ヲ有スルカ科學カ皆今ヘノ學問ニヨリテ研究セラシヘキカニ於テ
 ハ概用能ルハシ、水ニ至等ノ分類ニ近キモノニ尤モ完全ニ近キ分類ヲケ
 ソノ批評意見ヲ加フヘシ、



Wundt, 分類 (1889)



之ハ全然研究事項ヲ目的トシテ分類セルモノナリ、
 今之ヲノ分類ヲ見ルニ科學哲學ノ關係ヲ推論スレハ可レ、科學ニ夫々ニ若
 フハ全体トシテ哲學ノ根柢ヲ有スルモノトセラル、即チ假令ノ科學ハ平等

ニ哲學ト關係シテ哲學將成ノ材料トシテ使用セラルル故ニ *Wundt* ハ哲學ヲ
 遠慮シテ曰ク、*「哲學ハ抽象科學ニテ故介セラレタル智識ヲ專有ナキ体系ニ*
合ハシ科學ニ於テ用テラレハ取ノ智識並ニ方法ノ假定ノソノ原理ノ上ニ導
ントスル所ノ一般學ナリト、 Spencer ハ科學ハ不_レ定_レ合ニ_レ統_レヘ_レラ_レシ_レム_レ
 智識ニシテ哲學ハ完全ニ_レ統_レヘ_レラ_レタル智識ナリトナセリ、コレヲ哲學ニ
 對スル凡テノ科學ノ關係ヲ合等ナリト_レ見_レル例ナリ、然レニ總テノ科學ヲ哲
 學ニ_レ統_レシ_レテ_レ合等ノ關係アリト_レ見_レル得_レザル故科學ノ特色ハ_レ研究スルコトニ
 アリテ_レ研究ノ方法_ヲ精神ハ_レ何_レノ科學ニ_レ於_レテ_レ合_レ根_レナ_レハ_レ自然科學、精神科
 學ノ區別ハ_レ根本_ニ於_レテ_レラスト云フヘキナリ、故ニ一八世紀ノ終リヨリ一八世
 紀ニ至_リニ_レ介_カ力_ヲ行_ハレ_シニ_レ指_シテ_レ *Comte* 等ノ_レ直_レ線_ニ分_レ類_ニ導_キセ_シハ_レ當_レ
 ト云フハ_レシ、今日ニ_レ於_テ自然科學 (*Phy.*)、_レ精神科學 (*Ps.*)、_レト_レ區別_ヲ
 專_ラント_スル *Wundt* モ_ソノ_レ根本_ノ理由_ヲ導_キス_レハ_レ眼_レ不_レ用_ニ導_キナ_リ、_レ精
 神_ノコ_ノエ_ツノ_レ精神_力常識_ニ同_レ自_トナ_レ區別_{アル}如_ク見_ユルト云フニ_レ歸_ス
 ル_ノ、_レ而_シテ_レ精神現象_ノ方_ニハ_レ特別_ノ性質_力附加_セル_ル故_ニ研究_ノ方法_モ異_ナ
 ラ_ズル_ヘカ_ラサ_ルカ、 *Wundt* ノ_レ意見_ハソ_レニ_レツ_キテ_レ未_ダ充_分明確_ナリト

云フハ_レカ_ラス、 *Wundt* モ_ソノ_レ初_メニ_レ於_テハ *Q. W.* ト_レ *N. W.* ト_レ _ヲ _ハ _テ _ニ _テ
 辨_シト_スセ_シカ_如シ、即_チ一八六三年ニ_レ著_セル_「人間_及動物_ノ精神_ニ關_ス
 ル_「研究_」ニ_レ於_テハ_レ精力_ノ不_レ滅_ヲ精神現象_ニモ_ソノ_レマ_、應用_{セント}セ_リ、然
 ル_ニ一八八二年ノ_レ第二_版ニ_レ於_テハ_レ之_ヲ改_メテ_レ物質_ト精神_トノ_レ法_則ハ_レ合_ハナ
 ラ_ズト_セリ、カ_クテ_レ今日ノ *Wundt* ノ_レ説明_ニハ_レ心理_的現象_ノ特別_{法則}ヲ_レ説_ク
 ヲ_リ、例_ハハ_レ精神_的合_力ノ_レ法_則ハ_レ或_レ一_ノ精神_{現象}ト_レ他_ノ現象_トカ_{結合}ス
 レ_ハ異_レル_ル結果_ヲ生_シ物質_的ノ_レ力_ト異_{ナル}ト_レシ_レ精神_的成長_ノ原則_ヲ説_ク、
 向_ハ精神_{現象}ニ_レテ_レハ_レ手段_ナリ_シモ_ノ力_目的_トナ_レル_モナ_リ、_レ之_等ハ_レ精神_現
 象_ニ特_有ナル_モト_ス、_レ便_テ精神_{現象}ニ_レハ_レ自然_{現象}ニ_レテ_レ性質_ヲ伴_ヒ *(G. W.)*
Wundt、_レハ_レ合_ク異_ナレ_ト *Wundt*、_レハ_レ説_キナ_リ、_レ斯_クノ_レ如_ク *Wundt*、_レハ_レ精神_現
 象_ヲ特別_{ナル}モ_、ト_レ見_ルカ_ソノ_レ心理_學研究_法ハ_レ自然_{科學}ノ_レ研究_{方法}ニ_レヨ_レ
 リ、_レ彼_ハ以_テ或_レ心理_學ヲ_レ經_テイ_テ實驗_{心理}學_ヲ大成_セリ、_レ其他_{實驗}ニ_レ依_ルル_故
 ハ_レヤ_ル等_類モ_{ナル}ヘ_ク自然_{科學}的_{研究}ヲ_レナ_シル_ヲ外部_{ヨリ}研究_{說明}ス_ル方
 法_ヲト_レレ_リ、_レ即_チ民族_{心理}學_ノ如_キ民族_ノ習慣_等ヲ_レ説_クニ_レ當_テ之_ヲ外部_{ヨリ}
 リ_レ説明_セリ、_レソ_レ故_ニ一方_{精神}現象_ニ特別_ノ法_則アリト_レ云_フコ_トハ_レ致_セリ

レ論テリ、因ヨリ研究ノ程度ニ至レハ夫ノ程度ニ至ルハ自然ナリ、Wundt
又ソノ著シ Logik ニテ研究ニ方法論ヲ説ケル、然レテ夫ノ程度ニ至ルハ
亦亦、差別ナキモノト云ハヤルヘカラス、從テコノ科學的分別ハ主トシテ
對象ノ性質ニ基テモノト云ハヤルヘカラス、此ノ長ニ於テ古來ノ分類法ト
同ハノ精神ナリト云フヘシ、

以上ハ最も普通ニ行ハル、分類上、鮮明ナレカ此ノ場合哲學ト科學トノ
關係ハ公ク外部的關係的所從ニ近キナル故ニ哲學ノ見方如何ハ科學ニ直接
係ナキヲ如ク、保シ之、合テ異レレ見方トシテハ哲學ト科學トハ時ニ別
係ヲ出ス、ソレハ Wundt ニテ對スル Wundt's Band 等ノ説ナ
リ、

第二節 文化科學 (Kulturwissenschaft)

前節ニテハ科學ノ中ニ於テ自然科學ヲ認メ次ニ之ニ對立スルモノトシテ
精神科學ヲ立ツル見方ヲ條ヘリ、而シテ兩方ノ異ノ共通スル所ニ哲學ナリ

トナセリ、然レニ科學ノ分類ヲ對象ノ内容ヨリセシメテ方法論的ノ方面
ヨリスレハ稍分類法異リ哲學トノ關係ニ以テ異ト異レニ至ル、斯レ見方ハ
即チノ Wundt's Band Richard 等ノ立テシ所ナリ、Wundt's Band
ハ一八九四年ニ Strasburg、校長トナリシ時ノ就任講演ニ Geschichte
und Naturwissenschaftト題シテ述ヘテ曰ク、從來科學ノ分類
マナスモノハ科學ノ研究方法ニ關シテ皆同一理ヲ以テ辨シ只研究事項ニ
對象ニヨリテ區別ス、而シテソノ方法ハ各時代ニ異ナリ科學ヲ以テ撰
トス、例ハハ地理學ノ關ナリトキハ地理學的ニ研究レ得ルモノヲ地理的
トセリ、

現代ハ文化論ヲ撰述トス、斯クシテ先ツ學問ノ普通ニ滋養ニ關スルモノ
ト關セサルモノトニ分テ前者ニ哲學教學アリトナシ之ヲ合理的科學 (Rati-
onale Science) ト云ヒ前者ヲ經驗學トナシコレハ人々ニ共ニテ
レ且ツ人々ノ知識ヲ得ル事柄ニ關スル學問ナリトス、之ハ一般ノ行為 (Con-
tion) ヲ規定シ正当ナル知識ヲ得シ直接ノ知識感覺ニ對テ事實ニ對シ合セ
テ知識ヲ得ルモノトナセリ、此ノ經驗科學ヲ N.W. G.W.ト分テリ、

然レニ Geist と Natur とノ区別ハ古代希臘ヨリ中世ニ行ハレシ愛國
 フ對立セシメル思想ヨリ來レルモノニシテヤカテ哲學的ノ者トナリテ或ハ
 レ近世哲學ニ得ハレリ、物質ト精神トハ念ク異レル *Substance* (物質)
 ト者ハラレシカソノ區別ハヤド明カナラス、更ラニ兩者ヲ分テテ研究ス
 ルトキモ何ニ屬スルヤ不明ナルコトアリ、例ハハ今日ノ心理學ノ如クハ精
 神現象ニ屬スル學ナレトモソノ方法ヨリスレハ自然科學ト異ナル所ナシ、
 何レモ種々ノ事實ヲ集メテ種々ノ方法ヲ講シ一般ノ法則ヲ探解セントスル
 ナリ、固ヨリ對象ノ相違ヨリ取扱ヒニ差別ヲ生スルコトアリトモ心理學ト
 科學トヲ比較スルニソノ巨難ハ生物學ト力學トノ巨難ヨリ大ナル歟ハス、
 即チ莫ノ理論的性質ハ何レモ事件ノ法則ヲ求メントスルニアリ、而シテソ
 ノ事件 (*geschehe*) トハ物質ノ運動、物質ト變化、生命ノ發展、智情
 意ノ働キ等ト見ルニシ、而モソレメケノ別ナク多クノ *GM.* ハ念ク異レル時
 色ヲ有ス、即チ一面の實在ノ連續的個體的變遷ヲ叙述センコトヲ欲スルモ
 ノナリ、固ヨリ事實等ニヨリ差別ハアレトモソノ叙述ノ目的ハ一面又ケ現
 實トシテ現ハルノ人生ノ構成物 (複合体) ヲソノ事實性ニ於テ叙述スルコ

トニテ、莫ノ歴史的科學ハ皆之ニ屬ス、カク見來レハ念ク多ク *Methodology*
 (*Methodology*) ヨリ科學ヲ見ルコトヲ得ニシ、即チ一方ハ科學的ニ一般的法則
 ヲ求ム一方ハ一般的事實ヲ求ム、一方ハ傳統的ノ現象實在ヲ究ム一方ハ一
 面的事實ヲ究ム、一方ハ法則ノ學ニシテ一方ハ事件ノ學ナリ、一方ハ *Mo-*
notische (法則定立) ノ學ニシテ一方ハ *idographische* (個性記述)
 ノ學ナリ、即チ一方ハ *gesetzwissenschaft* (法則科學) ニレテ一方ハ
Erkenntniswissenschaft ナリ、一方ハ普通 (*allgemein*) ナルモノヲ自然法則、
 概ニ於テ求ム一方ハ特殊性ヲ一般的事實ニ定メラレタル概ニ於テ求ムナリ、
Windsy Band ノ斯クシテ從來ノ學問ノ解散ニ變化ヲ與ヘタリ、即チ從來
 學問ハ法則ヲ求ムルモノト解シ數學、物理學ヲ以テ理想的ノモノトナシ個
 々ノ事實ニ屬スルモノハ又智識ノ集合ニシテ學的性質ヲ有セザルモノトメ
 リ、之ニ反シテ *Windsy Band* 者ハ個々ノ智識ヲ集メタルモノニシテ或
 レ見方ヲスレハハノ學問トナルコトヲ主張シ學問ノ意味ヲ広クセリ、之ト
 同シ者ヲ *Rickert* ハハ八九八年 *Fuburg* ニテ詳述シ「文化科學ト自
 然科學」ト題セリ、其他ニ似ハハ「自然科學的概念構成ノ限界」ナル者ヲナ

シムシ惠者ヲ送ノキリ' *Rickert* ハ *Wunderland* トムシク自然科
 学ニ対スルモノハ *Q. W.* ニマシテ方法ヨリスレハ歴史的科学ナリトセリ。
 然シ対象ノ方ヨリ附スレハ「史的科學」ノ代リニ文化科學ノ名ヲ與ヘ得ヘシ。
 或ニ文化 (*Kultur*) ノ「經濟上」ノ概念ヨリ取レルモノナリ。經濟上自
 由ニ地上ニ生ズルモノヲ *material products* ト云ヒ、人力ニヨリテ得ル
 モノヲ *Kultur Product* ト云フ。此ノ意ヲ借レハ自然ハソレ自身價
 値ナク *Kultur* ノ「目的」ニ應ジテ生ズルモノニシテ當然ソレニ應スル
 價值生ズ。コノ *Kultur* ノ概念ヲ以テ社会現象ヲ見レハ何レモ價值ヲ有
 ス。三者ハ何レモ「史的科學」ノ方法ニヨリテ研究スルモノニシテ *Ri-*
ckert ノ説ハ *Wunderland* ト大體ニ於テ一致ス。コノ説ニ就テハ假
 ス、論考アリ。

所謂文化現象ノ中ニ自然科学的ニ論及サレ得ルモノナリ。又自然現象ニ
 「史的」ニ述ヘ得ルモノナリ。 *Wundt* ハ此ノ英ヲ指道シテ *Wunderland*
 「一般ノ分類法」ノ不完全ナルコトヲ地獄セリ。凡テ必連即チ「史的」ハ凡ソ
 「限定」サレズルモノナリ。コノ英ヨリスレハ「史」ヲ以テ「學」ノ特色トスルコト

ハ余リニ重キニ思スレナリ。殊シ「方ヨリ」云ハハ「根キ」ニ失スルト云ヒ得ヘ
 シ。然トナレバ所謂 *Wundt* ノ *Q. W.* ニ屬スルモノノ中ニ歴史ニ屬セザル
 モノアリ。「史的」ナリ「目的」現象トナマシ、凡ソ以テ「目的」ニ「史的」現象
 トスルニ「根キ」ナリ。自然現象ノ範圍ニモ「目的」ナルモノナリ。例ハ「地獄
 學」如キニナリ。是ヨリ「史的」現象ニモ「規則」ナルモノアリシ。
 文化 (*Kultur*) ノ「土地」ノ「精神」トスフ意味ヨリシテ「精神」的ノ「培養」(文
 化)「ラ合」ムモノトスレハ「余リ」ニ本シ。然シ「歴史」的「研究」ノ中ニハ文化
 價值ヲ有セザルモノアリハ文化ト云フコトヲ以テ「歴史」的「概念」ニスレハ文
 化ノ概念ハ余リニ重キニ思フ。 *Compass* ナトハ此ノ見解ヨリ *Wunder-*
land 曰ク「地獄」セリ。其他自然科学ニテ説明セントスル人々モ亦及費ナ
 ス。

- Wundt* *W. W.* *Q. W.* (自然科学—精神科学)
- Wunderland* *W. W.* *Q. W.* (*geschicht*) (自然科学—歴史)
- Rickert* *N. W.* *K. W.* (自然科学—文化科学)

四二

保シ以上ノ雑英ハ必スシニ當ラス、何トナレハ自然現象ノ中ニハ天文現象
 象ナト一回的現象アリ、スソノ他自然科学者力ヲ察奇異ノ物体ヲ識ヘルコ
 トアリ、保シ之ヲ以テ一回的現象トスルヨリ之ソレカ合体的一般的方法ニ
 對シテ如何ナル關係ヲ有スルカト云フコトヨリシテ探究スルナリ、單ニ歐
 ル特異ノ事柄ヲ記述スルコトハ科學ノ目的ニアラス、斯クノ如キ記述以テ
 ノコトニナレハ何レモ一般的方法的ノ意義ヲ有シ反復的ノ性質ヲ有ス、之
 ニ反シテ「史」ニ属スル一回的ノ意義ハ單ナル記述以外ノコトヲ含メ、何
 トナレハ「史」ハ斯クノ如キ一回的事實ヲ再現スルコトヲ以テ目的トスルカ
 故ナリ、コノ「史」ニ屬スル「史」ニ屬スル「史」ニ屬スル「史」ニ屬スル「史」
 リ、即チ「史」ニ屬スル「史」ニ屬スル「史」ニ屬スル「史」ニ屬スル「史」
 スルナリハ「史」ニ屬スル「史」ニ屬スル「史」ニ屬スル「史」ニ屬スル「史」
 統セル事實ニ属スル知識ナリトシ、之ニ特殊ノ學的知識ヲ與ヘントスルコト
 ハ固クハキ意見ト見ルハシ、 *Wilder band* ノ本旨ハ此ノ英ニアリトセ
 ナレハオラス、

次ニ此ノ種ノ現象（「史」現象）ヲ文化ノ語ニテ呼フハ不當ニアラス、文
 化ニハ物質的意義ヲ含有スルコトアレトモソノ場合ノ物質的現象ハ自然科
 學ノ領外ニ属セサルモノナリ、 *Rickert* ハ兼シテ曰ク、 *Wundt* ハ科學
 ノ最良等ノコトヲ文化ニ歸入スルヲ難スレトモ之等ノ器具ノ發明ナトハ確
 カニ文化現象ニシテ自然科学ノ問題ニアラス、ソノ他又地理學及數學ハ見
 方ノ如何ニヨリテハ自然科学トモ文化科學トモ云ハレ得ハシト、而シテ又
Kantian ノ意味ニ於テ單ニ「史」的自然科学法則ヲ探究スルハ *N. W.*
 ニ歸入スルヲ得ハシ、又之ヲ以テ文化價值ヲ示スモノナリト云フ場合ニ文
 化科學ト云フ時別々知識トスルナリ、故ニ例ハ「經濟、法律、宗教、藝術
 道德」ヲ單ニ既存ノ事實トナシソノ中ニ存スルハ一般法則ヲ見出ストキハ之ヲ
 「史」トス、保シ之ヲ以テ或ル特殊ノ文化價值ヲ示スモノトシテ、後テソノ價
 値ノ實現ノ方法ヲ論スルトキニハ *Wundt* トナルハシ、而シテ之ハ自然科学則
 ヲ探究スル學問ナルカ *Wundt* ハ一歩進ンテ規範法則 (*normen gesetz*)
 ヲ論スルモノナリ、即チ *N. W.* ハ現ニアルコトヲ探究シ (*being*
sein) ト *Wundt* ハ之ニアルノキコトヲ (*sein* 當意 *Seien ought*) 探究

百三

スレモノナリ、コノ故ニK.W.ハ Wundt ノ云フG.W.ト一及スルモ只今日
 ノ心理学、如キハ此ノ場合自然科学ニ入ルヘキモノナリ、Wundtモ亦
 Wundtland ヲ Riekerk ニ反對セルニ拘ラス精神現象ノ特色ヲアクル
 ニハ反對論者ノ説ト大差ナキモノヲ奉ケタリ、即チ假ハ精神現象ノ特色ト
 シテ價值關係 (Wertbeziehung) スハ目的定立 (Zwecksetzung) 意
 思活動 (willens betätigung) ヲ奉ケタリ、而シテソノ差別ハ外假ヨリ
 見レハ Riekerk 等ノ説ト大差ナシト見ラレ

併シナカラ斯クノ如ク科学ニ對シテア史的文化的方面ニ開スル時別ナル
 智識ノ規模ヲ認メヌルト共ニ即チ事實ソノモノノ智識ヲ學ブナルモノト認
 メルト共ニゴノ事實ハ如何ニシテ決定撰取スルカノ問題ヲ起ル、自然科学
 ニ於テハ事實撰取ノ標準ハ先ツ決明確定ノ材料トシテ供スレカ文化科学ニ
 テハ事實ハ材料ナルニ止マラス即チ個々ノ事實ハ相集リテ全体ノ意味ヲ明
 カニスル所ニ至ラザルヘカラス、假フ全体ニ對スル關係ノ有來カ事實價值
 ヲ定ムル標準トナリ、之等ノ實ニ新ニニ價值ノ概念カ重要トナリ、或ニ
 科学ト哲學トニ開スル新シキ解脫カ支スレナリ、

第三節 價值ノ哲學

(文化價值ト哲學トノ關係)

文化科学ニ於テハア史的運轉ヲ或進レ個体的事實ヲ以テソノ材料トス、
 而シテ各個体ハ全体ノ支ナニ及テヘカラザルモノナリ、殊シコノ個体ヲヘ
 ツハツ列舉スルハ人智ノ及テ所ニアラス、故ニア史中ノ事件ニテ著眼スヘ
 キモノ及ヒ補充スヘキモノアリ、即チ材料ノ受進ル場合ハ著眼スヘク、ソ
 カ不足シタル場合ハ推運若クハ想像ニヨリテ補ハレザルヘカラス、ソノ取
 捨撰取ヘ如何ニスレヤ、
 三三ニ於テハ撰取ノ標準ハ自然法則ヲ立ツルコト
 ナルカア尺若クハ文化科学ニ於テハソノ事件ヲ全体トシテ表ハスコトナラ
 ザルヘカラス、故ニ個々ノ事實ハ全体ニ對シテ關係ヲ有セザルヘカラス、
 例ヘハ氏レ詩人ノ著作年代ノ如キハ其人ノ意進ニ必要ナルカソノ人ノ日用
 語ヲ買ヒテ年代ノ如キハ記スル必要ナキカ如シ、即チ著者ハア史的ニ意味
 アリテ著者ハソノ意味ナキ故ナリ、ソノ故ニ事實撰取ノ為メニハ即チソノ
 甲史全体ハ表ハサントスル意味ヲ有ヘザルヘカラス、而シテ凡テア史的

事實或ハ文化現象ハ人ノ行為ニシテ從テ皆目的ヲ有ス、故ニアルハ史的實
 實即チ文化現象全体ノ意味ハソノ事實ノ到達セントスル目的ニ依テ是マル
 モノナリ、例ヘハ自由革命ノ如キ自由平等ノ博愛ヲ目的トスルトスレハコ
 ノ目的ニヨリテ革命ノ手段ニ依リテ成ルヘシテ考察スルヲ得、從テコノ目的ニ
 適スヤ否ヤヲ見ルヲ得ヘシ、此ノ全体ノ意味ヲソノ事實ノ有スル價值ト云
 フ、ソレ故ニ總テ史的實事ナルモノハソノ價值ニヨリ成ルヘシテハナリ、
 從テ個々ノ事實ハ必スシモソレ等ニ於テ考フレハ全体ニハ關係ナキモノナ
 リ、ソレハ又存在スル所ノ現象ニスキス、ソレヲ科學的ニ現象ヲ把握シテ
 行ヘハヨシ、故ニ學問ノ性質上斯ル事實ハ哲學トハ直接關係ヲ有セス、然
 ルニ此ノ事實ニ關シテ文化學的ニ研究スルトキハ皆全体ノ價值ニ關係ヲツ
 ケテ考察ス、ソノ場合ニハ皆哲學ノ過程ヲ有シテ、斯レモノカ即チ文化
 科學若クハ歴史ノ特色ナリ、

コ、ニ於テ文化科學ノ價值ノ觀念最モ重要ナリ、價值ハ事實ソレ自身ニ
 ハアラス、事實ノ有スル性質ナリ、ソレ故ニソレハ實在スルモノニアラス
 又或ニ於テ用テ認ムラレテ居ルト云フニ止マル、カ、ニ關係ヲ妥當ヘ

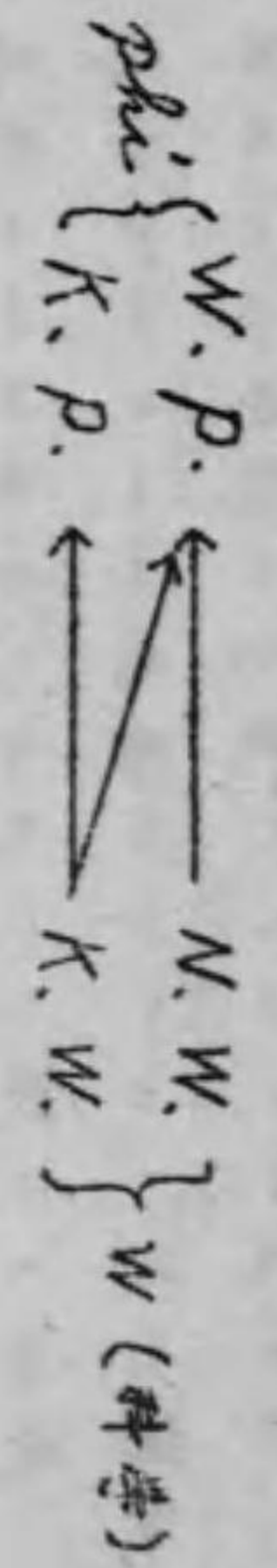
gelten) ト云フ、然ルニ價值ハ必スシモ常ニ一極ニ妥當セス、アルモノ
 ハ忽チニソノ効力ヲ失ヒ、アルモノハ或一人ニノミ妥當ナルモノ又或ルモ
 ノハ然ラス、忽チコ、ニ相對的ト絕對的トノ區別カ價值ヲ生ス、例ヘハ因
 体的ノ快樂ノ如キハ相對的ノ價值ヲ有ス、之ニ反シテ古來云フ所ノ眞善美
 ナルモノハ變化シ易キモノニアラス、故ニ之等ハ絕對的價值ト考ヘラレ、
 凡チ文化價值ハコノ絕對的價值ヲ基本トシテ初メテ成ラレ、故ニ此ノ事
 ハ批評ニヨリテ明カニセサルヘカラス、彼チ文化ノ學的研究ハコノ絕對的價
 値ノ批評ヲ基礎トスルナリ、然ルニ絕對的價值ハ科學ノ立場ニテハ説クヲ要
 セサルナリ、故ニ吾人ハ特別ナレ絕對的價值ヲ立テサルヘカラス、之レ即チ
 哲學ナリ、吾人ハ普通ノ科學以外ニ哲學ヲ認ムルト云フニソノ問題ヲ價值ト
 云フコトニ限ルコトニナリ、而シテ此種ノ哲學ハ已ニ述ヘタルカ如クN、W
 ノ研究ニハ直接必要ナシ、從テ哲學ト科學トノ關係モス、テノ場合ニ平等
 ト論スヘカラスニ至ル、然リ之ノミナラス文化現象モ之ヲ自然科學的ニ
 研究スル場合ニハ所謂價值ノ哲學トハ直接關係セス、凡此ノ現象ニ特別ナ
 ル見方ヲ加ヘテ之ヲ文化科學ト稱スル特殊ノ科學的知識トナシタル時ニ

之ハ文化價值ト關係ス、從テ文化價值ノ哲學ト密接ナルヲ謂フ有シスル、
コノ文化價值ノ哲學ヲ文化哲學ト云フ名ヲ得フコトヲ得、

斯クノ如ク文化科學ハ文化哲學ニ直接ニ關係ヲ有スルカ向テ科學

ニ至リテハ稱ソレト述フ異ニス、自然科學ハ人ノ精神の産物即チ文化の
産物一產物ナリ、從テ此ノ文化現象ト念シク文化價值ト稱ヒ得、從テ今
迄ノ自然科學チ然シテ純然の價值ニ由キモノナリヤ否ヤヲ考フルコトヲ必
要トス、コレ即チ科學ノ價值批評ナリ、例ヘハ今日ニ於テ共ノ古屋船、人
和學、鍊金術等ヲ正当ナル科學ト思ハサル者多シ、即チソレヲハ科學トシ
ノ正当ナル價值ヲ失ヒタルナリ、稱シ今日ニ於テ然シテ、科學ノ中ニモ確實
ナルモノト然ラサルモノトアリ、即チソレニ價值ノ別ナリ、斯クシテ見レ
ハ自然科學ヲ價值ノ觀念ニ結ビ付ケテ考察スルヲ得ルナリ、文化科學トハ
コノ意味ノ價值批評ヲ含ム、稱シ尚ソノ上ニ文化價值ニハ前述ノ如ク文化
科學ソレ自身ノ精利ナル關係ヲ含ム、從テ文化科學ト云フモノハ他ノ科
學ト合シテ一般ノ科學價值即チ智識價值ノ批評ノ基礎ヲ有スルカ、之ト共
ニ文化價值ト密接ナル關係ヲ有ス、智識ノ批評ヲナス部分ヲ哲學ノ中ニテ

智識哲學ト云フヲ得ルナラハ普通ノ科學チ一般ニ決定スル所ハ哲學ノコノ
部分ナリ、文化科學ハ更ニ之ニ文化哲學トノ關係ヲ含ム、



斯クノ如ク哲學ヲ價值ノ問題ニ限リ事實ノ世界ヨリ遠ナカレハ從來ノ取
前上ノ哲學カ排除サレタルカ如キ觀ナリ、ソノ詳細ノ如何ハ次ノ問題トナ
ル、即チ形而上學ト哲學トハ (methodically) 方法論的ニ一取ヒサ
ルヲ述フナシ、

第三章 哲學ト形而上學

第一節 論理的形而上學

古今ノ哲學ヲ總括スル形而上學派トニ區別スルヲ得ルハ前述ノ如シ、ソ

ノ中ノ經驗的哲學ハ弱ニスレハ一般科學ト異ナル所ナキカ如キ觀テ置ス、
或ニ一般ニ哲學ト考ヘ居ルモノハ政而上學ニナリ、然レ今所云政而上學ト
レモニモ英ノ哲學ト称スル最ハケルヲ論証セントス、先ツ政而上學ノ成立
ノ困難トソノ問題カ多クハ他ノ科學ノ中ニ包含セラレ得ルモノナルコトヲ
明カニスレハ足レリ、今コノ章ニ於テハ第一ノ頁ヲ論スヘシ、(即チ政而上
學ノ立テル時期ナル方法存在セザルコトヲ証セン) 元來コノ經驗的立場
リ云ヘハ哲學考究ニ特別ナル方法ナシ、然ルニ政而上學者ヨリ云ヘハ哲學
ハ特殊ノ知識トレハ疑テ之ニ時有ナル方法ナカルヘカラストナレリ、古來
色クナル方法アレトモ係シ之ヲ推究シテ政而上學の知識モ普通ノ人間常識
ニスキスト見タナラハ普通ノ推究方法ヲ基礎トシテ之レニ特別ナル使用法
ヲ加ヘル所ニ特色ナカラザルヘカラス、然ラハ普通ノ學問方法ヲ見ルニ違
出ニ材料ヲ檢査シテ之レヨリ推理スルナリ、即チ論理學ノ演說ト歸納トヲ
ナスナリ、按テ言スレハ經驗ト論理ノ二ツノ方法ニヨルナリ、故ニ特別ノ政
而上學モコノ二ツノ方法ヲ基礎トシテ之ニ特殊ノ意味ヲ附加スルコトニ外
ナラス、先ツ普通ノ經驗ハ個人ノ事件ヲ外部ヨリ觀察スルコトナリ、例ハ

ハ斯學者カ個人ノ現象ヲ表メテ外部ヨリ之ヲ觀察スルカ如シ、殊ニ政上
上學ニテハ全体ノ事件ヲ内部ヨリ觀察スルモノナラザルヘカラス、次ニ論
理ニ於テ普通ノ論理ハ事件ノ關係ヲ形式的ニ表スルモノニシテソノ材料
ハ悉ク經驗ニヨルモノナリ、然ルニ政而上學ニ於ケル普通ノ論理ヲ悉ク經
驗ヲ知ケ材料ヲ外ヨリ仰カス只論理的關係ノミヲ以テ一切ヲ説明シ尽サソ
トスレナリ、此ノ二ツノモノガ政而上學ノ方法ナリ、論理的政而上學ハ普
通法 (Qualitative) トモ云フ、此ノ政而上學ニテハ一言ニテ云ヘハ論理
ノ形式ニテ經驗的材料ヲ整理セントスレナリ、ソノ根本ノ假定ハ思惟ト突
在トテ公ニ視スルコトナリ、之ハ常識ニ反スル如ク見ルモノ一方ヨリ見レ
ハ却テ人ヨリ日帯行フ所ナリ、人ハ大抵自分ノ理想思惟ヲ以テ事實ヲ知ル故
ニ求見ノモノヲ見テ驚クコトナリ、之ガ哲學上複雜ナル教トナリテ政而上
學トナルハ徑シムニ足ラス、思惟ノ作用ノミヲ以テ論斷スル道ニ實在ノ
世界カ成立ツテ居ルト見ルコト、思惟作用ソレ自身作用ノ結果即チ概念ノ
ミカ世界ノ實在ナリ、即チ前有ハ思惟ノ決別ナリト見ルコトナリ、殊ニコ
ノ見方ハ徹底スレハ右ノ見方トナル、即チ思惟ソノモノガ實在トナル、斯

ラシテ論理的取而上學の完全ナル取ニテ表ハサレ、カ、ル考へ古ノ古來者
右ナル學者ニツイテ述ボン。

Platon ハ有識ニ於テハ其のニ概念的思惟ヲ感覺的智識ニヨリテ確実
ナリト云フ思想ヲ繼承シ、彼ニソノ師 Socrates ノ如キ事物ノ表裏ノ中ヨ
リ共通ナル概念ヲ求メテ以テ其知ノ對象トナシ更ニ進ミテ之ノミカ其、
實在ナリト考メ之ニ命名シテ *idea* ト云ヒ万物ハ皆コノ *idea* ノ模倣ナ
リトナシタリ、斯レ *idea* ニ因スル智識ハ全ク經驗ニヨラスシテナシ得ラ
ル、故ニソノ *idea* ヨリ他ノ *idea* ヲ作ラントスルニハ論理的方法ニ依
ラザレハカラス、即チ甲ノ *idea* ニ對シテソノ反對ノ概念ヲ取ルコトカ唯
ハ、方丈ナリ、斯レテ假ハ若干ノ反對概念ノ例ヲ示セリ、像ニ之ヲ別業ス
ルノミニテコレ以上發展ヲ欲ミサリキ、コノ方法ヲ矛盾的ニ分法 (*Anti-
thetische methode, kontrastische dichotomic*) トス
ル。

Platon ノ *idea* ノ概念カ實在ナリト云フ説ヲトリテ假テ概念ヲ以テ
單ナル名称 (*nominalism*) ニスキストスル説ニ反對スル學説ヲ立テ

タリ、コノニフ即チ唯名論ト実論トハ家業上ノ意味ヲ附会シテ中世コフ
對立セリ、之レト合一歩調ニ立テ吾惟實在ノ合一ヲ明ハスルハ *Anselm*
ノ實體論的証明 (*ontological proof*) ナリ、假、思、シ、ク、神ハ至高實
在ナリ、其完全ナリ、故ニアラスル屬性ヲ具備ス、從テ存在ト云フ屬性ヲ
モ具ハナルハカラス、コノ証明ハ理論トシテハ反英アルト如キモ其ヲ哲學
上ニ根拠ヲ有ス、

此等ノ思想ヲ根柢トシテ更ニ思惑ニ察達ト云フ意味ヲ附加シ *Plato* ノ
二分法ニ運動ノ概念ヲ附加シタルモノカ *Negale* ノ業証法ナリ、即チ此レ
概念又ハ判斷ハソノ中ヨリ必然的ニ反對ノ概念ヲ生ミ出スモノナリ、而シ
テ更ニ兩者ヲ綜合スルトコロニ新シキ概念又ハ判斷ヲ出ス、即チハソノ
概念又ハ判斷ハ他ノソレヲニヨリテ否定セシレ而カモ前ヨリ高申所ニテケ
ラレテ保存セラレ、斯ル手段ヲ *aufheben* (上揚又ハ舉揚) ト云フ、

- 五 *Heis*
- 六 *Amthesis*
- 七 *Synthesis*



等ハ三ヲカ説ス、独リコレノミナラス、コノ精神ニ社会問題ヲ論スルニ用
ヒラル、ハ即チソノ例ハ *Kant's mark* ナリ、彼ハ唯物史観ヲトナシ、経済
學的必至論ヲ説ケリ、コノ説ハ敢而上學ニ反對シハシロ自然科學万能ニ傾
ケルモノナリ、

ソノ哲學思想ノ直接ノ源流ハ *Foucault* ヨリ来リ、*Foucault*
ハ哲學論者ナラズ、源流ハ *Hegel* ナリ、故ニマルクスハ尚共ニ *Hegel*
ヨリ導カレタルモノナリ、而カズマルクスハヘゲルニ私私シ淡ノ衆証法ニ
マルクスヨリ滿キコトヲ彼自ラ証明セリ、ソノ唯物史観ノ論法ニ於テハヘゲ
ルノア史哲學ト類似セリ、即チニソノ概念ノ反對者角ヲ基礎トシテ、社会
体ヲ説明シ尽サントス、又ヘゲルニ於テハ(理念)精神絕對ト云フ語ヲ
用フル代リニマルクスハ労働トカ価値トカ云フ具體的經驗的言語ヲ用ヒス
ル、ソノ他マルクスノ思想ノ根柢タル *W* (自然科學) ハヘゲルノ哲
學ト精神ノ異レルモノナルカ條シコノ *N*、*W* ナドテノ世界解法ニ意用セシ
トスル故ニハ最早 *N*、*W* ノ立場ヲ散ラタレモノニシテヘゲルノ哲學ト云ハ
ヤルヘカラス、而シテソレハ下ル論理的干係ヲ以テヘゲルノ現象界ヲ説明シ

尽サントスル精神ヲ含ムモノナリ、何トナレハ *N*、*W* ハ原因、結果ノ必
然的關係ニ重キヲ置ケルカ、コノ必然性ナレモノハ三ヲ推究スルハ經濟論理的
關係ニ帰着ス、ソレ故ニマルクスカ *N*、*W* 万能主義ニ依テ、*N* 及ヒ社会ノ繁
栄ヲナシ居ルナラハソノ異ニ於テモ己ニヘゲルノ論法ニ一変セルモノ
ト云ヒ得ヘシ、コノ論理的敢而上學ノ思想カ今日ノ哲學界ニ於テ反對ヲ受
ケルハ極シハニ足ラス、ソノ地盤長ハ(經驗)全ク分断スルハ不可成ナリ、
論者ハ經驗ヲ離レテ一概念ヨリ反對ノ概念ニ依リユクヲ得トスルモ三ニハ
吾人ノ直観力ノ助力ヲ要ス、即チ *Marx* (華)ト云フハマルクスノ思想ニテ
初メテ理解セラル、(四)若シ概念ノ關係ニ全ク經驗ト離レタルモノアリトス
レハソハ全ク論理的干係ニスキス力ノ存在性ナレモノハ論理學者ノ云フ如
ク概念ノ屬性ト云フヲ得ス、概念ノ判断ニヨリテ生スル性質ナリ、(四)經驗
ノ中ニハ論理ノミニテ説明スルヲ得ナル事實ヲ保存セリ、ソレ故ニマルクス
味ニ於テハ經驗ハ論理ヨリモ豊富ナリ、若シ論理ヨリ經驗ヲ肯定スト云フ
ゴトカ云ヘルナラハ三ヨリモ一層明確ナル真実性ヲ以テ而論ヨリ於テ得
得スルヲ得ト云ヒ得ヘシ、カクノ如キ地盤ヲ加フルヲ得ル故ニ論理的敢而

上學ハ到底ソノマヽニテハ承認スルヲ得サレトモコレガ高メニ哲學上ニ於
ケル特色ヲ現シ能ハス、即チソノ特色ヲ表ケンニ

(一) 哲學ニ於ケル組織ノ要訣ハ此ノ方法ニヨリテ到達セラレト云フヘシ、
何トナレハ種々ノ概念判斷等ノ内ニ内面的ニ概念的發展ヲ認ハルヲ得タ
ナラハ單ニ外部的ニ種々ノ要素ヲ結合スルト云フコトヨリ正道ニ意味
ノ深キモノヲ生スルヲ得ヘシ、例ハHegelノ三分法ハ之ニ相混スレ
ハ榮ヲ生スルコトアルヘキモ然ラズニ夫クノ人々カ認ムル所ニシテ此
ニ英ノ長所アリ、

(二) 哲學ノ原理ハ全体ノ總論ニ關スルモノナルカ故ニ特殊經驗ヲ支配スル
論理ノ妥當ニヤレ得ル所アルヲ得ルナリ、即チ論理ヲ超越スルヲ得ルナリ、
普通ノ論理ニテハ矛盾ノ原理ト理由ノ原理トヲ根本トセリ、之ヲ破レハ
種々ノ誤謬即チ論理ニ陥ル、然ルニ今來証法ニ於テハ思惟ト實在トヲ
同一視セリ、即チ之ハ理由ノ原理ヲ破レルモノナリ、爾シテスコノ來証
法ニテハ一ノ概念カソレ自身ノ反對概念ヲ生シ生スルモノナリ、即チ之ハ
矛盾ノ原理ニ根ハケル所ナリ、カクシテスコノ來証法ハ普通ノ論理ヲ超越

セル一種ノ論理ヲ生シ生スル特色アリト云フヘシ、

(三) 取而上學ノ經驗ハ普通ノ經驗トハ異ナリ、從テ普通ノ經驗ノ如ク分析
シ結合シ得ヘキモノニアラス、普通ノ場合ニハ分析ニヨリテ概念ヲ明カ
ニス、兼ニ分析サレタル各部分ヲ結合スレハ還元スルヲ得ルコトヲ既定
ス、然レシ哲學上ノ經驗ニテハ不可數ナリ、然ルニ來証法ニテハ一ツノ概
念カソレ自身^本連続シソレニ漸次増加スル故ニ還元スル能ハス、又來証
法ノ分析ハ普通ノ分析トハ異ナリ、

此等ノ三長ニヨリテ論理的取而上學ハ確カニ一種ノ長所ヲ有スルハ疑フ
能ハス、單ナル形式論理ヲ以テ哲學問題ヲ解決シ蓋サントスルハ誤ナリ、
且ツコノ方法ヲ適當ナル範圍ニ用フルコトハ實際ニ於テハ可數ナルノミト
ラス、或ル程度ノ哲學問題ハコノ方法ニ依ラサルヘカラス、又之カ高メニ
ハ概念又ハ論理ト云フ莫ク詳シク感念セサルヘカラス、之ハ次ノ直覺主義
ト相俟テ理解スヘキモノニシテソノ他ノ問題ハ辯論ノ問題ニテ理解スヘキ
ナリ、

コノニ神祕的の主体トハ神ノ如キモノニテソノ神カハ觀ノ術ヲナスト後定
ス。例ハハ希臘ノ *neo platon* 派ノ説ヲ引ナルカコノ派ハ世界ハ根本
ノ實在タル神ヨリ放散 (*Emanation*) 派トシテモノナリ。換言スレハ
神ソノモノナリ。然レ世界カ中心タル神ヨリ遠カレニツレテ漸次汚染トナ
リ。能高最ニ汚等ナル物質ナリ。之ヨリ一級高階ナルハ精神ソノ上ハ心靈十
リ。心靈ハ神ヨリ直接火テタルモノナリ。人間世界ハ物質精神ノ混合セル
世界ナレハ後テ物質的の知覺ヲ脱シテ純粹ノ精神界ニ入ルコトヲ希克セサレハ
カラス。コレカ消メニスヘテノ感覺ヲ拒ンテ主タル神ヲ信スレハ *Ecstasy*
ノ状態ス入り始メテ神ニ接スルヲ得。即チ神祕的の主体タル神ニ接カハ致ス
ルナリト。其ノ此中世ノ基督教徒ノ間ニモ教會ノ信仰ヲハナレ個人ノ信條
ヨリ來ル信仰ハ純シテ神祕的の主義ナリ。之ハミナ一程特別ナル知力アルコ
トヲ假定シ之レニ依リテ果ノ智識ヲ得ルコトカ放棄ルト考ヘタリ。
コノ神祕主義ハ宗教的ナルモ普通ノ意味ノ宗教ト異ナル。宗教ハ純シテ
他カナリ。換言スレハ神ノ天賦ヲ俟フコトカ本復ナリ。サレト神祕主義ハ
自カナリ。厥令神カ現ハルハコトアルモノソレハ人ノ目カニヨリテ神ヲ見ル

大ニ

カチ開キタルモノナリトスレナリ。即チ宗教的ナリト云フヲ得ハシ。故ニ
神祕ノ説ヨリ宗教ニハ屢々附屬スルモノ本復ニアザナルモノヲ宗教ノ中
ヨリ除外スルヲ得ルナリ。例ハハ宗教ニ於テ神ヲ説クモノノ神ニ関スル程
ノ宗教的の属性ハ必スシテ神祕哲學ニハ必具ナシ。換言スレハ普通宗教スル神
ヨリ離レタリ。假テ神ニ附隨スル奇蹟ノ如キモノハ神祕說ノ中ヨリ除外ス
ルヲ得。カチ論スレハ神祕主義ハ直ニ主テ直覺主義ノ哲學ト看做スヲ得ル
ナリ。而シテ普通ノ經驗ノ特別ナル故ヲ基礎トスルモノナリト解スルヲ得。
斯ノノ如キ見方ニヨリ神祕主義即チ直覺主義ト見テ此例ヲ近代ニ求ムレハ直
テニ *Hermi Bergson* (1859—x) ヲ奉ルヲ得
假ノ者ニヨレハ直覺ハ普通ノ精神作用ニシテ決シテ神祕ナルモノニアテ
ス。何人モ有シ且ツ行フモノナリ。例ハハ文學者カ小説ヲ收ラントスル外
ニ又著作ヲ集メテソレヲ記スルノミヲ以テ満足セズ。著作ノ中心莫ニ躍入
ルコトヲ或ミサレハカラス。又實際或ミツハヤルナリ。之レ即チ直覺ナル
モノナリ。然ラハ斯クノ如キ直覺ハ如何ナルモノナリヤ。凡テ此ヲ認識ス
ルニツノ方法下リ、(一) 外面ヨリゲル、(二) 延テ見ル見方ト、(三) 内面ニ突入

大ニ

シア見ル見方トナリ、前者ハ自分ノ見方ヲアテハス符合ニヨリテ異ル、之
 ヲ相対的見方ト云フ、然ルニ右者ハ然ラス、動物ノ中ニ突入セザルハカラ
 ス、之ヲ絶対的見方ト云フ、例ハ運動ト云フコトヲ外部ヨリ見レハ之ヲ
 之ト表ハス符合ニヨリテ異ナリ、物理學者ノ符合ニ學者ノ符合トナリ、之
 ヲ相対的ニ見ルナラハ自ら運動セラルハトテス、大運動物ニ指テ成定シ
 之ニ同感スルヲ要ス、相対的見方ハ余割シタルモノヲ研究著述スルモノナリ
 ルカ絶対的見方ニテハ動物ノ完全ニ合時ニ最モ簡單ニ知ルナリ、或者ハス
 余割ニヨリ右者ハ全体ヲ一併ニ見ルナリ、右ノ見方ヲ知的同感 (*Intellectual
 sympathy*) ト云フ、所謂取而上學ハ符合ニヨラザル右者ヲ指
 シテ云フ、然ラハ符合トハ何ソヤ *ego in ego* ノ著キヤセノ即チ概念ナリ、
 吾人ノ經驗ニヨリテ自分ノ人格 (*person*) ハ自ら合体的ニ感覺シ得ルモノ
 ノト思ハル、然シテフ普通ノ知識ニ表ハレハ矢張り直覺ト雖ル、之ヲ余割
 シテ表ハス動メナリ、或ヲ振りニ知識的ニ想像シテ見レハ余割ノ全体ヲ
 表ハレレカ、之ヲ概念ノ表ニ表ハレハ、余割ノ真相ノモノト異ルナリ、蓋シ概
 念ハ符合ニシテ比較上共通具ノモノト云スモノニシテ實ハ實者ノ一併余割ヲ示

大田

スニ違キス、即チ当前要本サレテ居ル所ノミヲ屬スニスキス、ソレ故ニ概
 念ヲ材料トスル所ノ科學ハ皆實用上ノ目的ニ従テ動物ヲ隨意ニ分析シテ示
 スモノナリ、例ハハ胚前ノ概念ノ如キモノニシテモ之ヲ空間的見方ニ當キ
 表ハシテ示ス、故ニ傾向ヲ有ス、故ニ斯クノ如キ概念ヲ結合シテモ之ヲ以
 テ動物ノ真相ヲ示ス能ハス、取而上學ハ經驗ノ普遍化ニアラスシテ合体的
 經驗 (*whole experience*) ナラサルハカラス、

斯クノ如キ直覺ハ彼ノ者ハニヨレハ普通ニ人ノ經驗中ニ存在スルモノナ
 リ、之ヲ彼ハ生物學的基本ニシテ説明メントセリ、*Bergson* ノ言ナル所
 ハ *life* (生命) ナリ、生命ハ物質中ニテラハレルモノノ作用ニシテ而シテ
 生活ノ側キハ常ニ物質ノハタラキニ妨害セラル、生命ハ一種ノ跳躍 (*jump
 leaping*) ニシテ之ハ物質ノ抵抗ヲ破リツ、進ムモノナリ、然ルニ生物
 中ニハコノ抵抗ニ勝ツ能ハザルモノナリ、ソノ前ハ運動ハ停止スルナリ、
 植物ニ於テ之ヲ見ル、蓋シ植物ハ營養ヲ得ルニ便利ナル地位ニアルカ故ナ
 リ、然ルニ動物ノ如ク有機體ヲ食トスルモノハ植物ノ如ク生活容易ナラス、
 彼ヲニツノ運動ヲ要ス、故ニ生命ノ側キハ植物ニ於テハ爽快 (*happiness*)

大五

状態にあり、之を及ぶ動物は、於てハ運動トナリ、殊シソノ運動ノ中ニモ
 強クシテ不完全ニシテ植物生活 (*Vegetative*) ニ近キモノアリ、樹ハハ珊瑚
 虫ノ如ク、其ニ運動ノ本性ヲ承スモ、ハ海足動物ニ非ズ動物ナリ、殊ニナ
 カリコノ海足動物ハ之ニ異ナル動物トハ運動ノ状態方面異ナリ、
 前者ニ於テハ全身ヲ運動ス、前者ハ四肢ノミ運動ス、斯クノ如クシテ後ニ
 本動物ノ運動ト理智的運動ノ二ツノ別ニ分ル、後リ人類ニ於テノミ知能
 連ニソノ特色ハ器具ヲ使用スルコトニアラハル、本能生活ヲナス所ノモノ
 ハ身体ヲ悉ク運動ス、故ニ身体夫レ自身ヲ感ズヲトス、斯クノ如ク本能ハ
 直接ナルモノナルヲ理智ハ間接ノ作用ヲナス、斯クノ如ク動物ノ生活ノ操
 用ニ差異アリ、之カ故、場合ニ種々ノ特色ヲ承ス、(一)本能ハ等物 (*thing*)
 ナスニ理智ハ同様 (*relation*) ナス、(二)本能ハ直接 (*material*) ニ關係シ
 理解ハ間接ニ關ス、(三)理智ハ常ニ得ス、本能ハ得テ求メス、(四)理解ハ本能
 的ニ動カス、本能ハ連続的ニ動ル、(五)理解ハ不動ニシテ變化セス、ソレニ
 ヲリテ差別 (*distinction*) ナスシテ生命ヲ承サス、本能ハ之ニ反ス、斯クノ如クニシ
 テ本能ノ動カハ特殊ノ知的作用トシテ人類ニモ存在ス、コレ即チ直覺ナリ、

大天

我言スレハ直覺ハ神祕ナルモノニアラサルノミナラス、下等動物ニモ現ハ
 ル、樹キナリ、コノ本能カ生活作用ト念及セルモノナルカ、コノ生活ト云
 フ儘キハ元氣進歩作用ニシテ而モソレハ *Stammin* 一故ノ云フ機械的ノ
 縮聚ノ定メレル進歩ニアラス、常ニ新メナル余子カ和ハル進歩ナリ、即チ
 進化ト同時ニ創造ナリ、本能ハ直覺ハコノ生活ノ作用ノ一部トシテ現ハ
 ル、其故ニ論議的批判ハ概念ニヨリテ表サレズ、常ニ新メナレモノヲ
 産出スル、而シテ之レカ本能ノ真相ヲ示ス取而上學即チ哲學ニ於テ事物
 ナ内面的本質的ニ知ラントスルコトハコレニヨリテ到達シ得ルナリ、コノ
 論ハハノ哲學上ノ問題トシテ論セラル、モノニシテ彼自身ハコノ論ヲ倫理
 道德ニ關シテ如何ニ應用スルカヲ説カス、尤ソヤ之ヲ社会問題ノ方面ニモ
 用ヒントスル意ナリキ、殊ニ之カ大義上社会上ニモ批評セラル、又國家
 社会運動ニ關係ナタルヲ得サレニ至レリ、此間ノ極端派ナル *Sandwich*
evlist (*Syndicalism*) *Bergson*、説ヲ其説ノ基礎トセント
 〇 *level* *Revolutions* *unle violence* ニモテ明言ス、
Syndicalist ハ新メ政治ニヨリテ目的ヲ達スルヲアキメテストナシ

大天

言論、自由等ハ智理ヨリ来ルトナシ、根本ハ行爲 (Action) ナレハ、
者自身ハ自己ノ行爲ニヨリテ事ヲ決セサルハカラス、
社会改造ヲナサントハカラストナシ、
命令無直覺ヲ第一トセン故、
Hegel 學派ヨリ Marx ヲ出セルニ似タリ、

直接主義ノ此種セル思想ハ主トシテ普通ノ科學的智識ヲ基礎トセル所ノ
モノナリ、
論理的取向上學ノ直接主義トハ必スシモ全然反對セルモノトハ云フコト歟
ハス、
分拆的タルヲ免レス、
Berkeley ノ説ハ Hegel 等ノ説トハ相反セルモノト考ヘラル、
ツコレニ如何ナル歟ニ於テマサルカヲ考ヘルヲ便利トス、
學ニ對スル直覺主義ノ此種ヲ學ヲ學ケルハモ、
論理的觀念ハ特殊ノ場合ニ於テハ實用上ノ目的ノためニ設定セラレタ

ル符合ニ入キス、
異相ハ直接ニ表現サレタルモノヲ有スルカマ、
リテ代表セラル、
(Concept) ノ方カ確定ナリト云ハルニ一致セリ、

(四) 論理的方式ニ於テハニツノモノハ念ハナルカチ有ナルカチ決定ス、
ニ今一ツノモノヲ若干ノ要素ニ分拆スルヲ得トスルナラハ三ツノ合セテ元
ノ物ニスルントテ豫想ス、
ハ元性復ヲ失フモノナリ、
物ヲ作り出スコトアリ、
例ハ社会的心理ノ如シ、

(三) 論理的關係ハ之ヲ如何ニ特殊ノ方法ヲトリテモ測、
一) 思维ハ實在ナリ) ヲトルニシテモ結局形式タルヲ免レス、
實際ニ應用スルニハ更ニ直接ノ經驗ヲ加ヘサルハカラス、
ハ經驗ヲ用フルモ之等ハ如何レモ根本的ナラス、
以上ノコトニ對スル論ハ智識哲學ノ向題トナルカ今ハ簡明ニ立入ラ

スシテ智識哲學上如何ナル莫ニテモ認メテ得ルコトヲ說明セシ、

(1) (A) 概念カ符合ナルコトハ莫ニテモ、然レモ概念ニ合フテ符合ニテラナ
ルカノ疑問ナリ、智識、或モ覺ニ皆目前ノ目出ニ感シ、採扱ヲナスモ
ノナレハ外界ノ印象ソノマ、ト合然念一ナリト云フヲ得ス、ヨク心
頭上無意識現象ト云フコトヲ云ヘトコノ意味ニ就テハ種々ノ議論ナ
レハアル程度マテ知ラズ採フコトハアリ得ヘクソノ上、明白ニ意識ナ
レタル採扱作用ナリ、概念ヲ模倣ト考フルハ常識ナル考ヘ方ナリ、
(B) 或ハ曰ク、故ニ概念ハ直接經驗ナレ經驗ニ基クモノニシテ普通ノ
概念ノ如ク採扱セラレタルモノハ莫ニ經驗ニテラズト、然レモ概念ニ
於テモ斯クノ如ク直接經驗ヲ目的トス、例ハ Hegel ノ哲學ノ如
キハ即チ然リ、餘者ノ云フ所ノ直接經驗ナルモノハ普通ノ人ノ所云
經驗トハ異ナレ、普通ノ人ハハシロ斯クノ如キ所云直接經驗ヲ抽象的
ナルモノト考テ、恰モ画家ノ經驗ニ於ケル經驗ノ如シ、
(C) 概念ハ果シテ實用ノヌメニ出来タルモノナリヤ、若シ實用ノ意ヲ
成ルニ解スレハ当然ノコト、云ハサルヘカラス、然レモ採シナカラズナリ

符ノ試算ノ意義ニ解スレハソレコハ智識上ノ價值ハ少ナキモノナル
カ合時ニソレハ概念ノ真意義ト云フヲ得ス、何トナレハ概念ハ通常
事物ノ一般性ヲ示スモノト看做サレコレニヨリテ事物ノ板蕙ヲ商レ
真想ヲ示スモノト解釈セラルレハナリ、之ニ反シ知覺或モ如キハ
又事物ノ一面ノミヲ示スモノニシテ此ノ真ヨリ云ヘハ知覺概念ノ方
カ寧ロソノ時々ノ利害ニ支配セラルモノニシテ実用性ノ意味ヲ有ス
ルナリ、

(2) 分析的研究ハ固ヨリ事物ノ全体ヲ示スニ足ラス、然レモ之ニヨリテ
分析ノ能力ヲ意識スルハ誤リナリ、先ツ分析シテ要素ヲ知ルコトハ率
條トシテ必要ナル知識リ、且ツ分析スルモノカ又又綜合ヲ忘レテアル
モノナリト論スルハ不可ナリ、例ハ或レ心理学 (Wundt) ハ分
析的ニ論セリ、故ニ綜合的ノ意味カ及ケタリト云フ論者アレトモ之ヲ
批評トシテアヤマレリ、或ハ文明ノ種類ヲ分析的文明、綜合的文明ト
區別スルモ誤マレリ、或ハ又分析ニハ極限アルカ故ニ不完全ナリト云
フモノアリ、然レモ分析ノ極限ヲ定ムルニ當ツテハ先ツ適當ニ經驗ヲナサ

x二

ナルヘカラス、充分ニ確実ノ極限ヲ定ムルコトヲ得ルナラハ公認ニソ
 レカ學問的極限ト稱セラレ得ヘシ、然ラハソレ以上ノ研究ハナクテ
 誤リ、又分析ト綜合ハ要スルニ機械的作用ニシテ其ノ生命アル研究
 ニアラストス、三ハ Bergson カ教己語ノ Systematical 研究ヲ攻擊
 スル論者ナリ、此ノ推論的ハ機械的ト云フコトハ Bergson ノ云フ
 如ク仏國思想ニナリシテ教己思想ニノミアルカト云フコトハ疑向ナリ、
 依リニ組織力教己文化ニヨリテ發達セリト云ハハソレハハシロ教己文
 化ノ長所ナリ、イマタメ組織ノ榮ヲ生シメリト云ハハソレハ組織ソノ
 ミノヨリ生シタルモノニアラス、組織ノ不完全ナル性質或ハ誤レル用
 法ニヨリテ生シタルモノト云フヘシ、之ニ反シ組織ナキ所ニ文化ノ發
 達ヲ見ルト假定スレハソレハ「組織ナキタム」ニアラスシテ「組織ナ
 キニ拘ハラス」ト解スヘキナリ（即チ組織カ原因トナルニアラス、組
 織ニ原因係ニト見ルヘシ）

(2) 論理關係カ格式的抽象ナルコトハ莫ナリ、條シ乏カタルニ公然
 實際ニ關係ナキモノト見ルハ、蓋シ何々ノ生活ハ特殊ノ性質ヲ有

ス故ニ互ニ融通ヲ欠クコトナリラス、故ニ甲ニ於テ述ヘタルコトハ
 蓋チニ乙ニハ當テ後マラス、此ノ奥ヨリ云ハハ一般的形式ヲトリ概念
 ハ寧ろ實際上ノ利益交キモノト見做サルヘカラス、且又論理ノ利用ハ
 必スシテ實際ノミニ限ラス、概念ノ發達ハ一種ノ満足ヲ與フ、故ニ論
 理的遊戯ヲ玩弄スルモノアレトモ藝術ト云シク哲學ニモ一種ノ趣味ヲ
 伴フモノニシテ「哲學ハ概念ノ發達ナリ」ト云フコトニモ一種ノ真理
 アリト云フヘシ、

斯クノ如ク見來レハ直覺論者カ論理法ノ欠點ト見ルトコロハ必スシテ
 ニ照ラサルモノト見ルヘシ、只ニ直覺ソノモノニツキテ考フレハ之ヲ單據
 ニ用フル數ハガルトコトヲ知レヘシ、

(1) 直覺ノ意義ハ古來一般ノ論者カ考ヘタル如ク必スシテ神秘的ノモノト
 云フ必要ナシ、即チ之ヲ以テ普通ノ知識作用ノ一種トスレハ矢張り他ノ
 知識作用ノ部介ヨリ概念ヲ判斷ハ逆錯セルモノナラサルヘカラス、故ニ
 普通知識ヨリ直覺ニ至ル程距離カナラス、又突然直覺ヲ説クコトアッハ
 ヲレハ Hegel カ反對者ヲ此邊シタルカ如ク恰カモバナトヨリ打込

x三

サレタル弊元ノ如ク能対的觀念生スル候レア、
或ア直覺ニ至ルマテハ
適當ナル論理的分解ナカレハカラス、

七四

(2) 直覺論者ハ直覺ヲ以テ常ニ誤リナキモノトセルガ如シ、然レトモ經驗
上直覺ハ^経経ノ誤リナキコト、其ニ誤リアルコトアリ、尙有即チ直覺ニ
誤リナキ場合ハ不完全ナル辯論法ト云ハサルヘカラス、

(3) 仮リニ直覺ニ誤リナシトスルモ只コレノミニヨリテハ知識ヲ組織スル
コト能ハス、即チソコニ概念言語ナレモノヲ用ヒサルヘカラス、既ニ概
念ヲ用フルトモヘコノ概念ヲ適當ニ運用シテ新チシキ結論ニ導クコト不
可成ナルコトニアラス、即チ論理的方法(弁証法)ノ如キモ之レヲ可成
トセサルヘカラス、

故ニ直覺ハ一ノ方法トシテ哲學家ハ其ノ他ノ學問及生活等ニ用ヒラル
ルモ一方ニ又論理ノ必要ヲ認メサルヲ得ズ、而レテ直覺ハ原初ノ察見、
論理ハソノ發展(Development)ニ依カアルヲ有ハ得ルカ故ニ方法
トシテハソノ一ニ偏スヘカラス、ソノ由ニゴノニツク統ヘスル方法ナカ
ラサルヘカラス、而シテソノ直覺ト論理トノ各々ハ之ヨリ特殊ノ取向上

學ヲ尋中火シ從テ夫ノ方法上ノ欠点ヲ取テ能ハス、ソノ此等ヲ能ハスル
所ノ方法ハソノ偏頗ナレ哲學ニ對シテ特殊ナル地位ヲ占ムル他ノ哲學ヲ
出スルナリ、即チソレハ取而上學ノ意味ニアラサル所ニシテ之ヲ批評哲
學ト云フ、

第三節 批評哲學

(第一) 哲學的態度トシテノ批評

(第二) 哲學的方法トシテノ批評

(第三) 哲學トシテノ批評

第一 哲學的態度トシテノ批評

論理的取而上學ト直覺主義トハ程々ノ反對アルカ其間ニ共通スル處アリ、
即チ其ノ論理及直覺ニテ實在スル世界カアルコト並ヒニコノ實在世

七五

果ヲ完全ニ知ルト云フ假定ニレナリ。此等ノ説ハ論理ト直覺ノ初メヨリ
 真ナルコトヲ許セリ、係シテ正カ正シク其ナルヲ如何ヲ論ヘルコトヲ必要
 トセザルカト云フコトハ考ヘ得ヘシ、カクノ如キ真ヨリ論スレハ念氣弱
 理ノ尚題ヲ生スル弊ヲ生ス、即チソレハ先ツ實在カ果シテ知リ得ヘキ
 マ否ヲ究メルモノニシテソノ方誤トシテハソノ知識ノ性質ト云フコト
 ヨリ論及セザルハカラス、若シ斯クノ如キ研究ヲ爲サレハ知識ヲ妄信ス
 ルコトアル代リニス一ニノ久莫遠觀ヲ以テ眞ヲニ念体ヲ棄ツルニ至ル悞
 レナリ、即チ此ノ所ニテ思フ哲學ニ對スル態度ノ別ヲ説クノ要ナリ、此
 ノ異ヨリ凡レハ首途ノ論理的取而上學及ヒ直覺論ハ取斷的 (dogmatic-
 tic) ト称シテニ對シテアラエル知識ヲ奪取スル立場ヲ懷疑主義ト云フ
 辯論ソノモノノ研究カシ述ムモノヲ批判主義ト称ス、次ニ二者ノ區別ヲ
 詳論ス。

取斷、懷疑ノ二ツノ時ハ今日用フル場合ニ完全ナル迄考ノ方法ト云フ
 邊境ヲ伴フ、然レ此ノ説カ初メテ哲學史上ニテ現ハシタルモノハ必スシモ
 於カル意味ニハアテナリキ、Dogmatismトハ希臘ニテ定説ト云フ意ナリ、

Skeptis トハ源水ノ意ナリ、意ヨリ云ハノ Dogmatism トハ一足
 ノ Doctrine ヲ主張スル立場ニテ Skepticism トハ定説ニ止マラス
 然ニス研究スルコトナリ、カク解釈スレハコノ二ツハ夫ニ學問ニハ必要
 ナル精神ト思ハザルヘカラス、即チ凡テ知識ハアル事柄ニ限ヒテ扱ミ、
 ソレヲ解明シ探求スル精神ニ違シ遠ニ一足ノ見解定説 (Dogmatic) ニ
 對峙スルコトニ依テ目的ヲ違シタルモノトスルナリ、即チ定説 (Dogmat-
 icism) ヲ止ツルニ急ニシテ充分ノ探求ヲ怠ラハ其失ニ普通ノ意ノ取斷
 ナリ、又及斷ニ信考ノ探求ヲ怠ラシテ只取斷ニ定ニ傾ケハ思キ意味ノ探
 求ニ阻ルナリ、斯クシテ Kant ノ云ヘル如ク取斷ハ專横政治ノ如ク、假
 擬ハ派政府ノ如シ、希臘ノ末期ニ於テ此ノ二ツノ説カ用ヒラレシトキハ
 カハル思キ意味ニアラザリシカ今日ハ思キ意味ヲ伴ヘリ、是カ Kant ガ
 此等主義 (Kantianism) ヲ唱ヘ出シタル所以ナリ、即チ未タ研究セス
 シテ直ニニ知識ヲ妄信スルカ若シクハ一ニノ久莫遠觀ヲ棄テ排スルカ
 ノ二ツノ態度ニ對シテ先ツ知識ソノモノノ性質ヲ論ヘントスル態度ナリ、
 コノ事ハ知識ノ批評ト称スルモノニテ即チ知識哲學ノ尚題ナルカ今ハ少

シク本ク解シテ知識以外ニモ批評ノ精神カ行ハル、ゴイテ明カニセン、
即チ一級ノ學問的哲學的態度トシテ批評ニ如何ナル性復ヲ有スルカヲ説
カシ。

批評的態度ノ特色ハ世界(自然)及知識ヲ以テ底蘊的既存事實ト見サ
ルコトナリ、即チ我カ知識ニアルトコロノ世界ハ我ヲ離レテ本體ニ突在
スルモノニアラス、我ハ知的作用ニヨリテ我カ自ラ決定シタルモノナリ
ト考ヘルモノナリ、故ニ世界ト我カ知識トハ定数セルモノニアラス、極
テ元素別物ナル兩者ヲ無難ニ合一スルカ如キ強斷派ノ欠長モナク又世
界ト我トハ弱離セルカ故ニ永久ニ合一スル能ハス、即チ世界ヲ知識トス
ルト能ハスト又懷疑派ノ困難ニモ陷入ルコトナシ、蓋シ之ハ真ノ學問的態
度ト云ハサルヘカラス、何トナレハ學ナルコトハ既知ヨリ未知ニ及木又
之ノニシテ初メヨリ悉ク合一セルモノニアラス、此ノ真ヨリシテ所云哲
學者ヲ以テ我ト我知トノ間ニ居ルモノナリト云フ比喩カ強斷セラル、而
シテコノコトカ批評ノ根本ノ精神ナリ、批評ハ本來又單ニ毀譽褒貶ノ意
ニアラス、或ル事物ヲ分解シ、ソノ各ノ要素ニ適當ナル意味ヲ認メルコ

トナリ、批評トモフ時ハ希臘語ノ (Kritik) 分解ヨリ来ル、假フ批評ト
云フコトハ寧ロ辭欲ト公意識ヲ有ス、即チ或ル事物ヲ批評スルト云フコ
トハソノ事物ノ意味ヲ明カニシ其モノノ有スル價值ヲ定メルコトナリ、
コノコトヲ特別ニ價值批評ト云フ、之ハ批評(批判)ニ対シテ超越的
(*transcendent*) 及ヒ内省的 (*immanent*) ノ區別ヲスルコトニ
ヨリテ明カニスルコトヲ得ルナリ、前者ハ或ル事物ヲ公ク異リタル立場
ヨリ批評シ解欲スルコトニテ后者ハソノ立場ト合一ノ立場ニ身ヲ置キテ
ソレヨリ批評シテ大レカ果シテ正当ナル結論ヲ得ルカヲ期ヘルコト
ナリ、即チ事物ノ真意ヲ獨自ニスルコトニテ上述ノ批評ノ意義ニ相當ス
ルモノナリ、

第二、哲學的方法トシテノ批評

斯クノ如クシテ批評ノ真正ノ意味ハ内在的批評ヲ基礎ニシテアルコト
カ明カニナリ又レハ今更ニ哲學的方法トシテ用フル場合ニモ亦之ニヨラ
サルヘカラスト云フコトモ明カナリ、其ノ結果批評哲學ト云ハル時際ノ

哲學カ成立セルカ今ハ其処マテ論入セシテ一般ニ批評的方法ト意義ヲ考ヘン。

批評的方法ハ既ニ述ヘタル如ク分割ヲ以テソノ火際莫トス、即チソノ
既ル事物ノ要素ヲ分解シテソノ各部分ノ有スル正当ナル意義ヲ究メ結局
全体カ如何ナル価値ヲ有スルカヲ定メントスルモノナリ、斯クシテ分析
ト綜合トカ並ヒ行ヘルナリ、即チ之レニ依リテヨル事物(事實)並ニ
ソレニ關スル智識カ如何ニ論理的基礎ヲ有スルカヲ示スヲ得、コレヲ歌
シテソノ事物若クハ知識ニ對スル基礎確立 (*Begründung*) ト云フ。
此ノ *Begründung* ト云フコトニハ合時ニ事實ノ有スル價值ヲ明カニ
スルコトカ伴フ故コノ場合用ヒラル、論理的判断 (*Urteil, Judicium*)
ment) ニアラスシテ価値判断 (*Werturteil*) ナリト云フナシ、
コノ價值判断ハ事實ノ記述トハ異ナリ、彼テ基礎付及判断ヲ行フトコロ
ノ批評的方法ハ事實上ノ知識ヲ少シモ與ヘス、事實以外ニ何等ノ知識ナ
シト考ヘル立場ヲ實在主義 (*Positivism*) ト云フカ、此ノ實ニテ批評
哲學ハ實在主義ニ反對セルモノナリ、次ニ批評ニ於テ基礎ヲ明カニスル

コトハ混合セルル、コトハ事實ノ發生生起ニ關スル問題ナリ、此ノ方法
ヲ説クモノヲ *genetische methode* (生起的方法) ト云フ、例ハ
ハ道德法律カ如何ナル事情ノモトニ發生シタルカ云々ヲ説クモノハコノ
方法ナリ、此ノ方法ハ少シシテノ道德法律カ正シキカ否カト云フ事實ヲ
示スモノニアラス、又事實上然ルコトヲ示スノミニテ *sein* (アル實在)
ヲ示スモ *haben* (ベシ當為) ヲ説カサルナリ、然ルニ批評的方法ニ於
テハ道德法律ノ正邪ヲ定メソノ正若クハ邪ト云フ理由ヲ明カニセントス
ルナリ、即チソノ道德法律等ノ價值ヲ明カニスルモノナリ、コノニツノ
論ノ區別ヲ明カニセザレハ *genetische methode* ノミニテハ切ノ事
實ヲ明カニシメリト思惟スルニ至ルナリ、此ノ生起的方法ハ心理的、生
起的方法ニシテ合時ニ物ノ價值ヲ明カニメントスル立場ナリ、コノ立場
ヲ心理主義 (*Psychologismus*) ト云フ、之ニ又シテ價值ノ問題ヲ生
起、問題ト區別スル立場カ批評主義ノ立場ニテ之ヲ反心理主義又ハ論理
主義 (*antipsychologismus*) ト云フ、即チ論理的基礎ヲ明カニセ
ントスル立場ナレハナリ、此処ニ注意スヘキハ反心理主義ト限モ心理學

ヲ兼視スルモノニアラス、只心理問題ト論理問題トノ混同ヲ防カントス
 レモノナリ、論理主義ヲ種々ナル意義ニ解釈ス、之ヲ單ニ形式論理ノ法
 則ニ從ヒテ一切ノ事物ヲ說明シ去ラントスルモノナリ、解釋スルハソノ
 一ナリ、カクノ如キ論理主義ハ内容ノ說明ヲ以テ之ヲ補フモノナルコト
 ハ云フヲ後タス、即チ此ノ主義ハ假方法ノ一部ニスキス、只ニ特殊ノ
 論理ヲ以テ世界ヲ說明セントスルモノト解釋スルモノソノニナリ、之ハ
 衆証法ト稱スルモノニシテ世界ノ真相ハ理ノ本質ト解釋スルモノナリ、
 即チ之ハ一觀ノ概而上學ナリ、斯カルモノヲ心理主義 (psychologism-
 ism) ト稱セラル、此類ニ云フ所ノ論理主義ナルモノハ全然方法ニ関ス
 レモノニシテ即チ價值地帯若クハ基礎確立ノ論ニハ心理的發生ノ確究
 カ無効ナルコトヲ認メコレヲ全ク論理的問題ニ屬スルモノナリト見ル見
 方ヲ云ス、而シテ所云基礎ヲ説クコトハ事實ヲ超越シタルアル本體ヲ見
 ルト云フコトニアラス、只單ニ事實ソノモノノ中ヨリ論理的理由ヲ求メ
 ントスル方法ヲ云フノミ、例ハハ道徳學法律學々如何ナル習慣若クハ日暮
 遠セルモノナルカヲ説明スルモノハ心理的發生的說明ニ屬ス、條々法律

八二

學々如何ナル宇宙ノ理ニ基キソレヲ現ハスモノナルカヲ探究スルモノハ
 心理主義ノ問題ニテ即チ概而上學ニ屬スルモノナリ、之ニ反シテ法律等
 カ現ニ存在スル事實ヲ認メ連シテソレヲ存在スル理由如何ヲ探求スル
 ヲ稱ヘシ、コレニ關シテ或ル論理の基礎理由ヲ認メントスルモノヲ論理
 的立場トナシ、即チ之ガ批評的方法ニヨルモノナリ、斯クノ如クシテ批
 評的方法ハ之レニ對スル記述的方法 (Descriptive methode) 出題
 的方法 (genetisch methode) 概而上學的方法等ノ方法ニ合レテ評價
 的立基的論理的方法ナリト云ヒ得ヘシ、

一、形式的論理主義

論理 二、心理主義

三、批評主義 (價值批評)

此ノ批評的方法ニ關連シテ只此方法ヲ考フルヲ得、批評的方法ハ一
 面ニ異理ナルモノガ一時代ニ確定スルモノニアラスシテ次第ニ發達スル
 モノナリトスルカ故ニコノ真ニテ只此の考察ニ關係ヲ有スルモノナリト

八三

云フヲ得ルモノナリ、コノ歴史ヲ研究ニ用フル場合ニハソノ方法アリ、
 歴史ノ事実ヲ説明スルコトヲ以テ主眼トスル場合トハ異テ以テ或ル知識
 スハ學說ノ發展ヲ説ク手段トナス場合トナリ、後者ノ場合ハ必スシテ時
 代ノ順序或ハ全体ノ事実ヲ履歷スル必要アリ、又若干ノ代表或ハ專断ヲ
 述ヘテソノ論理的干渉ヲ示スノミニテ足レリ、而シテ此ノ其ニ於テ批評
 的方法ト稱述セリ、批評的方法ハ斯クノ如キ意味ニ於ケルガ其的所究ト
 ハナルヘカテサルモノナリ、以上ハ一級ノ方法ノ問題トシテ説キタルニ
 ノナルカコノ方法ヲ特ニ選ンジテ哲學ノ立場ノ新ラシキ見方ヲ立テタル
 大ニモノカ所云カントノ批評哲學ナリ、之ハ前述ノ歴史的及概而上學ヲ
 超越セル新シキ見方ナリ、

第三、哲學トシテノ批評

批評哲學ハ斯クノ如キ批評的方法ニヨリテ成ルモノナルガ故ニソノ向
 題ハ概而上學ノ如キ論理(弁証)又ハ直覺ノ獨キニヨリテ實在ヲ論及セ
 ントスルモノニアラス、實在ソノモノノ問題ニ入ルニ先テ實在ニ関ス
 ル智識ヲ如何ナル價值ヲ有スルカヲ考究スルモノナリ、實在(事實哲學)
 ヲ部分的ニ分テテ考究スルモノハ科學ナリ、之ヲ全体ノ方面ヨリ見テ論
 及セントスルモノハ概而上學ナリ、條シナカラコノ實在ヲ果シテ全体ト
 シテ知ラル、モノナルカ否ヲハ一ノ問題ナリ、部分的所究ノ結果ナル科
 學ノ基礎モ亦シテ確實安定ト云フヲ得ス、故ニ之等ノ科學ハ基礎ヲ論シ
 概而上學ノ可成不可成ヲ論スルコトハ新ラシキ問題ニテ之カ批評哲學ノ
 任務ナリ、且ソ哲學ヲ批評的問題トシテヨク見レハソレハ科學ト競争シ
 テ科學ト異ナリタルコトヲ確究セントスルモノニアラス、科學所究ノ精
 果ヲ學ヒテ之ニヨリテ科學ノ基礎付ヲナサントスルモノナリ、而シテ更
 ニ一歩進ミテ概而上學ノ性質ヲ論セントスルモノナリ、近世ニ於テ此ノ
 問題ヲ明白ニ云ヒアラハシタルモノハカントナリ、故ニ自然哲學ナルモノ
 ノハ自然科學ノ基礎ヲ論シ、自然科學ノ法則カ何故ニ正当ナリ得ルカト
 云フ理由ヲ立ツルナリ、亦シテ自然科學者ト競争シテ全一ノ問題ヲ確究
 セントスルモノニアラス、又例ハハ法律哲學ハ法律概而上學ニテラスシ
 テ法律ハ如何ナル觀念ヲ基礎トスルカ又法律ニ関スル學問的所究ニ於テ

ハ如何ナルコトヲ論理的仮定トシテ有スルモノナルガヲ考究スルモノナ
 リ、即チ換言スレハ法律科學ノ評ヲナスモノナリ、又經濟哲學ナルモノ
 ハ經濟學、批評ヲナシントスルモノナリ、故ニ哲學ハ凡テノ學問ノ批評
 ヲナスモノナリト云フヲ得ヘシ、斯クノ如ク批評哲學ニテハ第一知識ノ
 批評ヲ基礎トスルガ知識トハソノ對象ヲ假定スルモノナリ、此ノ知識ノ
 對象ノ中ニテ人ノ作りタルモノヲ總括シテ文化ト云フヲ得ヘクンハ吾人
 へ人ノ知識ノ作用ヲ批評スルト同時ニ人ノ文化ヲモ批評スレヲ得ヘシ、
 知識ハ知ノ作用ニテ文化現象（活動）ノ問題ナリ、故ニ文化現象ト云フ
 新ラシキ問題起ル、結局批評哲學トシテ見タル哲學ハ知識及文化ノ批評
 ナリ、故ニ之ヲ分チテ知識哲學ト文化哲學トナスヲ得、之ヲ分チテ考フ
 レハ知識哲學ハ科學ノ批評ナルガソノ科學ノ中ニハ種々ノ科學含マル、
 即チ科學ニハ自然科學、文化科學カ含マル、ナリ、文化科學トハ文化ノ
 基礎ヲ批評スルモノナリ、但シ文化科學ノ批評ト云フモノモ場合ニヨリ
 テハゴノ文化哲學ノ中ニハレテ論スルヲ得、普通哲學ト思ハルハ、概面
 上學ナリシカ今茲ニハ之ニ對シテ知識哲學ヲ以テ新ラシキ哲學ト思ルハ、

シ、概面哲學ハ哲學ノ直覺ヨリ成立スルモノナルガ之等ハ方域トシテ究
 ムナラストスレハ蓋ニ吾人ハ方域及形式上ヨリ概面上學ノ成立ノ困難ヲ
 証シタルナリ、併シ概面上學ハ依拠對象ノ人ノ念頭ヲ去ラス、彼等ハ和
 メヨリソノ問題ニハラサレハ満足セスト云フ故ニ今日ノ吾人ハ對象ノ人
 ヲ以テ概面上學ノ問題トスル所ヲ考慮セントス、

第四章 形而上学ノ問題

古来形而上学ト称セラル。モノヲ一言ニ云ハハ實在ノ学ナリ、ソノ實在ヲ見ル見方ヲ三分シテ心理論・宇宙論・神論トス、即チ靈魂、宇宙、神ノ三ツヲ實在トシテ認ムルナリ之ハ不滅トカ自由トカ云フ論議ヲ伴フ然レモ之ヲ玄義ニ解釈スレハ単ニ之ダケノ向題ニ止マラザルモノト見ラル即チ是等ノ實在ノ發現シテ世界ヲ形造ル働キモ全シク形而上学ノ向題ニ加ヘルヲ得ルナリ、神ト云ヒ靈魂ト云フハ天ニ實在的ト云フ實ニテ一致ス故ニ先ス第一ニ普通常住ナル實在ナルモノニ干連スル總テノ向題ヲ悉ク此ノ中ニ包括セシムルヲ得、而シテ此処ニ向題ヲ三ツニ分ケテ考フルヲ得ルナリ、(一)不変ナル實在ハ變化スル現象ト如何ナル干係ヲ有スルカ、(二)實在ソノモノ、性質ハ如何、(三)實在ハ如何ナル状態ニ於テ現象トナルカ、即チ(一)ハ實在ノ本体ノ論、(二)ハ實在ノ屬性ノ論、(三)ハ實在ノ過程ノ論ナリ。

世ニハ *Spinozism* カコレヲ明白ニ云ヘリ、即チ一ツノ事ヲ決定スレ
 ハソノ及対ヲ表スニ同シ故ニ普通ノ神ト云ヘハソノレハ最早神ヲスルコトニ
 ナルナリト云ヘリ、カクシテ本体ハアラエレ経験的性質ヲ兼テタル故例ハ
 ハ時間的空間的性質ヲ含マス故ニ希臘ヨリ本体ヲ唯一不動ナリト云ヘリ、
 但シ此知ニ唯一 *One* ト云ヘルハ複數ニ対スルト考ヘラレ、モ此ノ *One*
 ノ斯ノ如キ莫ヨリ云ヘハ *One* 云々ト云フニ基テスルカ故ニ之ヲ一元論 *Monism*
 カクシテ起然観ハ *One* 云々ト云フニ基テスルカ故ニ之ヲ一元論 *Monism*
 性實ヲ論理的ニ正シク説クヲ得レト云フニ基テ現象トノ干係ヲ説カントスレハ
 混乱ヲ生ス、抑モカクノ如ク超越シタルモノヲ如何ニシテ人ハ認識シ得ル
 カハ一ノ向題ナルカソレハ尚后ノ向題トナル故姑ク之ヲ措クモ更ニ他ノ疑
 向ノ莫ハコノ一元の本體カ如何ニシテ雜多差別的ノ現象ヲ生スルカト云フ
 コトナリ、即チ一カ如何ニシテ多クナルカノ向題ナリ、コノ向題起リシ場
 合ニ一元論ハ多少ノ解答ヲナセリ、ソノ一ツノ方法ハカクノ如キ現象ヲ以
 テ直接ナリト見ルコトナリ、印度ノ思想ハ之レナリ、希臘エレア派ノ思想
 モ之ナリ、斯ノ如キハ單ナル一個ノ主義論トシテハ鮮クヲ得レト云フニ基テ

驗上ノノマ、ニテハ最ニサレルコト、明白ナリ、故ニ何等カノ方法ニテ一
 ヲ雜多ニスルコトヲ得ト云フ説ナカレヘカララス、カクシテ生スルモノハ
 ニ元論ナリ、即チニ種ノ本體アリテソノ干係ヨリ万物生ストナス説ナリ
 ラ *Dualism* ト云フ

一元論トニ元論ハ概念上ハ異ルモ然シ實際ニ於テハ兼外ニ一致セルモノ
 ナリト云ハル(四)ニ元論ヨリ之ヲ説ケハ所云ニ本體ハ多クノ場合同等ノ価値
 ヲ有セス、例ハハ宗教上ノニ神論ノ如キハ善悪ニ神ノ中必ス一方ノ神ヲカ
 強シ又陰陽ニ説ノ如キハ何レカ一方上位ナリ、若シ眞ニ全等ナル場合ニハ
 更ラニ高等ナルモノヲ予想スルモノト云フヘシ、後テ暗ニ一元論ヲ限定セ
 ルナリ、ソノニ元ハアル一元ノニツノ屢性トナレナリ、例ハハ物ト心ト對
 スルト云フハ結局物心ノ合一シタル本體ヲ認メルコトニ依リテ一元
 ナルト云フ語ニ對スル故ニ種ノニ元論トナルヘシ
 斯クノ如クニ元論ハ徹底セズ夜テ更ラニ數ヲ増シテ多元論 *Pluralism*
 トナル之ニ種々ノ種アリ、(一)多元ノ數ヲ若干ニ限ルモノ例ハハ之ヲ四ツ
 ニシテ地水火風ト云フヲ如シ或ハ陰陽五行説木火土金水ノ如シ(二)ハ無數ト

スルモノ例へハ原子論ノ如シ、無数ノ atom ヨリ世界カ成立スト云フ説ナリ、多元論ハ結局此知ニ違セサルヘカラス、斯クノ如ク論スレハ無限数ナル本体ト吾人ノ日常見ル干差万別ノ現象ノ區別ハ如何、本体カ一個家ハ二個ノ少数ナラハ現象ト爲レルニ無限数アリトスレハ現象ト必スモ分離スヘキ必要ナキニ至ラン、換言スレハ本体ハ現象ノ中ニ存在スト云フヲ得ハシ、即チ茲ニ内在観 (Immanention) 起リ来ルカクノ如クシテ超然觀カ次第ニ内在観ヲ導クニ至ルナリ、故ニ之等ノ差別ハ結局初メニ思ヒシ如ク根本的ニアラスト云フ疑問ヲ極クナリ、以上ハ古未使用セラレ、語ノ意味ヲ説明並ニソレラノ干係ノ論理的検査ナリ

又上述ハタル結果ハ暗ニ之ヲノ種々ノ説ノ差別カ根本的ニアラスト云フコトヲ説明セルカ以下詳シク之ヲ論セン

(第二項)

以上ノ如ク種々ノ實在^説アレカ而シ初メニ述ヘタレ如ク最モ普通ナル鮮狀

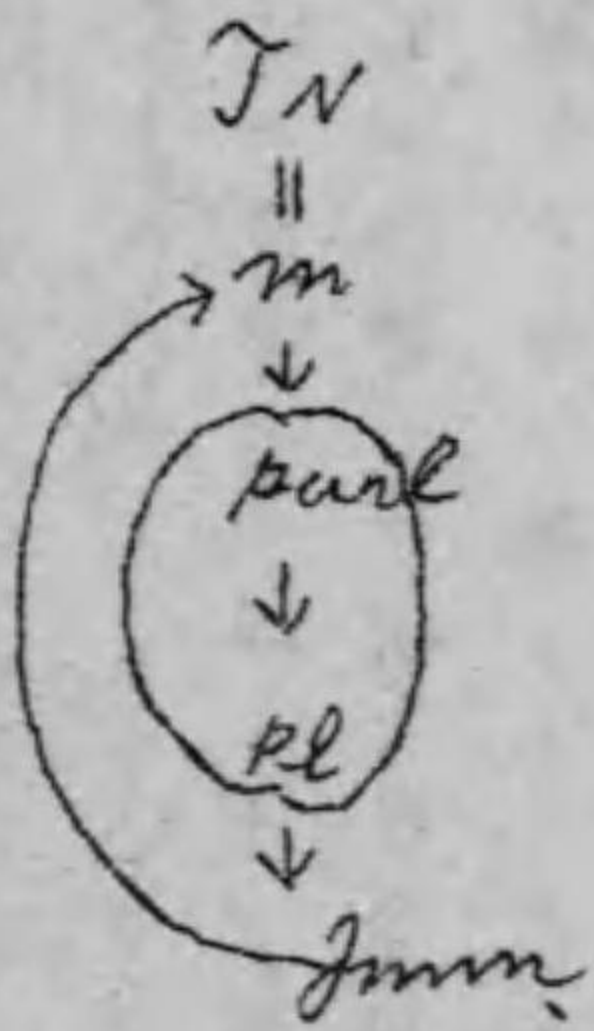
ハ超越的一元論ニ級着セサルハカラス而シテ一方ニハ之ニ対シ内在観多元論カ論理上級着矣ナル如ク見ルナリ、又問題ハ一元論ト多元論カ如何ナル論理干係ヲ有スルカモアリ之ヲ一元論ヨリ論セン

コノ Monism ヲ使用スル片直チニ念頭ニ浮フハ Haekel nit wist^ス云フ所ノ一言論ナリ Haekel ハ最近法乙、動物学者及哲学者ニシテ動物学^学研究ヨリ進化論ヲ奉シソノ原理ト物理学上ノ Energy method ヲ持シ此ノニツノ原理ニ基キ一切ノ事物ヲ説明シ尽サント試ミタリ、物心ニ元論ニ対シ兩者ハ結局同シ本体ノ発現スキスト説キ自ラ之ヲ一元論ト称セリ *Lotze* ハ物理学ノ大家ニシテ Energy ノ研究ヲナシ總テモノヲ Energy ノ発言ナリトシ一律ニ説カントセリ、結局一元論ト一致セシ故ニ一元論組合ニ入リソノ方面ノ首領トナレリ、一元論ト云ハハ直チニコノ名ヲ思ヒ出ス程ナリ、然シコレヲハ至トシテ經驗ノ穿柄ヲ基礎トシテ論セリ、コレニ対シ更ニ根本的ナルモノハ形而ヒ学的一元論ナリ^ハ云フ一元ハ本来自然科学ノ經驗ヲ基礎トセル故ソノ一元ニハ物質的ノ意味ヲ有スル所多シ之ヲ唯物論ト云フコトハ此等ノ人々

好マサル所ナレトモ、角吾人ノ経験ニ接近セルモノト云フヘシ、之ニ及
 る哲学上一元論ト云フハ如斯キ至驗ヲ超越スルモノニテニ元論ニ対スルモ
 ノニアラスニテニ元論ヲ包括スル如キ大ナル見方ナリ全ク普通ノ經驗ノ材
 料トナ係ナキモノナリ、之ヲ初而上学的一元論ト云フ、コノ一元論ニ対ス
 ルモノハ多元論ナリ然シ之ニモ至驗的ト初而上学的ト區別ヲナスヲ得、前
 者ハ例ヘハ原子論 *atomism* ナリ、然シ之ハ至驗的事物ヲ説明セルカ
 今少シ形而上学的ニ云ハハ単ニ物質中ノ最少不可分ト云フカ如キ既定ニア
 ラスシテ物心ヲ超越シタル所ノ實在ノ無敵ニ存在スルト考ヘルモノナラサ
 ルヘカラス、即チ原子論 (*monology*) ノ如キ之ナリ、之ハ、
Teilnütty ノ説ナリ今コノ多元論ヲ至驗的ノ意ニトレハ表面上ハ一
 元論ト異ナレト結局ハ一元論ニ近クナル例ヘハ原子論ノ如キハ世界ハ無敵
 ノ原子ヨリナルト既定スレト原子ノ向ニハ性質上何等ノ差別ナク重量
 分量等ノ差別アルノミナレハ一元論的觀念カ潜メルヲ見ルヘシ
Teilnütty ノ原子論モ各 *monad* カ結合シテ世界ヲ形造ル
 ト説クカ故ソコニ *One* ナルモノヲ認ムルナリ、単ニ雜多ノミニヨリテ

世界ヲ説明、尽スハ事實上学説ニ存在セサルナリ、斯ク述ヘ来レハ多元論
 ハ一元論トナリ終シモノト云ヒ得ヘシ又然シ近來新ラシク多元論ヲ説ク人
 ノ中ニハ一元論ヲ全ク排斥スル人アリ例ヘハ *William James*
Pluralistic universe "ト云フ唇ノ中ニハ云ハレト説ク如キニ
 ナリ、又 *B Russell*, *logical atomism* モ亦絶対
 的多元論ナリ之等ハ宇宙ヲ一体トシテ觀察スルコトハ及対スル故表面上一
 元論ト一致シ難キモ今時ニ一般ノ形而上学的思想ニ及対セルモノト云フヘ
 シ多元ノ意味ヲ斯クノ如ク用フレハ吾人ノ当面ノ今ノ向題ニ干係セストス
 ト云フヘシ、然シ多少ナリトモ形而上学ニ干係スルモノト見レハ彼等モ暗
 ニ宇宙の統一ト云フ概念ヲ用ヒサル能ハス例ヘハ *James* ハ茲ニ *uni-*
versal ト云フ語ヲ用ヒ即チ概念トシテハ之ヲ用アル事ヲ避タル
 能ハサルナリ *Russell* モ此ノ思想ヲ組織スルニ今ニク一種ノ概念的見
 方ヲ用フ、例ヘハ彼ハ哲学ノ向題ニ一般命題 (*general proposi-*
tion) ナリト云フ説ヲ主張ス、即チ凡テノ、科学ニ共通ナル基礎トナ
 ルハキ命題ノ意味ナリ、如斯コトヲ云フタメニハ暗ニ一元ヲ承認スルモノ

ト云ハサルヘカラス、故ニ多元論トハ結局何等カノ実ニ於テ一元論ニ接近
 スルモノナリト云フヘシ、形而上学ノ立場ヨリ云ハハ一元論カ最モソノ本
 性ニ適スルモノト云ハサルヘカラス、此處ニ於テ問題ハコノ一元ヲ全然超
 越的ノモノトシテヨキカ或ハ之ニ内在觀ヲ入ル、ヘキカモシ超越的トセハ
 一元ノ *One* ヨリ如何ニシテ現象ノ *many* ヲ導クヲ得ヘキカト云フ
 コトニナルナリ、故ニ内在觀ヲ入レルトスレバ之ヲ明白ニ説クヘキカノ向
 題トナル、



(第三頁) 一ト多ノ内題

One many 二対スル干渉ニツキテ更ニ一元論ヲ哲学ノ内題ニ

道ヲトスレハ *One* ヨリ如何ニシテ *many* ヲ生スルカノ内題起ル
 此ノ説明ニニツアリソノ一ハ *One* カ増加昇進シテ *many* トナルト
 云フコトニシテ例ヘハ細胞カ分裂シテ行クカ如シ之ヲ本キ意味ニテ進化解
 ト称ス此ノ場合一、単一ト云フ意味ニシテ未発達ノ状態ヲ意味ス、普通形
 而上学ノ立場ヨリハ *One* ニ重キヲオクコトノ意味カ伴ハル即テ完成
 ナル一カ分裂シテ雑多ヲナスト云フ意ナラサル可カラズ、之ヲ分出論 (*Evolutionism* or *Evolutionism*) ト称ス
 此ノ場合ノ一トハ全体ト云フ意味ヲ有ス即金一ナリ、據シテ云ハハ進化論
 ハ経験的ノ立場ナリ、今此ノ分出論ノ立場ヨリ内題ノ究極矣ヲ考ヘントス
 徑途觀ヲ徹底スレハ *One* カ即テ本体ニシテ *many* ハ虚妄トナル
 ト云フ結論ニ至ルヘシ、從テソノ点ヨリスレハ *many* ノ幻影ナリトスル
 考ニ至ル(月ト波トノ比喩ノ如シヌ *Platon* ノ哲学ニテ洞穴ノ譬モ
 之ニ当レ) 而シ此場合雑多ナル現象ハ殆ト実在の意味ヲ有セサルニ至ル故
 ニ今少シ之ニ積極的意味ヲ加ヘテ雑多 (*many*) ヲ本體 (*One*)
 ノ模写 (*copy*) トシテ *One* ハ *type* ナリト考フ *Platon*

自分モアル場合ニハ之ヲ説ケリ、然レ此ノ場合本林へ *Copy* ント模写
 (Copy) トカ合順ナリヤ否ヤノ内裏起ル、若シ同質ナラストセハ幻影
 ト異ラサルニ至ル之ニ及シ同質ナリトセハ初メヨリ数多ニ分レタル多元ナ
 リトノ収定潛メリト見ルヲ得、結局一元論ニアラサルモノトナル且ツコレ
 ラノ模写説幻影説ニ共通ナル困難ハコレヲ *Copy* 若クハ幻影ヲ作
 ルタメニ一元以外ノモノ、助ケヲ借ラサルヘカラフト云フ事ナリ、即チ月
 ノミニテハ影ナク水ナカルヘカラサルカ如シ、茲ニ於テ超然觀ニテハ即チ
 多ト云フカ如ク説明スルモ實際ハ困難ナル由觀ナリ、然レシコノ立場ヨリ説
 明シ試ミタルモノハ正史上ニニツノ若キモノアリ、其ノ一ハ流出説ナリ、
 即チ泉ヨリ水ノ絶エサルカ如ク万物ク原体ヨリ流出スト云フ説ナリ、此ノ
 場合ニ原体ト多トハ性質上ノ差別ナシトセラル、之ヲ論理ノ形ノ上ニテ表
 ハセルハ *Spinning top* ナリ即チ彼ハ万物ノ實在ノ表ハレタルモノナル
 カソレハ同時ニ実体ヨリ論理的若論ノ形ニテ生シタルモノト解釈セリ、之
 ヲ幾何学的 帰結ト云フ
 之ニ及ビ性質ノ差別ヲ認ムル説アリ即チ *many* ニナルニ終ヒ、

One ノ性質不完全ナルト云フ説ナリ、之ヲ放射説 (*Radiation*
theory) ト云フ中心ノ發行体ヲ遠サカルニ從ヒテ光カ益クナルカ如
one *platonism* ノ思想ハ即チコレナリ、前述ノ流出論ニテハ
one *many* ノ差別ナクナリ純粹ノ一元論ト云フコトヲ得ヘシ、
 ナハ *one* *platonism* 派ノ放射説ニ依レハ *one* *many*
 トノ差別ハ単ニ數量上ノ差別ニアラスシテ寧ロ性質ノ差別トナルコトニ歸
 着スルカ如シコノ性質ハアレツノ物ノ見方ニ干係スルモノナリ、
 結局分出論ハ見方ノ相違ト云フコトニ歸着スルニ進化論ニテハ大体ニ *one*
 ヨリ *many* ニ至ルニ從ヒテ完全トナルト見ル故ニ放射説トハ正及対ノ
 論ト云フヘシ、然レニ進化論ノ中ニハ進化ノ向ニ根本ノ物質ハ増加セスト
 云フ考ヘヨリ論スルモノアリ之ハ近世ノ *Energy* ナド自然科学ノ原理
 ト一致スル解釈ト云ハサル可カラス、コノ考ハ *Darwin* *Spencer*
 等ノ進化論ニテ見ル所ナリ、*Darwin* = 依レハ生物ノ体カ外界
 = 適応シテ適當ノ變化ヲ生スルナリ、ソノ中ニ最モ適合シタルモノカ残存
 一〇一

スルモノナリ。又 Spencer ハ生物ノ論ヲ広ク宇宙ノ問題ニ広テ進化ト云フコトハ *incoherent* ヨリ *coherent* トナリ *homogeneous* ヨリ *heterogeneous* = 進ムコトナリトナセル。斯クシテ進化シテ性質カ良クナルト考フ、然シ全体トシテ考フレハ物質感ハ *Emerging* ハ変化ナシトスルカ進化論ノ通説ナリ、斯クシテ見レハ性質ハ改善サレルト雖モ之トテモ初メヨリ全クナカリシモノト云フヘカラス、即チ此ノ説ハ結局一元ニアラスシテ多元ナリト云フヲ得ヘシ即チ之ハ形而上学ノ普通ノ立場ニテ一致セス之ヲ不変進化論ト云フ、之ニ對シテ全シク進化ヲ説キテ一ヨリ多ニ進ム進化論ヲ説クモノアリ之ヲ攸リニ増加説トナス、例ヘハ *Bergson* ノ説ノ如キモノニシテ彼ハ宇宙ニハ無限ノ繁殖アリテ宇宙ハ常ニ新ナルモノヲ創造シ行フモノナリトス、然シナカラユノ場合ニ於テ若シ眞ニ増加スルモノナリトスレハソレハ何処ヨリ来ルマ不明ナリ又所云増加トハ分量ニアラスシテ性質ニ存スト見ルヲ適當トスルカ如シ即チ一ナルモノカ次第ニ完全ナル性質ヲ示スニ至ルコトカ多トナルト云フ意味ナリ故ニ結局進化論説ノ一多ノ差別ハ分量ノ

差ヲ云フニアラスシテ性質ノ差ナルト見ルコトヲ得斯クテ *One many* ノ問題ハ種々ノ見方アルモ之ヲ単ニ客観的ニ存在スル *One* ナルモノカ次第ニ分量的ニ増加スルモノト見レハ到底コノ問題ヲ解決スルコトヲ得ス故ニ一多ハ各人ノ見方ノ相違ニ依ルモノニシテ世界ヲアル目的ニヨル統一ノ方面ヨリ見レハ之ヲ *One* ト考ハサルヲ得ス、然シ個々ノ性質ヲ區別シタル場合ニ於テ考フレハ多ト見サル能ハス結局吾人ノ解決ノ目的ニ依リ即チ見方ニヨリ一元論モ多元論モ共ニ成立スルヲ得ルモノト云ハサルヘカラス、斯ク見方ト云フコトハ知識ノ向題ニ屬ス、故ニコノ實在ヲ一元トシ一元トスル形而上学ノ問題ノ結局知識哲學ノ問題ニ屬スルモノト云フヘキナリ、然シ更ラニ進ンテ一ト決定シタルモノカ如何ナル屬性ヲ有スルカノ問題即チ實在ノ内容ノ問題ニ入りテ考フルヲ得ルコト勿論ナリ、然レナカラコレモ結局知識ノ問題ニ歸着スヘシ、今内容ノ問題ヲ説カントス

第二節 實在ノ屬性

ノ・唯物論

實在ハ本表一ニモアラス、多ニモアラスト云フモノノ何レトモ鬼ラル、
 コト前ニノハタリ、然ルニ之ヲ一體ト限定シテ如何ナル屬性ヲ有スルカヲ
 考フルコトヲ得、普通ノ經驗ヨリ論スレハ此ノ實在ノ性質ヲ自分ニ比シテ
 自体ト精神トニ分ツト吾人ノ常識的ニナストコロノコトナリ、此ノ區別ハ
 自然界ニ於ケル物質的現象ト自己ノ精神作用ノ相異ニ歸着スルコトヲ得、
 而シテ實在ハ云等ノ二ツノ性質ノ何レカニ屬スルモノト考フルコトヲ得、
 コレヨリ分出スル論カ即テ唯物論 (*materialism*) 唯心論 (*Spi-*
ritualism) ナリ、自然現象ヲ外部ヨリ觀察シテ得タル所ノ結
 果ヨリ概括スレハ物質ヲ世界ノ本体ナリトスル考ニ到達ス、*Hemppe*、
 云ハルカ如ク唯物論ハ哲学ト全シク苗キモノナリ、然シ哲学ヨリモ以前ヨ
 リアルモノニアラス、即テ世界ヲ神話的、想像的ニ解釈スル立場ヲ尙レ合
 理的ニ考案ソレソノモノカ自身ニ訴ヘテ世界ヲ説カントスル時ハ先ツ眼前
 ニ現ハレタル物ヲ以テ説明ノ原理トスルコトハ当然ノコト、思ハル、ナリ
 如斯シテ *Thales* ハ水ヲ以テ万物ノ本ト考ヘタリ、然シ此ノ説ハ未ダ

確ニ唯物論ト云フヲ得ス、何トナレハ *Thales* ハ精神現象ヲ独立ナル
 モノト認メス、精神ヲ別ニ分ケテ之ヲ物質的ニ解釈スルコトナカリキ、只
 水ハ物質ニシテ同時ニ法カヲ有スト考ヘタリ、然シ如斯論カ根拠トナリテ
 唯物論トナルコトハ容易ニ想像セラル、コトナリ、故ニ水ヲ以テ世界ノ根
 元トスルニ足ラス他ニ種々ノ根本タルモノカアルコトヲ考フルニ至リ結局
atom ト稱スル不可分ノモノヲ以テ世界ノ万物ノ根元トスト説明セシ
 トスルニ至レリ、此ノ説ニ於テ明白ニ唯物論ノ考カアラハレタルナリ、コ
 ノ説ヲ *Atomism* ト云フ希臘ニ於テハ古世 *Platon*、*Arist-*
oteles、等現レテ唯物論ニ反対ノ意見ヲ出シタルカ然シ一方ニ於テ希臘
 固有ノ精神ハ形 (*form*) ニ重キヲ置ク故唯物論的思想ハ減ヒルコト
 ナカリキ、故ニ *Aristoteles* 以テ理性ニ重キヲ置キ克己ヲ唱ヘタル
Stoa 派モ快樂ニ重キヲ置キタル *Epicurus* 派モ唯物論的ナルコ
 トニハ一致セリ、中世ノ基督教哲学ニ於テハ唯物論ヲ卑メタル故業ニス、
 近世ノ初メニ至リ自然研究カ勃興スルト共ニ唯物論ニ対シテ新ラシキ根拠
 ヲ加フルニ至レリ、種々ノ生理学上ヨリ精神ノ作用ヲ物質的ニ研究スル勢

起リシカ此等ノ説ハ大体ニ於テ十八世紀仏國ノ啓蒙學者ノ間ニ唱ヘラル、
 其ノ代表的人物ハ "*L'homme machine*" ノ著者ナル *La
 mettrie* ノ著者ニモ有名ナリ、蓋シ、近世ノ初メヨリ自然ヲ数学物
 理学ヲ根柢トシテ探察スルコト發達シ、近世哲学ノ祖タル *Descartes*
 モ感覺ヲ此ノ方ヨリ探究シテ自然現象ナリト説明セリ、即チ動物ノ感覺ア
 レハ精神ナク恰モ一種ノ自動機械ノ如シトナセリ、コノ思想ヲ一歩進ムレ
 ハ人モ亦一種ノ自動機械トナスヲ得ヘク精神モ物質ノ作用ニ影響セラル、
 コト感覺ト異ラサルナリ、*La matirie* ハ医学的ニ説明シ精神モ本
 物質ノ作用ナルコトヲ断言セリ、唯物論ハ常ニ宗教家等ノ反對ヲ受ケタル
 ニ不拘今尚殘存セリ、十九世紀中頃ニ於テ其逆勢カアリシ *Hegel* 派ノ
 哲学者レ自然科學勃興シ唯物論ニ赴クモノ多シ、一八五四年ニ *gettin
 gen* ニ於ケル自然科學者集會ニテ *Rudolf Wagner* ハ「人
 間ノ創造及ヒ真理ノ本質」ト云フ題ニテ講演ヲナシソノ中ニテ「*Bible*
 ノ如ク精神ノコトハコレヲ宗教家ニ讀ムレトスヒタルニソレニ反對シ一
 學者ハ「迷信ト科學」ト題シテ彼ニ駁論ヲ加ヘタリ、コレヨリ種々ノ學者

間ノ論争トナリ所云唯物論々争ナルモノヲ惹キ起スニ至レリ、ソノ中 *Ber-
 ichauer* ノ "*Kraft und Stoff*" ナトハ最も著名ニシ
 テ一時広ク流マレタリ、之ハ *Energy* ノ物質トヲ以テ世界ヲ説明シ、
 宗教道德等モ之ヲ以テ解釋セリ、最近ニハ *Haeckel* ノ「世界ノ迷
 語」カ *Birchner* ニ代リ新ラシキ唯物論ヲ代表セリ、其他化學者、
Datvor 又ハ生理學者ノ間ヨリ多クノ唯物論出タリ、之ニ反對シ
 テ宗教家、諸塩哲學者等起テリ、*Parlaen* ナトハ *Birchner*
 ヤ *Haeckel* ナトノ出スルハ独ニ學界ノ恥ナリトマテ極言セリ
 唯物論ニ種々ノ長所アルハ明白ナリ、
 第一ニ自然科學ニ依リテ従来物質的現象トシテ説明シ得ラレザリシモノ
 カ次第ニコノ中ニ入ル旅ニナレリ、物理学化學ノ現象ハ勿論唯物論ヲ基
 礎トシテ説明ナシタルカ生物界ノ現象ノ如キモ單ニ物質ノ作用トシテ説明
 サル、ニ至ル、*Vermoren* ノ如キ即チコレナリ、此ノ生物現象ヲ
 物質ノ作用ニテ説カントスル議論ニ於テ *mechanismus*、*Vi-
 italismus*、ニ説アリ、意識作用ヲモ更ニ又物質作用ノ方ヨリ説

カントスル者少ナカラス、生理、心理ノ両作用ノ間ニ平衡關係アルコトハ古クヨリ云ハレタルコトナルカ近頃心理作用ヲ単ニ生活々動ノ作用トシテ説カントスル傾向アリテハ唯物論的ニ説カントスル範圍ノズクナリタルハ争ヲ容レス、

一歩進ンテ精神作用モ亦唯物論ニテ証明サル、コトハ尙疑ヲ存スル余地アリト云モ唯物論ノ範圍ノ拡大セルハ明カナリ(例 *Dimmerackel's Kant was not*)

第二、ニ世界ヲ一元的ニ説明セントスル要求ハ人生ニ何有ノモノナルカ然シコノ精神ト物質ト何レカ最確實ナルカヲ考フレハ常識ニ於テハ馬コ物質ヲ主トスル方ニ傾ケリ、何トナレハ物体ノ存在ハ明白ニシテ而テ物体ハ物質的ナルモノト考ヘ得ヘキコト普通ナレハナリ、次ニ物体ヲ支配スル法則カ確實ナルコトハ多クノ場合証明サル、所ナリ、故ニ精神の現象モ物質的ナリトスル方カ理解シ易シ

第三、ニ唯物論ヲ受ケ入ル、ニ適當ナル時代アルコトナリ、即チ幻滅ノ時代 (*Age of Disillusion*) 煥言スレハ理想ニ対シ失望

シタル場合ニハ唯物論ノ説ヲ歡迎セラレ、ナリ、亦モ此ノ時代ノ衰ヘタル場合ニハ理想ヲ起リ得レカ時代恩顧ハコノ場合唯物論的ニ傾タコト少ナカラス、物質的経達ノ盛ンナル時代ニ唯物論ノ生スルハ論ヲ俟タス、第四、一般ニ宗教的精神ノ衰弱ナル社会ニハ唯物論栄ユ、如斯唯物論ニハ種々ノ長所アリ、又世ニ行ハレ得ヘキ理由モ少ナカラスト云モ亦之ニ對シテ非難多キコトモ免ルヘカラス、然レニソノ中ニハ真ノ非難ト称ス可カラサルモノアリ

(1) 其ノ最モ大ナル欠トシテ非難ナル、ハ道德的立場ヨリノ非難ナリ、即チ彼等ハ之ヲ以テ道德宗教ヲ害シ種々ノ文化の現象ヲ説ク能ハストナスナリ、此ノ唯物論カ屢々世ノ普通道德ヲ排シ或ハ文化の方面ヲ充分ニ説明スル能ハサルハ事實ナリ、然レ此ノ論トテモ全ク道德や宗教や文化ヲ顧ミサルモノニアラス、何トナラハ唯物論ノ立場ヨリモ道德ヲ説明スルヲ得レハナリ、唯物論者ハ或ハ自由意思ヲ否定スルモノアリ、或ハ感覺的快樂ニ重キヲ置クモノアリ、其他自我的論理説ヲナスモノアリ、然レ全ク道德ヲ無視スルモノニ非ス、即チ必然論ノ立場ヨ

リ、道徳ヲ説キ又主我説ノ立場ヨリ道徳ヲ建設シツ、アルナリ、
 (2)、實際上唯物論者ハ科学者トシテ誠実ナル論者多ク、カノ帯ニ理想ヲ
 説キテソレテ裏切りツ、アルモノヨリ遙カニ高潔ナル人多シ、唯物論
 者ト云ヘハ直テニ悪キ意味ニ又ハ劣レル意味ニ解スルハ不当ナリト云
 フヘシ、

(3)、唯物論ヨリ一種ノ文化カ生スルコトハ正史上ニ充分証明セラレタリ
 例ヘハ文藝上ノ写真主義 (*Realism*) 及自然主義 (*Naturalism*)
 等ノ立場ハ唯物論ノ思想ニ接近セルモノナリ、或ハ
 之等ノ文藝ノ主義ハ高尚完全ナラスト云ハ、ソレハ意見ノ相遠ニシテ
 之カタメニ精神主義ニアラスンハ全然又藝術ナシト云フコト能ハス
 (4)、依リニ此ノ唯物論ノ論理ヲ以テスレハソレハ唯物論ニアルニアラス
 シテ寧ロ道徳宗教藝術等ノ方ニ非アリト秀フルヲ得ヘシ如斯ク論スレ
 ハ世ニ行ハル、實際上ノ駁論ノ如キハ意トスルニ足ラサルナリ、然レ
 論理上困難アリトスレハ唯物論カ完全ナラサルコトヲ証明シ得ヘシ、
 コノ問題ニ於テハ知識ノコトニツキテ述フル必要アレハ后章ニ譲リ此

如ニハ唯物論カ理論上成立セサルヲ説明セン、即チ唯物論ノ長所ハ科
 学的單純ナル矣ナルカ之ニ對シテ吾人ハ及對ヲナスヲ得ヘシ
 (第一) 唯物論ノ云フ物質ト云フ概念ハ種々アリテ確定セス、例ヘハ
 水や火等ノ明白ナルモノ若クハ物質原素ヲ假定シテ之ヲ物質ト見ル思
 想ハ早クヨリ起リシカ如斯クソノ性質ノ相遠シ變化セルモノヲ以テ世
 界ノ本体トスルヲ得ス、本質ハ一般の抽象的ニ變化シ結局原子 (*Atom*)
 (*Atom*) ト云フカ如キ考ニナルカコノ原子ナルモノモソノ性質極メ
 テ不明瞭ナリ、然レシコノ *Atom* ニ何等カノ性質アリトスレハ之
 ハ最早根本ノ物質ト云フヲ得サルヘシ、故ニ化学上ニアル物質ヲ假定
 スル場合ニハソハ普通ノ意味ノ有形的実体ナルコトヲ要セスシテ只化
 学説明ノ手段トナレハ可ナリ、次ニ之ヲ單ニカノ質 (*Kraft* *Einheit*)
 (*Einheit*) ト見ルヲ得ヘシ、如斯ク唯物論ニ極メテ明白ナリトナセ
 ル物質ナルモノ、概念ハ去來變化セルモノニシテ殆ト普通ノ物質ノ概
 念トハ關係ナキニ至レリ、故ニ化学的ト云フ立場ヨリ云ヘハ普通ノ常
 識的物質ハ消滅シ物質ハ單ニ一種ノ思想の産物ナリト見サルヲ得サル

(第二)ニ物質ヨリ精神ヲ説明スルコトハ容易ナルカ如ク論者ハ考フレ
 正云物質ノ作用即チ身体ノ働キハ之ヲ以テ直チニ精神ノ働キナリト
 云フヲ得ス、例ヘハ脳髓ノ分泌作用ハ思想作用ト全ク全一ナルモノニ
 アラス、故ニ唯物論的ニ説明セントスルモノハ物質ノ働キヲ複雑ナラ
 シムルモノトシテソレニ許多ノ種類ヲ設クルナリ、例ヘハ *water*、
and、*Energy*、ニテ之ヲ説明セントセルカ彼ノ所云、
Energy、ニハ數多ノ種類アリテ其ノ意義ハ殆ト理解シ難シ、其
 他理想ノ説明ノ如キニ於テ、唯物論カ不完全ナリト云フヲ得ヘシ、故
 ニ吾人ハ唯物論ヲ以テ世界ヲ悉ク説明スル能ハス、吾人ハ執ンテ他ノ
 見方ヲ採ラサルヘカラス

// 唯心論

唯物ト対ニ世界ノ本体ヲ以テ可見の物質ト全ク異リタルモノナリ
 トナス考ハ古クヨリ人々ノ考ニ存在セリ、形而上学の要求ヨリ行ケハ
 自ラ此ノ考ヘニ歸着セサルヲ得ス、コノ説ハ物質ニアラサルモノヲ本

体トスル考ハナル故云ク云ヘハ *Immaterialism* ト云
 フヲ得ヘキモ *matter*、ニ対スル *spirit*、ヨリシテ普通ニ之
 ヲ *Spiritualism*、*Idealism*、ト稱ス (*Ide-*
alism、ニハ種々ノ意味アリ、唯心論、觀念論、或ハ理想主義
 等皆 *idealism*、ノ語ヲ以テ表ハスコノミツノ觀念ハアル程度
 マテ一致スルコトアリ)コノ唯心論ノ思想ハ唯物論ト正反対ノ動機ヨ
 リ生セリ、即チ唯物論ノ方ハ古代ノ神話中ノ科學的精神ノ発現セルモ
 ノト見ルヲ得ルカ之ニ対シテ神話ノ宗教的意義ニ重キヲ置キ人間ノ理
 想ニ対スル要求ニ関連シタル觀念カ此ノ唯心論ヲ呼ヒ起シタルナリ、
 即チ世界ヲ以テ現在人々ノ見解スル以上ノ深キ意味ヲ有スルモノナリ
 ト解釈スルコトナリ、コノ考ハ希臘ニ於テハ水又ハ火ニ対シテ其レ以
 上一般のナレト有レ (*Being*)、ヲ以テ本体トナセル *Element*、
 其ノ端ヲ終セルモノナリ、然シコノ有ニハ種々ノ解釈アリ *Plato*、
 カ *Idea*、ヲ以テ世界ノ本体ナリトナシタルヲ以テ非物質ヲ世界
 ノ主体トナセル初メトス、(老子ハ之ヲ無ト呼ヒタリ、名ハ異レ共ソ

ノ意義ハ同シ然シコノ語ヲ尹密ニ解釈スレハ本体ハ精神ニ限ルト云
 フ意味ニナルヘキナレド廣ク解シテ總テ物質ニアラサルモノヲ以テ
 本体トスル説ヲ唯心論ナリトスルヲ得ヘシ、故ニ *Plato* 以右ノ
 形而上學派ハ大体ニ於テ唯心論の傾向ヲ帶フ、之ニ及シ経験的立場
 ヨリハ唯心論ニ傾カスシテ多ク唯物論ニ傾クナリ、但シ英ノ *Ber-*
keley ノ如キハ經驗派ナレ共モ明カニ唯心論者ナリ、之ニ及シ
 形而上學ノ立場ヨリスレハ殆ト總テカ唯心論ナリト云フヲ得ヘシ、カ
 ノ *Descartes* ノ如キハ元來ニ元論者ナルカ更ニ根本ノ本体トシ
 テ神ノ存在ヲ認ムル故ニハリ唯心論的ト見ルコトヲ得ヘシ *Spinoza*
Spinoza ニ至リテハ心物ヲ以テ神ノ屬性ナリトセリ、即テコノ論ニテ彼ノ
 論モ非物質的ナリ *Leibniz* ノ如キハ代表的唯心論者ニシテ心ノ一
 種神秘ナルモノヲ以テ世界ノ本体トナセリ、十九世紀ニ至リテ他ノ
 哲學者ニ唯心論者輩出セリ *Fichte* ハ自我ヲ以テ万物ノ源トナ
 シ *Schelling* ハ絶対ヲ以テシ *Hegel* ハ理念ヲ以テシ *Sch-*
openhauer ハ意思ヲ以テ説明セリ、之等ハ何レモ広キ意

味ニ於テハ唯物論ト見ルヲ得ヘシ、十九世紀ノ中頃ヨリ他ニハ自然
 科系起リテ唯物の傾向ヲ助シエカ純哲學者ハ一方ニ於テ尚非物質的ノ
 コトヲ言ヘタリ *Letzte Forderung* 等ハ即チ當時ノ唯心論の哲學
 者ナリ、最近ニハ *Winnat Eichen* 等モ結局一種ノ精神の實在
 ヲ認メ从因ノ *Bergson* ノ如キハ明カニ唯心論者ト称ヘ、キナリ
 批評哲學ノ中ヨリ唯物論ノ學説ト及形而本の立場ヲ除ケハ他ハ大抵コ
 ノ唯心論ト云フヲ得ヘシ、尚進ンテ唯心論ノ差別ヲ説カン
 唯心論ハ世界ノ宗教的道德的要求ヨリ生レ来レリ、故ニ其ノ对照ハ
 人間中心 (*anthropocentrie*) ニテ全時ニ擬人的 (*anthro-*
ropocentrie) ニ他ヲ説明スル論法ヲ採レリ、即チ人間ノ精神作用ヨ
 リ推シテ世界ノ全体並ニ世界ノ何物ヲ説明セントスルナリ、然ルニ
 心ノ作用ニ於テハ現今普通智情意ノ三面ヲ區別ス、然シ最近ノ心理學
 者ハ情意ヲ一ニシテ之ヲ知ニ對セシム、即チ之ニ從テ三種若クハ二種
 ノ唯心論生ス、其他又心ヲ全体トシテ考フル立場モアリ、又心ノ中ノ
 心ト云フヘキ特殊ナルモノ即チ神ヲ以テ本体ナリト考フル學者モア

故ニ智的唯心論 (*intellectualism*)、意思的唯心論 (*voluntarism*) 及有神論 (*theism*)、*no.*) 等種々ノ唯心論アリ、之ヲ要約スレハ *intellectualism* 及ヒ *voluntarism* ノニツトナル、古来多ク唯心論者ハ前者ニ屬ス、蓋シ哲學者クハ形而上學ハ本義理性ヲ主トシテ組織セラレタルモノナレハナリ、希臘ノ思想ハ至知的ニシテ、*intellectualism* ハ希臘ノ初メヨリ表レルモノナリ、*intellectualism* ニシテ種々ノ意アリ、
 (1)、心理的説明ニテ知的作用ヲ根源トスルコトナリ、例ヘハ感覺ノ如キモノヲ以テアラユル心的作用ノ根源トナス説ナリ
 (2)、論理的説明ニシテ論理ヲ以テ根本ノ原理トナシコレヲ知ルノ *final* ナルモノノ先天的ナルモノトナス説ナリ、
 (3)、論理的説明ニハ知的完全ヲ理想トシ然レテコノ場合ニハ善ト與ト一致ス
 (4) 形而上學的説明ニ於テハ世界ノ本体ハ理ナル知的作用ノ産物ナリ

ト考ヘ、世界ノ變化ハ理ノ法則ニ從フモノナリトスル説ナリ
Herbivig ノ如キハコレニ屬ス *Herbivig* ハ万物ノ本体ヲ雜多ナルモノト考ヘ之ヲ各ツケテ單子 (*monade*) ト云ヘリ、此ノ單子ハ云ハ、カノ桌ノ *Wagt für Kt*) ノ如キモノナリ故ニ恰カモ *atom* ノ如キモノニシテ少シキ物質的性質ナキモノナリ、而シテ具ノ所云カトハ他ノ物ヲ表象スル、
 (*representant*) 作用ナリ、各ノ單子ハ独立シテ互ニ條件 (*exclusio*) ナルモノナリ、然レ此合時ニ其等ハ互ニ他ヲ表象シ映写スルモノナリ、從テ相互ニ密接ナル干係ヲ有ス即チ一方ニ或ル作用アレハ其レハ他方ニモアル働キヲ伴フナリ、斯クスレハ各々單子ハ合一ノ内容ヲ有スルモノナルカ而モ其間ニ差別ノ存スル理由ハ其等ノ間ニ表象ノ明瞭ノ程度ノ種々アルコトニヨル故ニ最モ不明ニシテ混沌セルモノヲ物質トシテニ反シ最モ明ナルモノヲ神トセリ、其ノ他ノモノハソノ中間ニアリ斯クシテ世界ハ表象 (*vorstellung*) ノ集合ナリト見ルヲ得ヘシト説キタリ、

其他尚彼ノ外ニ知的法則即テ理ヲ以テ世界ノ本体ト考ヘル主義アリ
 是ハ汎理主義 (Panlogismus) 一ト称シ又知的唯心論ト
 見ルヲ得ヘシ、要スルニ世界ノ本体又ハ世界ノ根本法則ヲ知的作用
 ニ依リテ説明セントスルモノカ知的唯心論ナリ、
 之ニ及シテ意ヲ以テ根本トスルモノカ主意説 (Valentation)
 或ハ意的唯心論ト称セラル、コノ説ヲ生スルニハ種々ノ理由アリ、
 (第一)ニ心理学ノ根柢ヲ有ス近代ノ心理学者ハ旧時代ノ知的本位
 ノ考説、例ヘハ觀念聯合ノ心理説ナトニ及対ヲナシ意思ヲ以テ心
 理作用ノ根本トナセリ、即テ意思ノ働キソノモノヲ以テ心理上ノ
 觀念トナセルナリ、之ヲ心理的主意説ト云ヒ *Winnat* 若
 クハ *Jaumes* 等ハ之ニ属ス
 (第二)ハ論理的主意説ナリ、之ハ判断推理等ノ如キ論理的作用ハ
 意思ノ作用カソノ根本トナレリト云フ説ナリ
 (第三)ニハ論理的主意説ナリ、之ハ人ノ活動ニ重キヲオキテ善ノ
 意味ヲ專ラ意思ノ方面ヨリ説キテ真ハ *Kant* ヲヨリ區別セシ

トス

(第四)ニ形而上學的主意説ハ世界ヲ以テ情意ノ發現ナリト見ルカ
 或ハ世界ノ活動ヲ以テ知的法則ヲ發越スルモノナリト考フルモノ
 ナリ

前述ノ知的唯心論ノ狭義ナルモノカコノ第四ノ意的唯心論ナリ
 コノ論者ニハ *Schopenhauer* ヲ挙クルヲ得ヘシ、彼
 ハ世界ヲ以テ現象トナシソノ奥ニ經驗ヲ超越スル本体アリトナス
 而シテ其ノ本体ハ自己ノ意識ヨリ發越シテ *Wille* (意志) 如キモノナリト考フ、即テ換言スレハ世界ニ根本的大ナル意思アリ
 リ而シテソレカ種々ノ形ニアラハレテ万物ヲ作レリ、之ヲ大別ス
 レハ自然カ (*Natur Kraft* ...) 働動 (*Trieb-*
te) 働動 (*Motivation*) ノ三ツニテ表ハサレ、其ノ
 特徴ヲ一言ニシテ云ハハ「生キントスルノ意思」 (*Wille zu-*
in leben) ト云フ語ニテ表ハスコトヲ得、コノ意思ハ
 本来道德的意味ナクシテ又自己ノ生ヲ主張セントスレ働キノミヲ

有ス、徒テコノ意思ノ発現スル世界ニハ闘争止マズ、從テ苦痛絶
コル時ナシト説ケリ、而シテ *Schopenhauer* ハコノ意
思ヲ斷滅スル所ニ幸福アリトセリ、然レ此ノ意思ヲ更ニ益々強
固スルコトニヨリテ幸福ニ至ルコトヲ説キシモノアリ、即チ、

Nietzsche 十リ、彼ハカノ意思ハ *Will of man*
mer (ヲ理想トセリ、此等カ意思的唯心論ト敬スルモノナリ

其他 *Bergson* カ生命 (*la vie*) ヲ以テ世界
ノ根源トシ *Gougen* カ精神活動ヲ以テ世界ノ基礎ヲ説キシハ

大体ニ於テ根本思想ノ一致セルモノナリ

如斯唯心論ニ種々ノ別アルカソノ多クハ實際上ノ問題ニ對シテ
唯物論ヨリモ更ニ深キ要ヲ求メテ説明ヲナサントスルコトニ起因シテ生
シタルモノナリ、唯心論ハ此ノ突ニ於テ確ニ長所アリト云ハル、
ナリ、然レ此レニ對シテ唯心論ノ長所タル科學的性質ニ於テ欠ケ
タル突アルヲ認メサル能ハズ、或ル多クノ場合ニ於テハ唯心論ノ
説明ハ比喩ノ如キモノ少ナカラス、之ヲ比喩トシテ見レハ困難ナ

ル莫ナシト云モシカ往々事實上ノ意義ヲ辨テ故科事ト矛盾スル突
ヲ生スルナリ、然シ今ハソノ突ヲ尋クルコトヲ止メテ又ソノ方法
ヲ用フル效カノ如何ナルカヲ考察セン、之ニ先タテ一言スヘキ
コトハ唯心論ト理想主義トヲ混同スヘカラサルコトナリ、多クノ
哲學者宗教家倫理學者ハ唯心論カ道德的ニ意味深キモノナリトノ
考ヘヲ初メヨリ抱ケルカ如キモ必スシモ然ルニアラサルナリ、例
ヘハ、*Nietzsche* ノ説ノ如キハ多クノ倫理學者ノ及對ス
ル所ナリト云モ *Nietzsche* 自身ハ必スシモ道德ソノモ
ノヲ排斥スルニアラス、彼自ラ *Immoraliste*、
ヘ我々不道德者ト呼ヒタルカ此ノ意ハ世界ノ所云道德ナルモノ
ヲ超越スルコトナリキ、又彼ハ極端倒 (*Umwertung*)
ナル語ヲ屢々使用セルカ即チゴレヲ以テ普通ノ道德トナス能ハサ
ル一種ノ道德ヲ建設セントスルモノトミルヘキナリ、然レ乍ラ彼
ノ説ノ如キハ一方ヨリ見レハ普通ノ道德説ト異ナルヲ認メサル能
ハスカルカ故ニ唯心論即チ道德主義ナリト信スルモノニトリテハ

又ハソノ説ニヨリテ現在道德ヲ維持セントスルモノニトリテハ不
適當ナル説ト云ハサルヘカラス。

其他 *Beigovorn* ノ説ニモ本道德的意味極メテ少ナシ、彼
ノ所云生命ナルモノハ發躍ニシテ新ナル創造進歩ナレハ初メヨリ
目的ヲ定ムル能ハス。コノ説ハ藝術的創作ヲ作成スル過程ニハ適
当ナルモ普通ノ意味ノ道德的行為トハ異ナルモノナリ、何トナレ
ハ道德トハ或ル目的ニ対スル行為ヲ意味スレハナリ。

次ニ唯心論ハ心ナルモノハ直接ナルモノナレハ従テ最モ簡單ニ
ス直接ニ知覚シ得ルモノナリトシ、斯クシテ心ヨリ發揮シテ世界
觀ヲ立ツルナリ、然レコノ作用ヲ吾人ヲ日常直接ニ經驗スル所ノ
事實ト本體カ何ナルカヲ認識スル手續トハ全一ニアラス、物ノ本
體カ而カモ同様ニ理解シ難シトスレハ心ノ本體モ同様ニ知ル事難
シ *Kant* モコノ事ヲ明言セリ、更ニ又心ノ作用ヲ直接ニ
經驗スルコト、其ノ作用ヲ理解スルコト、ハ同一ニアラス、故ニ
本體ノミナラス作用ソノモノモ理解スルニ容易ナラス、次ニ唯心

一三二

論者ハ心ノ現象作用ヲ以テ直接ニシテ簡單ナルモノト考ヘタリ、
然レ其ノ場合ニ於ケル物的現象ハ必スシモ決シテ簡單ナルモノニ
アラス、故ニ物的現象ヨリ見レハ所云簡單ナルモノアリト云ハサ
ルヘカラス、オモニ心ヲ以テ悉ク物ノ作用トスルハ常識ニ合セサ
ルカ如キモ又物ヲ以テ悉ク心ノ作用ニ歸スルコトモ多クノ人ニハ
解シ難シ、例ヘハ *Schopenhauer* ヲフ意思トハ前述ノ、
Energy ト殆ト異ラサルモノナリ

要スルニ唯心論ニ含マル、道德的觀念意味ヲ除ケハソノ所云心
ノ中ヨリ次第ニ實體的意味消去シテ単ニ作用ト云フ意味ニナルナ
リ、即チ心ト云フヨリモ寧ロ活動 (*activity*) ト云フ意
味ニナルナリ、然レニ已ニ速ヘタル如唯物論モホソノ物質ノ觀念
ハ次第ニ實體ノ意味ヲ失ヒ次オニ活動作用等ノ意味ニ歸着ス、即
チ *Energy* アル作用ノアラハレル事 (*Kraft be-
weist*) トナルナリ、故ニ今日科系者ノ云フ所ノ物質ハ決シテ常
識ト云フ物體ニアラスミテ只一種ノ符号ノ如キモノナリ、カク考

一三三

フレハ物質ノ根本的意義モ精神ノソレモ共ニ作用ナルコトニ一致ス、又両者ノ見方カ相透スルカタメニ故ニ區別ヲ生シ更ニ之ニ道德的意味又ハ其他ノ意味カ附ケ加ハリテ全ク異リタルモノト見ユルニ至ル、之ヲ以テ見ルニ前述ノ本体ソノモノカ *Ontology* ナルカ、*Psychology* ナルカト云フコト、等シク本体ノ屬性カ必的ナルカ物のナルカト云フコトハ結局吾人ノ知識ノ向題ニ歸着スルト云フヘキナリ、古来形而上学ノ向題トシテ残リタルユノ實在ノ向題ハ茲ニ於テソノ独立ノ立場ヲ失フニ至レルモノト云フベキナリ、

第三節 實在ノ過程(自然)(作用)

一元論ノ立脚地ヨリシテ自然カ全ク唯一不動ナリト主張スル片ハ其ノ過程ヤ作用ト云フコトヲ説ク能ハス、即チソノ雜多運等ハ全ク幻影假想ニスギスト云フコト、ナレハシ、然シ依リニ之ヲ虛妄ナルモノト假定シテモ免ニ毎日常吾人カ至驗セル以上ハ之ニ對シテ何等カノ説明ヲ要スルナリ、其

故ニ極メテ極端ナレ一元論ナラサレ限リ自然ノ作用ニ對スレ鮮然ヲ認ムルヲ得ヘシ、ソノ場合ニニツノ大ナル見方カ區別サル、ハコノ自然ノ作用ヲ以テ只原因結果ノ必然的干係ニ依テノミ支配サル、トスル見方ナリ、即チ自然界ノ万物ハ全ク機械ノ如ク結合スト云フナリ、此ノ矣ヨリ此ノ説ヲ機械説 (*mechanism*) ト云フ然ルニ之ニ反シテ自然ノ各物ノ結合ニハアル一定ノ目的カ包含セラルトミルニハ之等ノ變化ハ単ニ各部分ノ法則的ノ干係而已ニアラスシテ予メ全体ノ目的ニヨリテ統一セラル、モノナリト鮮然セラルヘシ、コレヲ名ツケテ目的觀 (*teleology*) ト云フ、古来宗教的ノ見方ハ概シテコノ目的觀ナリキ、之ニ反シテ自然科学ノ見方ハ機械觀ノ明ナル例ナリ、形而上学ノ立場ヨリスレハ概シテ目的觀ニ傾クコト多シ、然シコノ説明ハ自然科学ノ到達ト夫ニ屢々攻撃ヲ受ケタリ、茲ニ例ハハ宗教的ニ神ノ定メタル目的アリト見ルコトハ今日ハ多ク認めラレサルカ、併シ何カノ方法ニテ機械觀ト結合セシムヘキ目的觀多シ、又機械觀モ之ヲ論及シ行ケハ結局全体ノ自然干係ヲ考ニ入レサレ能ハサルニ至ル茲ニ目的觀ト多少合一スル傾ヲ生ス、結局コノ目的ト云フコトニ從來ノ如

一シ入
川、ノ向題ハ吾人ノ裡々ノ知識ヲ分析シソノ起原ヲ知ラス、ソレヨリ
確定ナルモノヲ定メ研究スルヲ得ルモノナリ、(二)ノ向題ハ知識ト外物
トノ關係ヲ説クモノニシテ即チ知識可能性ニ関スル研究ナリ、(三)ノ向
題ハ確実性ノ程度ヲ定ムルモノニシテ初メノニツノ應用ノ向題ト云フ
ヘシ、タトヘテ云ヘハ(一)ノ向題ハ知識ノ形態及發生ノ論ナリ、(二)ハ知
識ノ生理學ニ相当シ(三)ハ知識ノ衛生學ニ相当スルナリ、茲ニ又余スヘ
キコトハ以上ノ研究ハ知識ニ於ケル心的研究 *Psychological*
ノ區別ナリト云フコトナリ、コノ知識哲學ノ研究ニ於テ知識ノ起原ヲ
向題トスル致仕々此知ニ誤解ヲ招ク、蓋シ知ル事ハ一心的作用ナリ
其ノ發生發達ハ心理學ノ向題トナリ得ルモノナリ、例ヘハ人類ノ發達
ニ伴ヒテ知識カ増加スルコト、又ハ時トシテハ之ヲ部分ニ溯リテ之ヲ
見ルコトハ心理學生物學ノ研究ニヨラサルヘカラス、若シニ反シテ
コレヲ心理學者、生物學者ノ許サ、ルコトハ特別ノ能力ヲ假定スル
哲學者アレハソノ假定ハ明ニ誤ナリ、斯ノ如ク考フレハ所云認識論ハ
結局心理學ノ一部分ナリト考フルモノ少ナカラス、拙己ノ *McLennan*

ノ「所云認識論ニ就テ」ノ論ハ即チコレナリ、コレヲハ吾人カ心理學
義ト称スルモノニシテ實ハ三ツノ向題ノ混合・認識問題ト心理向題ノ
混合ナリトミサルヘカラス

知識ノ發生ヲ心理學ニテ考察スル場合ニハソノ色々ノ狀態カ察シテ
論理上何等ノ価値ヲ有スルカ否カヲ少シモ顧慮セス、故ニ誤マリタル
知覺アレバモ之ヲ心理學者カ取扱フ片ハ之ヲ普通ノ心理作用ト共ニソ
ノ發生ノ理由ヲ考察ス、ソノ何故ニアル種族ノ知覺ヲ正シクシテアル
モノハ然ラサルカト云フコトニ干シテ一志ノ條件ハ定ムト魚モ然シナ
カラソノ條件カ何故ニ正當ト認ムヘキカニアリテハ又事實上カクノ如
ク誤メサル能ハスト云フ以上ニハ説明スルヲ得ス、換言スレハ或レ種
類ノ知覺ト外物ト一致スル故正シクアルモノハ一致セサル故正シカラ
スト云フ事ハ言ヒ得ヘシ、然シ外物ト一致スルコトハ如何ナル意味ナ
リヤ吾人ノ知識作用ト外物トハ全ク性質ノ異ナルモノナレハソレヲ如
何ニシテ一致不一致ト云ヒ得ヘキカ、コノ点ハ普通ノ心理學ハ假定ノ
上ニ立テテ之カ特ニ知識哲學ノ向題トナル事柄ナリ斯クミレハ合シク

知識ノ向題ニシテモ知識哲學ハ心理學的ニ解釈スルコト能ハサルモノナリ、吾人ハ心理學ノ結果ヲ否定セントスルニハアラス、心理學以外ニ新タナルモノヲ附加セントスルナリ、知識哲學ノ根本向題ハ結局知識ノ可能性ノ向題ニ帰着ス、他ノ向題ハ之ヲ中心トシテ之ニ結ヒ附キテ起ルナリ茲ニ於テ一ノ疑向起ル、即チモノ向題ヲ解釈スレハ矢張知識ナルカ故ニ知識ノ可能ヲ論ス、茲ニ予メ知識ノ可能ヲ仮定セルモノト云ハサルヘカラス、即チコレ循環論法ニアラスヤ、然シコノ循環論法ヲ避クルハ材料ヲ決ヒテ向題ニ入ルヲ得サルニ至ル、是レ *Kege* ノ所云水ニ入ラスシテ游泳ヲ奈ハントスルモノニアラスヤト云フ疑向ナリ、吾人ハ固ヨリ此ノ知識ノ可能ト云フ事實ヲ全然拒ムニアラス、又知識ヲ材料トシテ所有セサルニアラス然シソノ知識ノ中ニ誤謬ヲ屢スル事ヲ豫想スルナリ、只吾人ハ如何ニシテ知識カ成立スルカラ確宛セントス、即チ知識ノ事實ヲ向題トスルニアラスシテ知識ノ理由ヲ向題トスルナリ、即チ *Hant* ノ云ハル *Quid facti* アラスシテ *Quid juris* ヲ向題トスルナリ、然シ茲ニ亦向題

起ルカ知識ト云フ意味ヲ知識或ハ認識トハ漠然知識認識ト云一ニアラス、知覚感覺ハ自己一人ニハ確實ナレトモ他ニモ認メラル、カ否カハウタカハシ、然シ知識ハ万人共通ナルコトヲ豫想ス、然シ之ハ事實トシテハ如何ナルカハ別個ノ向題ナルハシ、又知覚ハアル特別ナル場合ニ限ラレルモノニシテ常ニ必ス然ルカ否カハ確カメラレザル向題ナリ然シ認識ノ場合ニハソレカ故ナクシテ變動スヘキモノニアラスト云フ要求ヲ有ス、前者ヲ知識ノ普遍妥当性 (*allgemeingültigkeit*)、後者ヲ認識ノ必然性 (*notwendigkeit*) ト云フ、若シ知覚感覺カコノ性質ヲ帯ヘルモノトスレハソレハ知識トナリタルナリ、更ニ本末知識ハ心ノ中ノ過程ナリト云フハキモ今時ニ意識外ノ事物差クハ事物ヲ表ハスモノトスルハ之ヲ普遍ニ知覚ノ客観性 (*Objektivität an gegenständlichigkeit*) ト云フ、而シテ第三ノ客観性ハ第一第二ノ性質ヨリ導キ出サレタル性質ナリ、吾人ノ云フ知識ハ以上ノニツ差クハ三ツヲ有スルモノニ限ラレ、如斯知識ノ存在ヲ仮定シテ吾人ハ種々ノ事同即チ

Verstand - understanding
 Sinnlichkeit - sensibility

シテ第一ノ起原ノ問題ニ移ラン

第二節 理性論ト經驗論

Rationalism Empiricism

既ニ述ヘタルカ如ク知識又ハ認識トハ詳ク云ハ、確實ナル知識(認識)ト云フ事アリ、即チ吾人ノ知識ノ中ニハ不正確ナルモノA(普通)妥当性、必然性、存在スル故ソノ中ヨリANノ要件ヲ備ヘタルモノヲ探シ出シテ其他ノモノト區別スルコトカ必要ナリ、而シテ必要ヲ起原ト云フコトヨリ説明セントスル場合ニ先ツ理性論現ハル、此ノ理性論ハ *Ratio* ヨリ来レルカソノ理性トハ如何ナルコトナルカヲ明カニスレハ之ニヨリ主張スル所ノ意味ヲ解釈スルヲ得ン、コノ理性ハ (*Reason Vernunft*) *Ratio* (ハ色々ノ意味ヲ有ス、之ヲ狭キ意味ニ解スレハ悟性) (*Verstand*) (*eractoncting Verstand*) 茲ニ感性 (*Sensibility*) (*sinnlichkeit*) = 対スルモノナリ、直接ニ外界ノ印象ヲ受納シテ

ヘ組織研究) 或ハ普通ノ生活ヲ営ム、故ニ之等ノ知識カ事實ナリト云フコトハ疑フ可カラス、然シ如何ニシテ如何キ知識カ出来ルカ不明ナリ又如何ナル條件ヲ有スルモノカ知識ナリヤハ研究サレス、茲ニ知識哲學ノ向頭アリ、而シテ之ヲ解決スル場合ニ尤モ人ノ容易ニ注意スルコトハ之ヲ知識ノ起原ヨリ説明スルコトナリ、例ヘハ人物ノ善悪ヲ定ムルタメニ人其ノ素性ヲ調フルカ普通トスルカ如ク知識ニ于シテモノ、起原ヲ調ヘルコトハアリ得ヘキコトナリ、多クノ場合知識ハ感覺カモト、ナリ多クノ人ニ之ヲ許ス、全時ニ又之ニ誤謬アルハ多クノ人ノ知ル所ナリ、ソレニ感覺以外ノ作用カ培養ノ知識即チ *Δ*、之ノニツヲ具ヘル知識ハ感覺以外ノモノヨリ出テ来ルヲ想像ス、コノ儼キヲ理性 (*ratio*) ト見レハ茲ニ理性主義起リ来ル、即チ知識起原ノ解釈トシテ理性主義生ス、然レニ一方ヨリ見レハ如何理性ノ説明ハ困難ナリト云フ所ヨリ知識ハ悉ク感覺經驗ヨリ起レリト云フ説モ起リ得ルナリ即チ *rationalism* = 対スル *Empiricism* コレナリ而シコレハ種々ノ誤解ヲ起シテ問題ノ困難ヲ惹起セリ、之ヨリ之ヲ

ソレヲ意識スル作用ヲ名ツケテ感性ト云フ、直接ニ感覺セサルモノニツイテ判断ヲナシコレヲ一般概念ノ形ニ云ヒ表ハス作用ヲ悟性ト云フ、更ニ具ノ概念判断ヨリ新ラシキ概念判断ヲ導キ出ス作用即チ推理スル作用ヲ理性ト云フ、又理性ヲ以テ靈妙ナル働キニシテ普通ノ知カヲ超越シタルモノト説クモノアリ、此ノ場合ニハコレハ悟性ヲ含メルナリ、今コレヨリ理性論ヲ説キ出ス場合ノ意味ハ總テノ意味ナリ、而シテ此ノ理性的知識ク感覺的知識ヨリモ遙カニ確實ナリト云フ所ハ理性論ノ主眼点ナリ、今知識ノ中ニテ直接ニ感性ヨリ来ルモノヲ考フレハ常識的ニ考ヘテ色音等ハ感覺ヨリ来リシモノニシテ之ハ理性的知識ニ屬セサルモノト云フヘシ、而シテ色彩音響ハ不確實ニシテ誤多キモノト考ヘラル、カクシテ古来物ノ性質ニ二種ヲ區別スルコトカ多ク説ヘラル、之ハ希臘ノ原子論者以来近世物理学者ノ間ニモ行ハレシ論ナリ、即チ古代ニテハ *permanencia* 近世ニテハ *galilei* 殊ニ英ノ *Locke* ハソノ代表者ナリ、彼ニ依レハコノ理性ハ第一物性、第二物性ニ分レ、色音ハ第一物性ニシテ物ニ対スル吾人ノ感官ノ作用ニヨリテ知ルヘキモノナリ、之ニ及シテ形状大小硬軟ハ第一物性

ニシテ物ノ本性ニ屬スルモノニシテ變ラサルモノナリ、之等ヲ依リニ数学的性質ト名付ケン、之等ハ何レモ直接ノ感覺トハ干係ナキモノニシテ徒テ其ノ限リニ於テ確實ナル知識ヲ與フルモノナリ、此ノ意味テ之ヲ理性的知識ト称スルヲ得ヘシ、数学的自然科学ハスヘテ如斯キ性質ノミヲ論究ス、然レ之等ノ性質ヨリモ更ニ一層感性ト隔レタルモノハ物ノ論理的關係ナリ、例ヘハ $A = A$ 、 $A = \text{man}$ 、 A 等ノ理ハ感覺ニヨリテ煩ハサル、コトナシ、斯クシテ数学論理本ノ知識ヲ論理的知識トシテ茲ニ感覺性的知識ト區別スルヲ得、所云理性的知識カ如斯キモノタルニ歸スルトスレハソレハ何人モ認めル所ナリ、即チ理性論ノ及対論タルノ經驗論ニテモ等シク認めタル所ナラサルヘカラス、然シ理性論カ經驗論ト対立セル理由ハ他ニアリ、然ラハ次ニ起ル向題ハ何故ニ理性的知識ヲ以テ感性的知識ヨリモ確實ナリヤト云フコトアリ、之ニ対シテ理性論者ノ答フル所ハ理性的知識ハ感性的知識ヨリモ明晰ナルモノナリト云フ事實ヲ以テス、

コノ説ノ代表者ハ *Descartes* ナリ *Descartes* ハスヘテ吾人ノ感覺ニハ誤アル故ニ依憑スヘカラサルモノナリトシテ感覺ニ基クアラユル知

識ノ確實性ヲ疑ハルナリ、所云理性的知識ニ屬スルモノナリ、或ハ鬼神ノ如キモノカ人ヲ苦シムルタメニ與ヘタルモノナルカモ知レズ、而シテ一生ハ幻夢ノ如キモノニアラサルカト云フ事ヲ考ヘタリ、只コノ間ニ於テ一ツノ疑フヘカラサルモノアリ、ソレハ疑フト云フコトソレ自身ナリ、コノ懷疑ヲ更ニ広ク云ヘハ(思フ)ヘ意識シテ斗ルト云フコト、鮮スヘシコノ疑ハ疑シテ迷ノベカラストセサレヘカラス、之ニ依テ疑フヘ考ヘ)モトトシテノ自己カ存在スルコトハ明白ナリ、斯如クシテ又思惟スルモノトシテノ我カ確立セラレタルカ之ヲ基礎トシテ行ケハ神並ニ万物ノ存在ヲ明カニスルヲ得テ茲ニ初メノ疑ヲ脱却スルコトヲ得、然ラハ如何ニシテ之等ノ知識ヲ得タルカト云フニソレハ我ニテスル知識ヨリ推論セルモノナリ、我ニ閉スル知識ハ上述ノ如ク極メテ明白ナリト云フ持性ヲ有ス、之ヲ Descartes ハ明瞭 (clear) 判明 (distinct) ト云フ語ニテ云ヒ表ハセリ、之ヲ知識ノ標準トシテソレニ適フモノヲ確實ナルモノト云フヲ得ヘシ、如斯モノヲ即テ理性的知識トスレハ總テコノ種類ノ知識考究ノ論ハ理性論トナル、而シテソレハ論理ヨリ説キシモノナレハ論理的理性論トナ

スヲ得ヘシ、然ルニ斯クノ如キ思想ク發展スレハ論理的關係ニ重キヲオキソノ要件ニ適セサルモノハ事實トシテモ存在スル能ハサルモノナリト云フ思想ヲ導クニ至ル、茲ニ於テ一般ノ形而上学ヲ生スルナリ、所云論理的形而上学ノ如キハソノ代表的ノモノナリ、斯ルモノヲ形而上本¹⁾の理性論ト名付クルヲ得、之ハ既ニ述ハタル形而上学ニ關係スルモ知識哲學ニハ關係セズ、又理性論ハ哲學史ニ於テ現レタル所ヲ見ルニ以上述ヘタル如ク単ニ論理的條件ニ於テノ理想タルモノニアラス、即チ²⁾經驗的知識カ論理的條件ニ適スルモノトスルノミニアラス、即チ³⁾ソノ確實ナル理由ヲ特殊ノ心理的起原ニヨルモノナリトス、例ハ Descartes ハ理性ニ於ケル明晰ナル觀念ハ感覺ニヨリ未レモノニアラス、生レナカラ心ニ具ハルモノ即チ本具觀念 (innate ideas) ナリトセリ、之ニ對スルモノハ皆外來ノ偶然的ノ觀念ニシテ⁴⁾觀覺等ヲ通シテ表ハル、モノニミテ誤多クモノナリ、コノ本具觀念ハ心ニ生レナカラ具ハレル故或ル場合直覺的ニ人ニ知ラル、モノナリ、即チ種々ノ經驗又ハ推理ニ賴ラサルモノナリ、此ノ意味ニ於テコレヲ直覺主義ト云フヲ得ヘシ、之ハ他ノ方面ヨリ云ヘハ心理的理性論ト云フヘキモノナリ、以上ノ三ツノ意味ニテ第一ノ意味カ知識

John Locke: An Essay concerning Human Understanding

哲學ニ於ケル理性ノ意味ナリ

如斯ク理性論ニミツノ意味アリテコノ第三ノ意味ニ辭紙セラル。ニ至リテ色々ノ及対ヲ括ケリ、コノ及対論ハ即テ經驗論ナリ、コノ論者ノ近世ニ於ケル代表者トモテ Locke (1632-1704)ヲ挙クルヲ得ヘ着目人間悟性論 *Essays Concerning Human Understanding* (1689) 此ノ悟性論ニテハ人間ノ知識ノ起源範圍ヲ論シ而シテ種々ノ誤解ヲ防カント試ミタリ、此ノ第一論ニ於テハ觀念ノ起源ヲ論シテ理論的並ニ實際的ノ両方面ヨリ彼ノ本具説ヲ取擧セリ、即テ例ハハ全一ノ原理、矛盾ノ原理ナルモノハ共ニ本具論者ハ人生固有ナルモノト認ムル所、モノナルカ實際ニハ一般的ニ認メラル、所ノモノニアラス、其他又道德的原理モ同様ニ説明スルヲ得、カクテ吾人ノ知識ハ心ノ本来(具)ニアラスシテ經驗ヨリ生ス、而シテ此ノ經驗ハ感覺ト及省トニ分ツテ得ルカ此等ノ傷キカ種々ニ結合シテ觀念ヲ生スルモノニシテ特別ノ理性的知識ヲ認ムル能ハスト説ケリ、コノ思想ヲ更ニ徹底シテ反省ノ意味カ曖昧ナルコトヲ察見シ單ニ感覺ノ莫ミヨリ一切ノモノヲ説明セントスル傾向起ル、カクシ

テ Locke ノ經驗論ヲ感覺ニ委シタルハ他國ノ *Condillac* ナリ斯クシテ經驗論ハ理性論ニ相對立セルカ、然シナカラ其中ニ注意スヘキコトハ之等ノ至論論者モ暗ニ論理數理ノ及理ハ確實ナリト許容セルコトナリ Locke ノ如キハ明カニ論証的知識ノ方カ感覺的知識ヨリモ確實ナル事ヲ明言セリノミナラス彼ハ論理ノ原理ノ起源ニ就テハ經驗若クハ感覺ヲ主張スルカソノ原理ノ確實ナル事ハ少シキ疑ハス、此等ノ莫ヨリ考ヘレハ Locke ノ經驗論モソノ向題ノ性質ヲ研究スレハソレハ理性論ト衝突セサルモノト云フハシ

經驗ト云フ語ニハ色々ノ意味アリ、極メテ普通ニ用フル場合ハ只事實ニテスルモノト云フ意ニ用フ、例ハハ經驗家ト云フ場合ノ如シ、コノ普通ノ用法ヨリ辿リテ哲學的嚴密ナル意味ニ至レハ微妙ナル區別ヲナシ得ルモノレヲノ中ニテ最モ明カニ區別スルヲ得ル意味ヲ等レハ

ハハ知識ノ材料トシテノ經驗

四 知識ノ原素トシテノ經驗ニ分ツ、コレカ更ニ細分サレルナリ、前者ハ之ヲ外的經驗ト呼ハレ、后者ハ之ニ内的要素ノカハリタルモノ

Immanuel Kant, Kritik der reinen Vernunft.

葛書ヤカマレイ!
口口ス+

ニテエラ取リニ内的経験ハ *intentional* (pp) ト云フヘシコ
ニツノ意味ニ相当シテ経験論ニ色々ノ意味ヲ生ズ、古来多ク行ハレタ
ルハ外的経験ノ意味ナリ、今此ノ意味ヲ詳シク説カン、如斯意味ノ經
験論カー板ニ人々ノ用語トセラレタル証拠ハ、例ハ Kant ノ有名
ナル語ニテエラホスヲ得ヘシ、 Kant ノ「純粹理性批判」(Kri-
itik der reinen Vernunft) ノ第二版ノ序論
中ニ凡テ吾人ノ知識ハ経験ニ始マレト云モ皆悉ク経験ヨリ来ルモノニ
アラス、ト云ヘリ、即チ知識ハ経験ノ機会ニ生スルモノナレハコノ誤
ヨリ云ヘハ経験論ノ云フ所ニ一理アリ、然シ知識ノ中ニハ個々ノ經驗
ヲ俟タスシテ理解サル、モノアリ、即チソレハ理性的知識ナリ、カク
考ヘレハ理性論ニモ一理アリ、此知ニ用ヒタル経験ノ語ノ意味ハ(1)ノ
外面的經驗ノ意ナルコト明カナリ、經驗ヲ以テ如斯キモノトスルナラ
ハ其ノ裏面ニ之ヲ統一シ整齊スルモノアリトミサルヘカラス、已ニ此
ノ統一者ヲ認メタラハソレハ或程度マテ理性ヲ許スコト、ナル、多ク
ノ經驗論ハ結局ニ之ニ違シテ而カモ自ラ知ラサルモノナリト云ヒ得ヘシ

然シ中ニハ往々ニシテ此ノ統一者ヲシテ認メサルモノモナキニアラス、カ
、レ説ハ一方ニ於テハ理論者ノ得意トスル所ノ知識ノ確實性ヲ初メヨリ認
メスシテ全時ニ一方ニハスヘテノ事柄ヲ純粹ニ外部カラノミ説明セントス
例ヘハ圧力の差違ヲ述フル場合ニ圧力ハ其ノ固ノ地理風土人種等ヲ以テ全
ク説明サレソノ内部ニ其等ヲ寓シテ原因アルコトヲ考ヘサル説明方法ナリ
即チ外部ノ影響ヲ以テ唯一ノ原因トスル考モ之ニ伴フモノナリ、コノ整意
ヨリ圧力ヲ説クモノ例ヘハ唯物史觀又ハ英ノ *Buckle* 氏ノ *Justice*
等ハ丁度ラ外部ノ事件ヨリハミ説明セントスルモノナリ、外的經驗論ノ
中ニテ外部ノ經驗ヲ知識ノ基礎ナルコトヲ單純ニ義認セルモノ、例トシテ
ハ近代ニ於テハ仏國ノ *Comte*、*Positive Philosophie*
ヲ尊クルヲ得 *Comte* (1795-1859) ハ實証哲學ノ始メニテ人間ニ三
ノ階級ヲ定ム、第一級ハ神學の宗教的階級、第二級ハ形而上學的抽象的、第三
三ハ科學的實証的階級ナリ、コ、ニ云フ實証的哲學トハ即チ事實ニ關スル
知識ナリ、コ、ニ云フ事實トハ吾人ノ感覺知識ニ現レ来ル事柄ナリ、即チ
前述ノ外的經驗ニ外ナラス *Comte* ハ此ノ經驗ニ重キヲオキコノ經驗

ヲ種々ニ取扱フ、理性ノ働ヘ抽象概括スル働ヘヲ許サス、之カ加ハレハ形而上學的ノ知識トナルト *Conte* ニヨレハ經驗ハ單ニ外界ノ印象ヲ忠實ニ寫シテコレヲ集メタルモノナリト云フニ歸ス、彼ノ實証主義ヲ奉スルモノハ說ニ三段階ヲ定メ自己ニ及対スル論ヲ第一段若クハ第二段ノ知識ニ屬スルモノナリト致視ス、然シコノ *Conte* ノ考ハ理論上徹底セズ、彼ハ如斯ク事實ニ重キヲオクモ然シコノ總テノ矛盾ニ於テハ事實ニ対スル法則ヲ説カサルヘカラスト考フ、コノ法則ハ外的經驗トシテ表レ未ルモノニアラス、即チ茲ニ彼自身カ理性ノ抽象作用ヲ暗ニ導キ乘レルコトハ明ナリ故ニ外的經驗論モ之ヲ追逐シテ行ケハ理性論ノ思想ヲ假定シタルモノナリト考フルヲ得ヘシ、故ニ之ヲサケンカタメニ種々ノ方法ヲ講スルヲ得ルカ一方ニ於テハ經驗ノ中ヨリ出来ルタケ主觀的要素ヲ除キ去リ、純粹ノ客觀的經驗、之ヲ經驗ノ批評即チ *phenomenal empiry* 或チ *Kritik empiry* 作ラントスルモノアリ他ノ一ニハ經驗ノ意味ヲ變シテ從未理性ノ働ヲキト思ハレシモノヲ經驗ノ中ニ入レントスル考アリ、コノ思想ハ *Pragmatism* ナトノ *James Dewey* 及 *Neo Realism* 一般ノ

思想ニ現ハレ *Pragmatism* トハ知識ノ向原ニ対シテ新ラシキ見方ヲナスモノナリ、
 真理ハ絶対的ニ確定セルモノニアラス、之ハ實際ノ結果 (*practical consequence*) ニヨリテ価値ヲ与フヘキモノナリトセリ之ハ例ヘシ *James* ハ此ノ形ヲ持テ根本經驗論 (*Radical Empiricisim*) ト呼ヘリ、コノ至論ハ古來ノ經驗論ハ皮相的ナリ徹頭徹尾經驗ニ依リテ説明スヘシト説ク、ソノ異ナル處ハ從來ノ經驗論ハ各經驗的部分結合ヲ以テ全ク至論内ノコト、ス、之カ理性主義ニ乘セラレ、所ナリ、然シコレハ經驗ノ解決ノ誤ニシテ結合干係ト云フトモ尚一程ノ經驗ナリ、例ヘハ紙カ机上ニアリト云フニ上ト云フトハ關係ヲアラハスモ之ハ吾人ノ經驗ニヨリテアラハル、コトナリ、即チ机上ノ紙ト云フト從來ノ經驗論者ハ紙ト紙ノミヲ經驗ノ中ニ入レ、上ニト云フトハ理性ノ作用ナリトナセリ、然シ *James* ハ之ニ及対ニ上ニト云フトモ紙ト紙ト共ニ密接ニ至論ナル、串柄ナリ、カクシテ干係モ亦經驗ノ中ニ入ル、理性ノ作用存スル必要ナクナルナリ、之レ即チ *Radical Empiricis*

James は根本的至驗論ナリ。コノ考ヲ更ニ發展シテ事物ノ實在ヲ主張スル派ハ即チ *new realism* 一派ナリ *Leury*、*James* ト全一ノ思想ヲ有シ *James* ヨリハ一層實在論的意味ヲ説ケリ、
 コノ以上ノ種菜、實在論、至驗論ニテハ外的至驗ノミニテ一切ヲ説明スルコト明カナリ。此処ニ於テ理性論ト合セサル立場ヲ作クリシコト明カナリ、然シコレヲ論者ノ至驗ナルモノカ異シテ外的至驗ト云フヲ得ハキカソコニ少しモ内的要素ヲ混入セサルモノナリヤ若シ少しニテモ混入セリトスルナラハ茲ニ新ニ理性論ト調和結合ヲ成ムル所ナリ、

第三節 批評的經驗論

經驗ヲ如斯ク外的ノ意味ニ解釈スレハ結局感覺及感覺ニアラハル、畢竟トスルコトニ歸スルカ而シ一方ニハ感覺ヲ統一スル作用モ全く無視スヘカラス、之ヲ全シク經驗ノ作用ナリト論スルカ然レ作テ感覺ソノモノトハ明ニ相違セルモノト云ハサルヘカラス、之ヲ經驗ト解スルヲ得ルトシテモ外

的經驗トハ區別シテ之ヲ内的至驗ト呼フ事ヲ得、カントハ吾人ノ至驗ハ印象ト認能カノ附加トヨリ成リ立ツト云フコトヲ云ヘルカソノ場合ノ經驗ハ前述ノ經驗ヲ以テ若マルノ經驗トハ異ナルナリ、即チ之ハ認識ノ元素トシテノ經驗ノ謂ナリ、之ハ吾人ハ取りニ内的經驗ト云フヲ得レ共ニハ適切ナラス、何トナレハ之ハ決シテ外的至驗ト対立スルモノニアラサレハナリ、元素コノ至驗ノ外的内的トハ區別スルコト能ハサル程結ヒ付ケルモノナレハナリ、ソノ結ヒ付ケタルコトヲ吾人ハ内的至驗ト稱セリ、如斯ク分ツ能ハサルモノカ至驗ノ根本ニシテミラ名付ケテ直接至驗 (*direct experience*) 又ハ純粹至驗 (*pure experience*) ト稱スハシ、例ヘハ花ハ一ノ至驗ナルカソノ見テ居ル時ノ心状態ヲソノマ、ニ考ハタル場合カ直接至驗ナリ、然シ其ノ場合ニ於テ思ツ、アル吾ト見ラレテ居ル花ト抽象シテ考フレハ其ノ至驗ハ向接ナモノトナル、如斯ク抽象ニ依テ花ト云フ觀念又ハ其中ノ色彩及香等カ寓ル、ナリ、普通ノ至驗トハコノ寓シタル花又ハ花ノ一部分ヲ云ヒ見テ居ル吾ト云フモノヲ全ク除キ去リタルモノヲ云フ、即チ至驗中ノ外的要素ノミラアラハセルナリ、然シ實際

ニハソノ至驗ノ中ニハ我カ如何ナル態度ニテ花ヲ見ルカ、又ソレヲ見タタ
 ヲニ如何ナル感情連想ヲ起スコト又花ヲ見テ至驗ノ中ニハ我ト花トノ干係
 カ含マレ之華カ皆直接至驗ノ中ニ統一セラレテ存在スルナリ、故ニ直接至
 驗ヲソノコ、ニ云ヒ表ハス場合ニハコノ主観的内的要素カ既ニ具ハレリ、
 換言スレハ普通ノ意味ノ外的至驗ヲ統一スル形式カソノ中ニ含マル、ナリ
 コノ統一ノ作用ヲ特ニ引當シテ考フレハ之ヲ所云、理性ノ作用ト見ルヲ得
 ヘシ、故ニ理性ト云フハ既ニ至驗中ニ含マル、モノカ特種ノ作用トモテ扱
 リニ分離セラレタルモノナリト考フルヲ得ヘシ、コノ意味ニテ至驗論ヨリ
 理性論カ導キ出サレルト云ハサルヘカラス

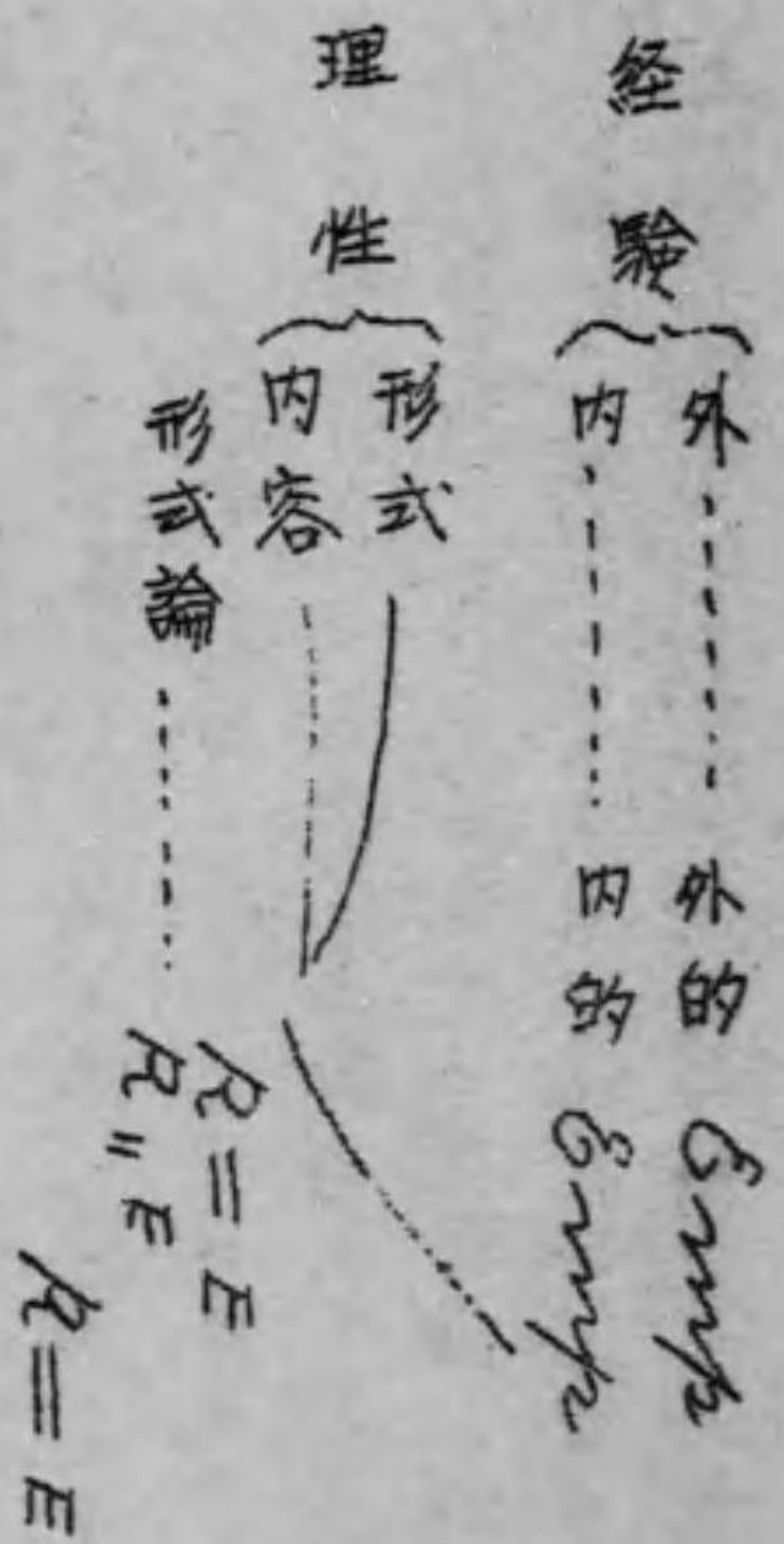
理性論ハ前述ノ如ク三種アリ、即チ論理的、心理的、形而上学的ナリ、
 此ノ心理的理性論ハ知識哲學ノ向題ニアラス、形而上学的理性論モ追進セ
 ハシニ合セル、即チ形而上学的理性論ハ世界ノ真相カ理性ナリ、故ニコノ
 理性ニ関スル知識ノミカ眞実ナリト云フ見方ナリ、論理的理性論 (*Logical*
ical Rationalism) ハ世界カ理性的ト否トニ関セス、又吾人
 ノ知識ノ中ニテ論理的干係ヲアラハスモノカ正確眞実ナルモノナリト云フ

論ナリ、之カ果シテ至驗論ト一致セサルヤ否ヤヲ檢セン、

形而上学的理性論ノ立場ヲトリ世界ハ理ナリト云フ立場ヲトレハ理性的
 知識ナルモノハ世界即チ理ニ因スルニ眞ノ至驗ヲ云ヒ表ハンタルモノトナ
 ルナリ、コノ論理的理性論ヲトル形而上学的若ハ世界ノ實在ノ形式ト世界ニ
 対スル思惟ノ形式トノ兩者即チ形而上学的形式ト論理的形式ト全く同一ト
 考フ故ニ之ハ世界ヲ理性的ニ見タモノトスルヲ得ヘキモ同時ニ理性ヲ世界
 ノ實在ヲ表ハスモノ即チ世界ニ於ケル至驗ヲソノマ、表ハスモノト主張ス
 ルモノナリト見ルヲ得ヘシカノ *Hegel* カ云ヘルカ如クスヘテ理性的
 ナルモノハ現實的ナルモノナリ、現實的ナルモノト云フ意ヲ極ムルレハ現
 實的ナルコトハ理性的ナルコト、ハ一致スルコト、ナル、斯ク見レハ *Hegel*
 ノ哲學ハ明カニ理性論ナレトソレカ意外ニ一種ノ至驗的ノ論ナリ
epistemological ニ見ルコトモ得ルナリ

次ニ論理的理性論ヲ見ルトコノ論者ハ論理的知識ヲ以テ確実ナルモノナ
 リト主張ス、ソハ何故ニ然ルカト云フニソノ知識カ單純的形式的ナルヲ以
 テソレハ正確ニシテ誤リナレト云フナリ、之ハ暗ニ反面ニ之ヨリモ複雑ナ
 一四八

ル知識アルヲ予想スルナリ、ソレハ至驗ヨリ未ル知識ナリ、即チ經驗ナルモノナルカ故ニ形式的知識ノ意味アラハレ未ルナリ、即チ理性論ハ一方ニ於テ至驗的知識ノ存在ヲ認ムルモノナリト云フヲ得ヘシ、或ハ又之ニ及シテ理性ナルモノハ經驗ト対立スヘキモノニアラストスルカ如キ説ヲナスモノアレハソノ場合ニハ之ハ經驗ト同シク没交渉ナル作用ニシテ經驗論ヲ否定スルカモ肯定スルカモナキナリ、カクシテニ面ヨリ考フレハ理性論ト經驗論トハ普通考ヘラレ、如ク両立セルモノニアラス、更ニ進ンテ理性ト經驗ト分離シタル作用ナリト考フル事カ正シキ事ニアラス、之ハ *Parag-matizations* ノ論者ノ云フ所ニシテ一理アリ、即チ經驗的知識ハ確ニソノ中ニ統一の理性ノ作用ヲ含メルモノナリ、又理性ナルモノハ經驗ノ外ニ存在スルモノニアラス、吾人ノ知識ハソノ心理的ノ起源ヨリ云ヘハ何レモ經驗ニ發セリ、然ルニ突然ソレニ無干係ナル理性ノ働カ現レルコトハ考ヘラレヌ、寧ロ經驗ノアル方面カ理性トナルト説クコトヲ得ヘシ、若シ此ノ説ヲ許スナラハコノ場合カ理性論ハ結局經驗論ト両立スルノミナラス一致スルモノナリト云フ莫ニ到達スルヲ得ヘシ



然ラハ如何ニシテ両論ヲ結合スヘキカ、理性ヲ以テ意識ニ於テ全ク超越的的外部的ナルモノト考ヘス、意識ノ外ノ部分ハ結合セルモノニテ即チ意識ニ内在スルモノナリト考フ、又一方ニ經驗ヲ以テ單ニ外部的ナルモノト考ヘス、内的ナルモノト考フ、即チ意識内ニ於ケル統一作用ニヨリテ成之ソモノト考フレハ兩者理性經驗ノ天ニ意識ト云フコトニヨリテ結合点ヲ得ルナリ、更ニ詳ク云ヘハ理性ヲ以テ意識ノ全体的作用ナリト考ヘソレカ意識ノ根底ヲナスモノナリトシテ個々ノ經驗ニ対シテ之ヲ統一スル作用ナリト

考ヘラレ、ナリ、故ニ理性ト経験トノ關係ハ全体トシテ見タル経験 (Experience as a whole) ト部分トシテノ経験 (Experience as a part) ト關係ト見ルヲ得ヘシ、蓋ニ於テ理性論ト經驗論トカ調和セラレ合一セラル、之ヲ批評的經驗論 (Critical Experience) ト云フ、蓋シ經驗ヲ批評的ニ分割シテソノ意義ヲ定メタルモノナレハナリ、之ハ Kant ノ批評哲學ニ於テ知識中ニ經驗的ト非經驗トニ要素ノ區別ヲナセリ、或ハ後天的 (apriori) 先天的 (aposteriori) ト稱スルモノハ上述、如キ理性經驗ノ區別トシテ考フルヲ得ヘシ、尚之ヲカントノ説ト結ヒ付クコトハ次ノ

然シ吾人ノ知識ノ順序ヨリ云ヘハ至驗ヲ出發点トシテ見ル方カ普遍ナリ故ニ吾人カ普通ニ云フ理性ヲ經驗ノ云フ説ニ解散シテ及リニミテ經驗論ト名ツケタルナリ、如斯ク理性論、至驗論ノ調和ヲ計ルト共ニ古來ニ等ノ説ニ下セル鮮明ノ誤リナリシヲ知ルヘシ、古來ハコレヲ以テ單ニ認識 (知識) 起源ノ向題ト解セルカ之ハアヤマリナリ、至原ソノモノ、向題ニアラスンテ認識ノ分析ソノ異リタル種類ノモノナルコトヲ認テ之ニヨリテ知識ノ確

実性ノ向題ヲ解決セントスルモノナリ、タマシク、至原ニ南スル説ヲ用フレトソレハ畢竟知識ノ種類ヲ云ヒ表ハスタメニスキス、若シ人ノ、知識カ如何ニシテ發生シ至達セルカヲ向フモノアラハ即テソレハ心理的生理的向題ヲ提出スルモノアラハ之ニ對シテハ至驗論ノ趣意ヲ以テ之ニ答ヘサルハカラス、或ハ人間以下ノ動物ノ作用ヨリ次第ニ至達セルモノナリト云フ進化論ノ説ヲトラスルヘカラス、然シ乍ラコレ吾人ノ向題ハソレニアラスシテ如何ナル知識カ確實ナルカト云フコトニ關スル理由標準符号ヲ説クコトニアリ、コノ突ニ於テ理性論ノ所謂論理的標準カ意味ヲ有スルコト、ナルナリ故ニソノ理性カ本具ナルカ如何ハ向題ニアラス、只或ル一ツノ特別ナル知識ニ於テソノ一部分カ新シキ至驗ニテ供給セラレタルモノニ不拘ス、之ニ對シテ其ノ至驗ヲ俟タスシテ確實ナル部分トシテ既ニ成立セル部分ト見ナスヘキモノアリ、而シテ之ヲ名附ケテ理性經驗非經驗ト名ツケルナリ、即テ斯レ部分ヲ普通妥当性必然性ヲ有スル知識ト云フ、何トナレハソレハ特殊ノ經驗ニヨリテ始メテ知ラレタルモノニアラサレハナリ、如斯キモノハ若干ノ至驗ヲ總結シテ其ノ向ニ有スルモノナリ、ソレノ絶対的意味ヲ有

スレ場合即于至驗全体ヲ總括スレ場合ニ初メテ云ヒ得ルナリ、コレカ所云
 絶対的ノ理性的知識ナリ、即于理性的知識ト至驗的知識トノ關係ハ如斯キ
 モノニテソノ發生ニハ少シモ關係ナキナリ、例ヘハ或レ物理現象、光ヤ熱
 ヤニ對スレ現象ニ對シテハ其ノ個々ノ現象ニハ理性的知識ナク然シ其ノ光
 ノ原則ハ物理學一般ノ原則ニ對シテハ特殊のナリ、如斯キ全体の至驗ハ決
 シテ個々ノ至驗又ハ分析的知識ノミヨリ説クニト能ハス、如斯特別ナル至
 驗ヲ規定セル知識カ果シテ如何ナル實際的価値ヲ有スルカト云フ問題起ル
 換言スレハ若シ此ノ知識ヲ以テ單ニ個々ノ一時的ノ知識トスルナラハソハ
 不確實ナルモノナルカ、然シ斯クノ如キ全体至驗ト云フコトヲ考フルコト
 ヲ要セサルナリ、然シ乍ラ苟クモ確實ナル知識ヲ得ントスレバハソノ中ニ
 理性的要素ナカルヘカラス、然シ如斯事ハ普通ノ至驗トハ異ナル故普通ニ
 ハ出未サレ事ナリ、從テ如斯モノカ實在スルカ否カノ問題起ル、即于知識
 ハ實在ニ相当スルモノナルカ又ハ意識的ノ事柄ニスキサルカト云フ問題起
 ル、コレカ次ニ攻究セラルヘキ問題ナリ、即于知識ハ本性 (nature)
 トシテ研究セラル、ヘキ問題ナリ、

第 大 章 知識 哲學 (一)

第一節 知識ノ本質 (總説)

知識ヲ分析スレハ上述ノ如ク理性ト至驗トニ要素ニ分ル、而シテ兩者ハ
 上章ノ結論ニヨレハ知識内ノ現象ナリ、然ルニ斯クノ如キ至驗或ハ知識ハ
 全時ニ意識外ノ事物ヲ表ハスモノトセラル、之レヲ普通ノ意味ニ云ヘハ之
 等ハ主觀的ノ作用ナルカ同時ニ客觀的意味ヲ有スルト云フ、之ヲ客觀的妥
 当性ト名ツク、其ノ理由ハ何レニアリヤ即于之レカ知レ物即認識ト實在ト
 ノ關係如何ト云フ問題ナリ、コノ問題ヲ適當ニ解決スレハ之ニヨリテ初メ
 テ知識ノ本質カ心内ノ現象ニスキサルカ否カヲ定ムルヲ得、即于心理學的
 ニ考フレハ苟クモ心内ノ現象ニスキス、之ヨリ他ノ意味ヲ有スルコトヲ速
 ハン、モトヨリ何々ノ事物ニ關スル知識ノ當否ハ其ノ時々ニ至リテ決スヘ
 キモノナリ、然シ今茲ニハ事物全体ニ渡テ主觀客觀ノ一致カ如何ナル意味

ヲ有スルカヲ究メントス、コノ主観客観ハ終テノ知識ニ於テハ既定サレル
 コトナリ、而シテ終テノ季理ハコノ既定ヲ有ス、而シテ季理ニ對シテ疑
 ヒヲ挾ムトギニハコノ向題ニ對スル過度ナル解釈ヲ得サルヘカラス、コノ
 向題ノ起ル所以ナリ、コノ向題ヲ知識可能ノ向題トス、コノ知ト物トノ関
 係ニ於テ次ノ如キ場合ヲ考ヘラル

(1) 凡テノ知識ハ物ヲ研究スルモノナリヤ否ヤ
 (2) 若シ然ラストセハ

α. 如何ナル變化カ物ニ生スルカ
 β. 變化ハ何ニヨリテ生スルカ、

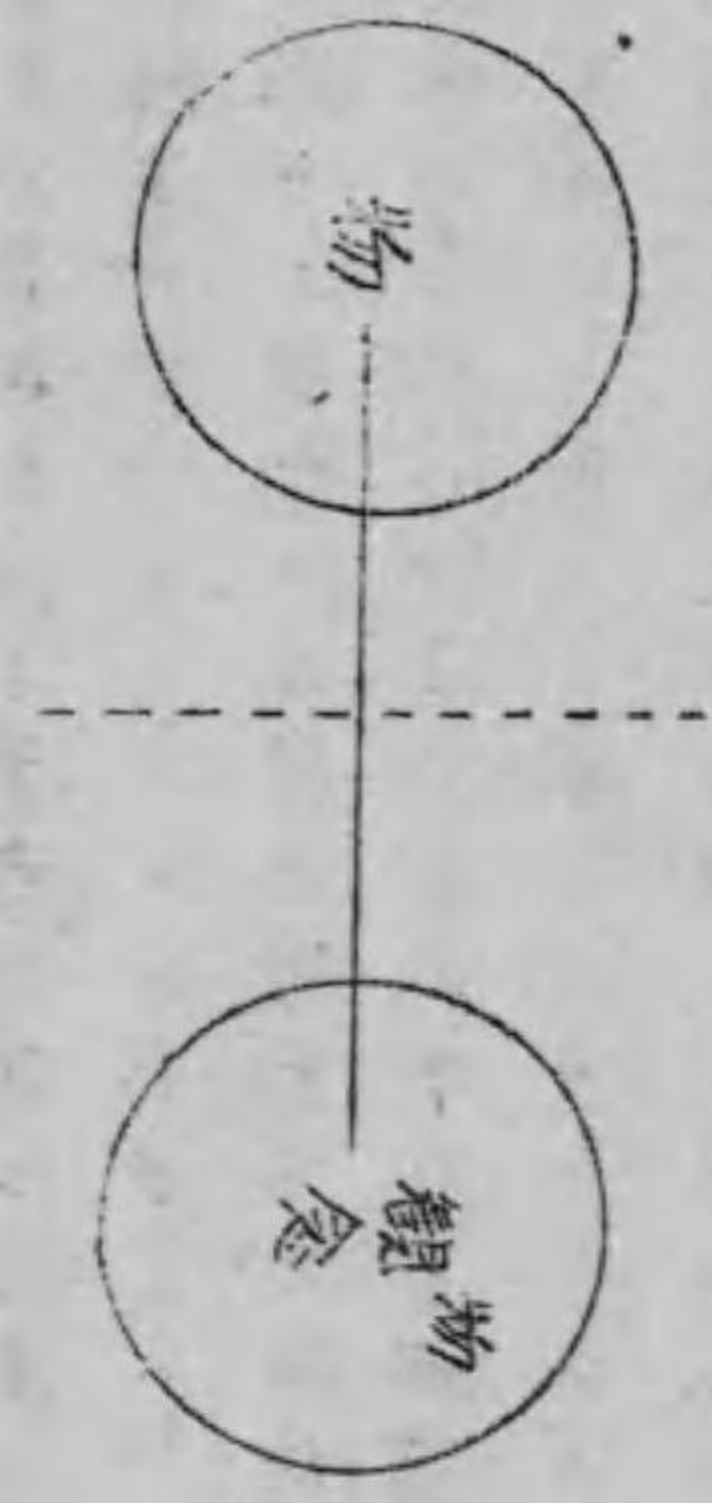
γ. 此ノ變化ヲ還元スルヲ得サルカ
 δ. 斯ク變化スルモノカ果シテ確實ナリヤ、

(3) 知ト獨立ナルモノト云フハミレハ無(Nothing)ニアラサル
 之ニ對スル答辭ノ如何ニ依リテ古來ニツノ相對スル季理カ成立ツソレハ

(1)ノ向ニ對シテ肯定シ、(2)ニ對シテ否定スシモノヲ云フ之レヲ實在論、ハ

Realism ト云フ、(1)ヲ否定シテ(2)ヲ肯定シ(3)ニ對シテ種々ノ

答ヲナスモノヲ總括シテ觀念論 (*Idealism*) ト云フ、但シ茲
 ニ注意スヘキハ(3)ヲ肯定スルモノソレハ普通所云知識ノ世界ニ對スル物ヲ否
 定スルニアラス、只知識ト獨立ナルモノヲ無ト呼フニスキス、全ク物ノ存
 在ヲ否定スル立場ハ虛無論 (*Nihilism*) 若クハ無宇宙論ト稱
 セラルト雖モ之トテモ全テ世界ナシト云フニアラス、故ニ知識界ノ内部ニ
 於テ觀念ト實在トヲ對立セシムルコトハ当然ノ事實ナリ、如何ナル哲學ト
 雖モ之ヲ拒ム能ハス、觀念論者 (*Idealist*) ハミテ拒ムカノ如ク解
 セラルレドソレハ誤解ナリ、然レ誤解ノ生スル理由ナキニアラスソレヲア
 史的ニ述ヘン



今各ノ知識カ名ノ事物ニ Copy スルト見ルハ最モ帶辯的ノ見方ナリ
 之ヲ名付ケテ素朴實在論 (Naive Realism) ト云フ即チ理
 ニ人カ知覚セル通りノ事物カ外界ニ存在シソノ各事物ソレ自身ノ向ニ原因
 結果ノ關係カ存在ス、而シテ之レ等ハ吾人ノ知覚ノ關係ニ存在シ變化スル
 モノナリト見ル説ナリ、而シテ或ル一定ノ方法ニ依リテ得タル知覚ハ全ク
 事物ノ真相ヲ示シ得ルモノナリト考フ、カクノ如キ考ハヲ模写説 (Abbil-
 dungstheorie) ト云フコノ考ハ Hartmann
 等ノ説キシモノナリ、然シ乍ラ此ノ信ハ忽チニシテ破レタリ、即チ物
 理化等ノ知識ヨリ知覚上ノ變化ト物体ソレ自身ノ變化トハ必スシモ一致
 セザルモノト解ル、又生理學心理學上ヨリ知覚カ決シテ眞ヲ写スモノニア
 ラサルヲ知ル、且又最モ困難ナル莫ハ物ヲ知ルカ模写スルト云フ事實カ分
 ラヌ、蓋シ模写スルトハ同性質ノ事物ノ向ニ存在スル事實ナレハナリ
 如斯クシテ素朴實在論ハ人々ノ懷疑ヲ抱ケリソノ知識ヲ以テ物ト無關係
 ナルモノト考ヘラル、ニ至ル、即チ知覚セラレテ居ルモノハ皆意識内容ニ
 シテコノ意識内容以外ニコレ以外ノ世界ニ存在スルコトハ明カナラス、知

ハ又意識ニ表ハレル所ノモノ即チ現象ニ限ラレルモノナリ、之ノ考方ヲ名
 付ケテ現象論又ハ觀念論ト云フ、コノ觀念論ノ最モ徹底シタル所ハ苟クモ
 意識ニ上ルモノニアラサレハ存在セス、即チ超越的ナルモノハ皆意識外ナリ
 何トナレハ一ツノ事物ニツイテ知覚思惟スルコトハ即チソレヲ意識ニ持テ
 来スコトナリ、即チ其ノ無意識ノ中ニ取り入レルコト能ハサル、……モノ
 ヲ意識スレコトハ矛盾ナリ、如斯考ヘヨリ世界ハ夢幻ト異ラサルモノトナ
 リ、即チ世界ニハ吾一人存在ストナス、コノ考ヲ夢幻的觀念論又ハ唯我論
 又ハ独存論 (Solipsismus) ト云フ、然シ乍ラ丁史上ニ於テハ斯
 如キ極端ナル説アラハレヌ何レモ皆他ノ説ヲ混入ス、例ヘハ美ノ Berkeley
 Hegel (1783-1831) ハ極端ナル idealism ノ代表者ト目セラ
 ル、メナリ、シレハ Schopenhauer ノ説ヲ受テ更ニ極端ニ Schopenhauer ノ仮定セ
 ル Ding-an-sich ト云フ概念ヲ拒ミスヘテ物カ存在スルコトハ知覚セ
 ラル、ト云フコト、同一ナリ、換言スレハ知覚觀念スル外ニ吾人ハ知覚ニ
 ハ何者モ存セス故ニ觀念ノミカ世界ノ事實ナリト云ヘルカ然レコノ觀念ヲ
 有スルモノナカルヘカラス、ソレハ心 (spirit) ナリ、心ハ數多アリト

ナシ精神的實在論即唯心論ヲ唱ヘ之レヲ以テ見ルニ *Berkeley* ハ初メ
 ハ觀念ノ知識意味ノミヲトキ後ニ觀念ヨリ意識ノ實在ヲ説キ其ノ性質コソ
 多少異レトモ業外實在論ノ説ク所ト大ナル相違ナキ故ニ見ユ、カクシテ觀
 念論ハ全ク實在ヲ否定スルニアラス、只吾人ノ知識ニ上ル世界ハ吾人ト離
 レテ世界精神ニアラサルコトヲ主張スルナリ、然シ吾々又ハ吾人ノ觀念ト
 云フ意味ヲ確定セサル故此処ニ種々ノ疑問ヲ生ス、之ク知識ニ関スル疑問
 ノ分レル所ナリ、之ヲ明カニスルコトニ依リテ觀念實在ノ向題ヲ明カニス
 ルコトヲ得ハシ、觀念論ニ於テモスヘテ實在ヲ否定スルニアラス、只吾人
 ノ認識スル世界ハ世界ノ真相ニアラスト主張ス、即チ之ヲ認識スルモノ、
 認識ハ仕方ニヨリ存スルモノナリト云フ意ナリ、然シ此ノ場合認識セラル
 、モノ以外ノ實在ノ部分ハ当題ノ向題トナラサル故我ニ對シテハ存在セス
 ト云フコトヲ得、コノ意味ニ於テハ觀念論ハ我ノミノ存在ヲ説クモノナリ
 ト辭解スルコトヲ得、即チ唯我論ト稱セラル、所以ナリ、然ルニ此ノ我ハ
Berkeley ノ説ニ依レハ主トシテ知覺感覺ノ作用ヲ代表スルモノト
 考ヘラル、故從テコノ本末普通妥當性ヲ有セサルモノト考フルコトヲ得、

我テソノ各我ノ觀念ニハ共通實ナキコトニナル、故ニ甲ノ唯我論ト云フ唯
 我論トハ個々分際スルナリ、之レハ一方ヨリ云ヘハ知識ナキト云フコト、
 同シ結果ニナル故述ノ素朴實在論ニテハ結局知識ノ事實ヲ憶リ能ハサリシ
 カ觀念論ニテモ上述ノ如クナレハ知識ノ可能ヲ説クヲ得ス、即チ吾人ハ之
 レ以外ノ見方ヲ考ヘサルヘカラス、然シ素朴實在論ニ歸ルコト能ハス、即
 チ觀念論ヲ改メサルヘカラス、其ノ改変スヘキ實ニツアリ、第一觀念ノ要
 素トシテ單ニ感覺知覺ノミヲ認メタルコト第二ハ個人的ト云フコト、主觀
 的ト云フコトヲ差別セサルコト、ユノニツノ實ヲ改メルコトニヨリテ同シ
 觀念論ニテ別種ナルモノヲ形造ルコトヲ得、

第二節(認識)ノ批評

1. 範疇 (Category)

今マテ述ハタル實在論ニ觀念論モ知識ヲ以テ單ニ感覺知覺ノ結合ナリ
 ト假定スル、而シテ結果ハ實在論ニテハ外物自身ノ手ニ在リトシ觀念論

ニテハ自我ノ働ノ中ニアリトナス、然シ外物ソレ自身ノ統一ハ如何ニシテ吾人ニ在ラレ得ヘキカハ明カナラス又次ニ觀念論ノ如ク自我ヲ以テ單ニ感覺ノ集合ナリトナセハ其ノ統一作用ヲ諒ク能ハサルニ至ル故ニ別ニ感覺的材料ニ對スル統一ノ形式ナカラサルヘカラス、コノ形式ヲ見出し得レハコノ感覺ノ基礎ヲ定ムレヲ得、程テ又一般知識ノ基礎ヲ定ムルヲ得、之レカ即チ知識批評ノ仕事ナリ、而シテ之レハ古代ヨリ人々ノ多少コ、ロミタル所ナルカ殊ニ Kant 以テ純粹理性批判ニ於テ論シ哲學家上ニ新 *Epoch* ヲ開キタリト称セラル、所ナリ

Kant ノ考ニヨレハ認識ハステ判断ノ形ヲ以テアラハル、今判断ニ於テ即チ主位ト賓位ニ於テカカスニ合マレテ居ル場合ト、新ニ、...ニテ加ハルニツリノ場合トアリ、前者ハ分析的判断、后者ハ綜合的判断ト称ス、例ヘハ定義ノ如キハ第一ノ場合ナリ、又一方ヨリ見レハ知識ノ中ニ先天的ト後天的ノ區別ヲナスヲ得、先天的トハ或ル判断ヲノミ立テラレ場合ニ新ラシキ経験ヲ要セサルモノニテ後天的知識ハ經驗ノ附加ミタルモノナリ、前述ノ定義ノ如キハ主位タル概念ソノモノヨリ造リ得ルモノ

ナレハ新シキ経験ヲ要セス、故ニ之等ヲ先天的分析判断ト云フ、次ニ綜合判断ニ於テハ或ル特別ナル記述ヲナセルモノナリ、例ヘハコノ大ハ性質ヨリ大ナリト云フカ如ク史上ニ於テ *Neoplaton* カ一九二一年ニ死シタリト云フ知識ノ如シ

Analyse in this appearance 是 論

然ルニ第一ノ定義ノミニテハ知識意向トナラス、事實ハ全驗ヨリ来ルモノナレハ不確實ナリ、凡テ意向的知識ニ於テ要求スル所ハ新ラシキ知識ヲ確實ニ奉フコトナリ、即チ事實ナラハ綜合判断ナラサルヘカラス、然レ確實ヲ要求スル故先天的ナラサル可カラス、故ニ先天的綜合判断カ意向ニ於テ必スナルヘカラス、今ハコノ判断ハ仮定シテ成リシモノナリ、哲學家カクノ如キ判断ノ可能ナ所以ヲ明カニセントスルモノナリ、*Kant* ノ考ハニヨレハカクノ如キ種類ノ判断カ概念ニ於テ見ル所ナリ、然レ此ノ綜合的判斷ハ不確實ナルモノナリ故ニ基礎ヲ何レニカ求メサルヘカラス *Kant* ハコノ基礎ヲ二種ニ分テ感性ノ形式並ニ悟性ノ形式

ト名ツケ感性ノ形式トハ吾人ノ直感ノ作用ナリ、悟性ハ思惟ノ作用ナリ
コノニツノ作用ヨリシテ以上ノ先天綜合判断カ出来之ニ依リテ本問カ成
立ストナス、然ラハ之ヲ逆ニ云ハハ直感形式 (*Anschauung*)
Form、ト悟性ノ形式即チ範疇ヲ認メルコトニヨリテコノ問題ハ
解決スルコトヲ得ルナリ、

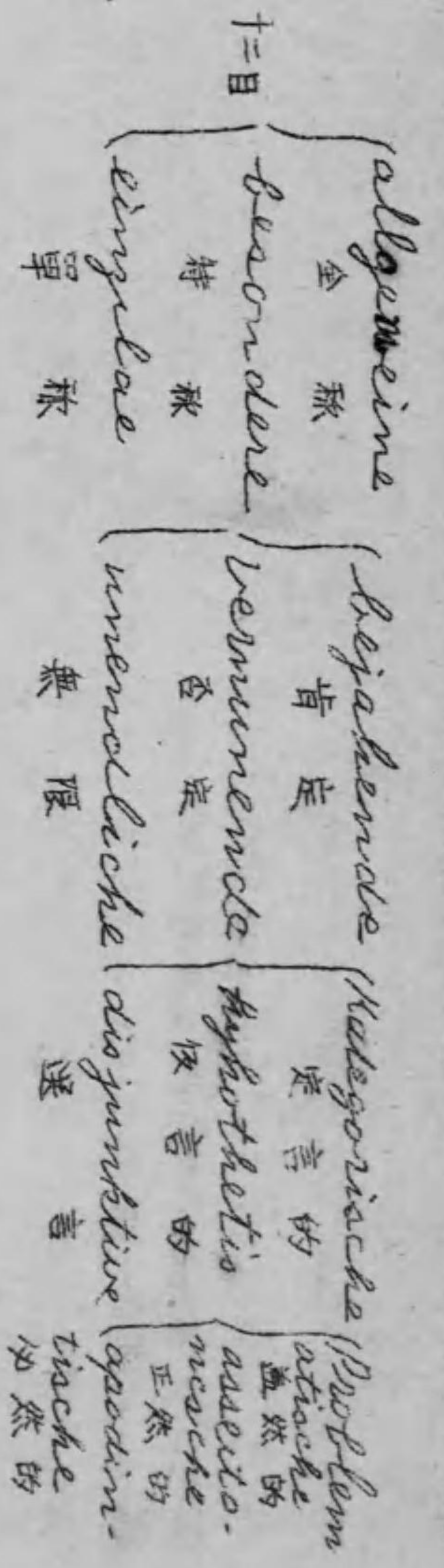
先ツ直感ニツイテ考フ直感 (*Anschauung*) トハ直接ニ事
物ニ接触スルコトニ依リテ生シタル知識ナリ、而シテソノ材料ヲ統一スル
所ノ形式ハ空間ト時間トノニツナリ、即チ吾人ノ知覚ヲ空間ノ中ノアル形
態ヲアラハシ時間中ニ作用ヲナスコトニヨリテ表章ス、故ニ吾人ノ感覚知
覚ノ場合ニ於テハコノ感覚材料ハ右天的ヨリ来ルモノナルカ其ノ基礎ヨリ
直感形式ハ先天的ナリ、即チソレニ明スル知識ハ確實ナリ、而シテ之ニ依
リテ幾何学 (空間) 、数学 (時間) トノ確定シタル基礎ヲ得ルモノナレハ
之レ等ノ学ハ成立スルコト、ナルナリ、而シテカラスクノ如キ感、性的ノ
統一ノミニテハ完全ナラス、ソノ統一ニハヨク論理的ノ意味加ハレリ、ソ
レカ悟理思惟理性ノ作用ナリ、コノ悟性ニ若干ノ形式アリ、コレニ依リテ

感性材料カ統一セラレテ知識トナリ更ニ判断ヲ組立テ科學の根本原理ヲ立
ツルナリ、カ、ル形式ヲ名ツケテ範疇ト云フ恰モ前述ノ感性ノ場合ノ空間
時間ノ如シ、

範疇 (*category*)、ト云フ語ハ希臘語ノ *katēgoria*
ヨリ来ルソノ語ハ又、*kategorien* (許論) ト云フ動詞ヨリ来ル
コノ許論ノ場合ニハ常ニ特殊ノ事件ヲ従来ノ法則ニ照会ハシテソノ是非ヲ
決定メルモノナレハ凡テアル語 (*subiect*)、(ニ附屬シテソノ語
實ヲ述) *prediccate*、ト云フ作用ヲ *kategorieren* ト云ヒ
ソノ觀念ヲ *katēgoria* ト云フ、即チ叙述シテ叙述ノ意味トナル
又ハ部門ノ意味トモナレリ、然シ之レヲ特別ニ狭キ意ニ用フレハ凡テノ知
識ニ対シテ其ノ先天的基礎ニ相当スルモノヲ云ヒ表ハスモノトナル *catē-*
goria トハ或ル意味ニテハ古來哲學上用ヒラレタルコト少ナカラス、
コノ語カ哲學史上ニ用ヒラレ初メシハ *antoteles* ノカニヨル、又ハ
ソノ論理中ヨリ *category* ヲ列挙セル (何ハ本性質、分量、
關係、時間、空間作用等) コノ *category* ハ他ノ人ニ依リテ
一六三

減セラルタルコトモアリ、之レハ當時文法ニ依テ品詞ヲ分區別センモノニ相当スルモノニシテコノ *category* ヲ列ヘタルモノナリトナセリ然レ之ハ同時ニ世界ノ实在ノ見方ニ関スル區別ナリト考ヘラレタリ、換言スレハ吾人ノ知識ノ対照カ本末或ハ性質等ニ見ラレタルハコレヲノ區別ヲナセルナリ然レコレト今シク分類セルモノハ *Kant* 一 *category* ナリ彼ニヨレハ知識ハ判断ニアラハル。判断ニハソノ作用ニ根本ノ形式アリソノ形式ニ相当シテ判断ノ作用ノ根本ノ作用ヲ推測スルヲ得、例ヘハ全称肯定命題 (*all is so*) ノ判断ハ物ヲ全体的ニ見ルト云フ性質ナカラサルヘカラス、故ニソレニ相当スル見ノ想ノ形式ナカラサルヘカラス、之レ即チ範疇ナリ、カクシテ判断ト範疇トヲ照合スレハ判断ニハ四範疇十二目アレハ全時ニ範疇ニモ四範疇十二目アラサル可カラス、コノ形式カスヘテ知識ノ材料ヲ統一シテ確實ナル等の知識トナラシム、然テコレヲノ範疇ハ何レモ先天的ナルモノニシテ本固ノ成立ノ根ヲ定メルモノナリ、即チ *Begrunderung* スルモノナリ

目録 *Quantität* 数量 *Qualität* 性質 *Relation* 關係 *Modalität* 様相



AE01 *Sio P*
 定言的 substance, 範疇ヲ生ス
Sio P 實体
 假言的 causality 因果性
Q & M *Sio P*
 一六五

之等ノ範疇ノ數又ハ種族ハ必スシモ Kant ンノ考ケタル十二ニ限ラ
ス、又吾人ハ、*phenomena* ノ説ヲソノマ、奉スル必要ナシ、只吾人ハ考ヘ
ノ形式ニハ若干ノ根本的形式カ定マレルモノナリト云フコトヲ認ムレハ可
ナリ、例ヘハ命題太陽地上ノ石塊ヲ燃スト云フ命題ニハアル光カ燃ト云フ
感覺カ統一セラレソレハ時間的空間的ニ存在スル一ノ物体ノ作用ナリト認
メラルソレカアル性質ヲ有シ、ソレカアル物体ニ對シテアレ結果ヲ引キ起
シタルコトニアル、即チソノ物体カ單一ナルモノニテ實在スルモノニシテ
且ソソレカ本体ハ *substance* ンニテ石ノ熱クナル原因ニシテ又石
ヲ熱シタコトニヨリテ及應ヲ受ケルト云フコトニ於テ *category* 云フ
カアラハル、如斯場合ニ時間、空間、直感形式、或ハ実体ノ範疇形式スハ
其ノ場合ニアラハル、特別ナル性質ヲ比較スレハコト、ニ着シキ差異アルコ
トヲ知レヘシ、茲ニ於テ初メノ形式ノ問題ニ返ルヲ得、吾人ハ前ニ知識ノ

中ニ確實ナルモノアリヤ否ヤヲ疑ヒタリ、之ヲ實在觀念論ノ立場ヨリスレ
ハ斯グノ如キコトハ説ク能ハス、然シ今述ヘタル如キ知識ノ中ノ形式的要
素ヲ認ムレハ其地ニアル確實性ノ根柢ヲ見ルコトヲ得、故ニ一ノ知識若ク
ハ本向ノ基礎ハユノ形式即チ範疇ニヨリテ確立セラレ、モノニシテコノ基
礎ヲ認ムルコトニヨリテ概念論カ單一或ル個々ノ我ノ觀念ノミヲ認ムル立
場ヨリ逸ル、コトヲ得ルナリ、之ヲ各ツケテ *apriori* ト云フ、且
ツ *apriori* ハ觀念ノ性質ヲ變ヘルモノニシテ同時ニ凡テノ本
知識ヲ可能ニスルモノナリ、若モコレナケレハ本向ハ只断片的事實ノ記載
ニ止マル、例ヘハ数学ノ場合ハ空間、時間、物理学ノ場合ニテハ *Erkenntnis*
apriori ノ觀念ハ即チ *apriori* ナリ、或ハ化学ニ於テモ其ノ本
apriori ヲ檢スヲ努ムルナリ、此ノ先天的形式ハ形而上学ニ於テ
本質的ノ意義ヲ有スル實在ニアラス、只知識ノ要求ニヨリテ定メラレタル
知識ノ形式ナリ、即チ知識カ必然的トナル外ニ仮定セネハナラヌ所ノ形式
ナリ、コノ形式ヲ基礎ニシテ知識カ初メテ知識ヘ本向的トシテ成立スツ、
而シテ知識カカクノ如キ形式ヲ要スルコトハ一面ニ於テ知識ト云フコトカ

觀念的ノモノナルコトヲ意味ス

一六八

第三節 主 觀

前述ノ如ク知識ニ内容ト形式トヲ區別シソノ形式ヲ範疇ト名付クレハソレハ本素至驗ノ基礎トナルモノニシテ何々ノ至驗ニヨリテ導キ出サル、モノニアラス、後テ何々ノ知識内容へ即チ材料へハ經驗ニヨツテ初メテ確立セラル、モノナルカ形式即チ範疇ハ本素確實ナルモノナリト云フコトヲ得ヘシ、即チ吾人カ認ムル知識ノ確實性ナルモノハ知識ノ形式ニノミ存スルモノナルコト明カニシ得ルナリコノ意味ニ於テ吾人ノ考へハ形式主義、(formalism)ニテ今時ニ至驗的考究ヲ必要トスルモノナリ、斯クノ如クシテ一種ノ確實性ヲ求メタレハ然シナカラ其確實性ハ前述ノ如ク一種ノ觀念的(ideal)ナルモノト授言スレハ人々ノ意識ノ中ニ存スルモノト云ヒ得ヘシ、即チ意識ノ活動形式ナリカク見来レハコノ形式ハ人々ニ對シテ必然的ノ意味ヲ有スト云ヒ得ヘキモ然シ果シテコノ必

然性ハ悉ク万人ニ適合スルモカト云フヲ得ヘキカ、即チ換言スレハ普通安當性ヲ有スルカ是レノ向題ナリ他ノ説ヨリ云へハ範疇ハ一般ニ普通の形式ナリト云ヒ得ヘシ、之カ果シテ事實(材料ニ安當) (copy)ニスルヲ得ルカ換言スレハ客觀的安當性 (objective quality) 有スルカ即チコノ所カ向題タルナリ、更ニ他ノ説ニテ云へハ範疇ハ人ノ心ノ中ニ事實トシテ存在スルカソレカ意識以外ノ事柄ニモ安當スルト云フカ利ヲ有スルモノナルカ、コノ向題ヲ Kant Quis Juris (with-out of justice)ト稱シテ此ノ向題ヲ鮮然スルコトヲ彼ハ名ツケテ範疇ノ客觀的經驗判斷ト云ヘリ

コノ向題ヲ鮮然スルニ當ツテ先ツ客觀的ト云フ意味ヲ考ヘサルヘカラス若シ此ノ客觀性 (objectivity) ヲ以テ單ニ外界ノ事物ニ安當スルモノトスレハ、斯クノ如キ鮮然ハ素朴實在論 (naive Realism) ヲ假定シテ初メテ成立スルコトナリ、然シ吾人ハ既ニ此ノ論ヲ採リ得ル可カラサルコトヲ前ニ述ヘタリ、而シテ何等カノ方法ニテ觀念論 (idealism) ヲ採ラサルヘカラストスレハコノ客觀性モソノ立場ニ惹ス

一六九

然シ人々ノ意識ノ向ニ多少交通シ得ルト云フ事實ヲ認ムルトセハカ、レ何
 人の性質ノ外ニ何物カナカラサルヘカラス、コレハ意識内ノ出来事ナルカ
 然シ自分ノ其ノ瞬間ノ意識ヲ超越セルモノナリ、之ヲ名ツケテ超 個人の
 作用ト云フコトヲ得、實際ニ吾人ノ心ノ作用ハ何等カカ、レモノヲ以テ連
 結セラル、ナリ、即チ意識ニ統一アリト云フコトハ事實ヲ語ルモノナリ、
 此ノ統一ノ作用ハアル特別ナル精神作用ニアラス、要スルニ普通ノ個人ノ
 意識作用カ自ラ精神ニ起リテ新キ至驗ヲ得ル基礎トナルモノトスレハソレ
 ハ固ヨリ生レナカラ具ハルモノト云フヲ得サルカ新シキ至驗ニ対シテハ論
 理上ノ基礎トナルモノナル作用ヲ有スルモノナリ、コノ意味ニ於テコレヲ
 先天的 (apriori) 性ト云フ、又此ノ意味ニ於テ此レハ一概共通
 性ヲ有スルモノト云フヲ得ヘシ、コノ超個人的作用ハ他ノ語ヲ以テ云ヘハ
 總テノ觀念(表象)ニ伴フテ起ル所ノ自己意識ト云フ事ニ鮮叙セラル、カ
 ントノ云フ所ニヨレハ總テノ表象ニハ *Ich denke* ト云フ觀念ヲ
 ラル、カ故ニ *Ich denke* ト云フヘキナリ、今日ハ當ナラストセ
 テノ表象ニ伴フモノトスレハミレカ即チ意識ノ客観的基礎ナリト云フヲ得

ハシ、所云範疇ハ如斯キ自我ノ作用ヲ表出スル所ノ形式主段ナリト考フル
 ヲ得ルナリ、コノ意味ニ於テ範疇ハ自己意識ノ作用ニシテ然カモ一般共通
 ナル意味ヲ有スルモノト云ヒ得ヘキナリ、要スルニ主観的何人のトノ區別
 ニヨリ吾人ハ主観ト客観トノ結合ヲナサントス、純然タル客観的ト云フコ
 トハ全ク至驗的ノ意味ヲ有スルモノニアラスシテ斯ルモノニハ確實ト云フ
 性質ナシ、

又客観的知識カ斯クノ如キ意味ノ客観ヨリ来ルトスレハソレハ何々ノ場合
 ニ於ケル部分的知識ニシテソコニ何等ノ必然性モ普通妥当性モナシ、知識
 又ハ(客向)カ若シ如斯モノノミヨリ成立ストスレハソレハ実証主義ヘ *Realis-*
tionismus ノ立場トナレヘシ、之ニ及シ知識客向カアル必然的意味
 ヲ有スルモノナラサルヘカラスト云フモノナラハ其ノ中ニハ範疇ニ相当ス
 ルモノナカラサルヘカラス、從テ前述ノ如キ純客観性ニアラスシテ主観的
 ノモノナラサルヘカラス、但シコレハ主観的ト何人のノ區別ヲ予メ考ヘ甘
 ルヘカラス、但人的ト云ヘハ一人ノ性癖感情ノ差別ヲ含メルモ主観的判
 断ニハカ、ルモノハ含マレス、即チ知識ノ主体トシテ有セサルヘカラス

形式ノミニ支配セラル、モノヲ云フ、例ヘハ今ノ史ヲ編纂スル場合ニノ史家ハ私見ヲサケテ公平ニ事件ヲ見サルヘカラス、然シ如何ニノ史家カ努ムルモ主観的ノ態度ヲ脱スル能ハス、即チノ史家、主観ニ依リテ材料ヲ取捨選取若クハ補足セサルヘカラス、即チ茲ニ主観ノ形式ヲ交フルナリ、斯ク主観ノ形式ヲ混合スレバノ史ノ意味ノ客観的ノ史ナリト云フヲ得ヘシ然シ之ヲ全然否定セントスルノ史家アリ之ハ無意味ナル事實ノ列記ニスキサルナリ、尚ホコノ主観的ト個人的トノ區別ヲ自覚ト云フモノヨリ解釈セシ、自我ニハ全驗的の自我ヘ相對的の先驗的の自我ヘ相對的のトアリ認識ハ總テ主観的基礎ヲ有シ形式上確實性ヲ有スルモノナリ、然レラテ客観的の及事實的の事柄ニツキテハ確實ナリト云フヲ得ス、即チソコニハ先驗的の *apriori* (ノ知識ヲホムルヲ得サレハナリ、ソレハ認識スル能ハサルモノニシテカントノ所云物ソレ自身 (*Ding an sich*) ナリ、吾人ハ各個物ニツキテハ確實ナリト云フヲ得ス、即チソコニハ先驗的の *apriori* ノ知識ヲ求ムルヲ得サレハナリ、マレハ認識スル能ハサルモノニシテカントノ所云物ソレ自身 (*Ding an sich*) ナリ、吾人

ハ各個物ニツキテソレガ主観的の形式ニ入り得ル限リノモノヲ認識シ得ルモノニシテソレニ法則並ニ原理ヲ立ツルコトニヨリテ本向ヲ組織シ得ルナリソレ以上ニ個々ノ物体ノ性質類レリトスレハソレハ知識ノ領分ニ入り得ルモノニアラス、ソレハ時々刻々ノ實際ノ場合ニ変更スルモノナリ、寧ロコレハ実行上ノ向題トナル、即チ如何ニ物ヲ取扱フカ向題トナルナリ、コノ意味ニテ本向ハ形式的ニシテ主観的ナルモノト云ヒ得ヒ得ヘシ(哲學ハ本向ノ中最モ主観ナレモノナリ)

第四節 真理ノ標準

知識カ形式的主観的ナリトスレハ真理ハ悉ク主観的マシテ相對的ナルモノハミナリ從テ相對的ノ意味ヲ失フニアラサルカ然ラハ之ハ從來ノ真理ニ對スル觀念ヲ覆スニアラスヤ是レ以上ノ說ノ批准ヲ受クル莫ナリ、抑モ真理トハ何ソヤノ向題ハ極メテ旧クヨリ存在ス、吾人ハ此ノ向題ニ先テ先ツ真理ハ何所ニ存スルヤノ向題極言スレハ真理ハ

一 体外物ニアルカ觀念ニアルカノ向題ヲ考究セシ、曰ク何レモ存セス、蓋シ真理ハ虚妄ト被ルル觀念ナリ故、虚妄ナキ所ニハ真理アルヲ得ス、今表象ソレ自身モ外物ソレ自身モ何レモ皆事實ニシテ虚妄ニアラス虚妄ト云フコトハ觀念ト外物トヲ相当スルカ否カラ考ヘタル片ニ初メテ生スルモノナリ、然シ更ニ考フレハ觀念ト外物トハ到底比較スル能ハサルモノナリソレ故ニ茲ニ所云相当スル (*correspondence*) ト云フコトハ皆觀念内ノ事柄ニ歸スルナリ、即チ新ラシキ觀念ヲ従来ノ觀念ノ組織 (*system*) ノ中ニ入り得ルカ否カト云フ事ニ歸着ス、故ニソレハ觀念相互ノ關係ナリコノ關係ハ判断ノ形ニ於テアラハセルモノナリ、故ニ真ト妄トハ畢竟此ノ判断ニ就キテ云フヘキコトナリ、従テ真理トハ判断ノ要素ノ間ニ必然的連結ヲ用フル場合ヲ云フ、故ニコノ意味ニ於テ真理ハ主觀的ナルモノニシテ人ノ判断ト爲レテハ存在シ得サルモノナリ、古ヨリ云フ所ノ真理ヲ深究スルト云フコトハ何等ノ意味ヲナサス、真理ハ相對的ナルモノナリ、然シ作ラ真理トハ全ク人ノ定メタルモノナリヤ、従テ如何ナル意味ニ於

テモ絶對的ナリトハ云ヒ得ヘカラサルカ之ニ付キテハ古ヨリ説ノ分ル、所ナリ、常識ニテハ真理ハ何等カノ意味ニ於テ絶對的性質ヲ有ストナシ全ク心ヨリ独立ナルモノナルコトヲ証セント試ミルモノアリ、之ヲ論理主義ト云フ、一方ニハ真理ハ判断ヲ爲レストノ事實ヨリシテ真理ハ全ク人ニ依テ作ラレタリトナスモノアリ、此ノ説ヲ經驗シテ心理主義ト云フ、其ノ極端ナルモノニ至リテハ真理ヲ以テ相對的ナルモノナリト考フルモノアリ、或ハ全ク之ヲ以テ疑ハサルモノナリ、右者ハ近代ニ勢カヲ有ス、米國ニ起リシ *Pragmatism* ハソノ代表者ナリ、尚之ニ干渉シタル説アリ、

次ニ之等ノ説ヲ批評シテ真理ノ絶對性ヲ考ヘン
Pragmatism (實用主義) ノ語ハ一ハセセ——ハ年頃米國ノ教
 育者ノ *Peirce* カ初メテ自己ノ教育研究ノ方法ヲ表ハスタメニ用ヒシ
 語ナリ、其ノ意味ハ教育辭法ノ當否即チ公式ノ正否ハソノ應用ノ結果ニ
 依テ定マルト云フ意見ナリ、右ニ *William James* コレヲ用ヒ
 テ自己ノ哲學説ノ名トセシヨリ以テ米國界ニ汎マレリ
James モ此ノ説ヲ用フル前ニハ *Radical Empiricism*

等ノ語ヲ用ヒシカ多少ノ意味ヲ與シテ此ノ語ヲ用ヒタリ、又米ノ Dewey 等ノ人々ノ意見ハ細矣ニ於テハ一致セサレモ大体ニ於テ真理ハ實際的効果ヲ有スヘキモノナリト云フ莫ニ於テハ一致ス (*Pragmatism* ハ数学ノ公式カ合フカ合ハヌカ即テ広ク應用サルカ否カニヨリテソノ真理ヲ定ムト云フ意見) ^{陳述} *Pragmatism* ハ第一ニ真理ヲ絶対的トシテ決定セズ故ニ古ノ ^{陳述} *Stoicism* ト共通スル莫アリ、更ニ真理ハ應用ニ依リテ決定スト云フニ故ニ實利的ニ解決サレ易ク一ハ世紀ノ功利主義ハ人性ノ生活ヲ根本ノ標準トナス故ニアル意味ニ於テハ生物學的ト云フヲ得ヘシ、而シテソノ根本基礎ハ經驗ト云フコトニツキテ新シキ解釈ヲ試ミタルコトナク畢竟コノ説ノ中ニハ相對主義、生活本位及ヒ一種ノ經驗論含マル、ト見ルヘシ、今此ノ三ツノ莫ヲ考ヘン

一、相對主義トシテノ *Pragmatism* = 於テハ真理ハ価値ナリト主張ス、ソノ意味ハ真理ト云フモノハ實在セズ、只之ニ對シテ人々ノ下ニ価値批判ト云フコトニ帰着スヘキモノナリト考フルナリ

如斯ニ意味ノ価値ナレハ価値意識ハ個人ニ基クモノニシテ之ニ關シテハ絶対的標準ナキモノナリト云フカ *Pragmatism* ノ論ナリ、即テ価値意識ハ人々ニ特別ニ具ハレルモノナリト云フ議論生レ来ルカソレハ価値ナルモノ、心理的起原ノ向題ニシテ価値ソレ自身ノ向題ニアラサルコトヲ明カニセサルヘカラス、価値ソノモノハ心理的個人ヲ根柢トセシテ論理的主觀ニ基クモノナリ、即テ多クノ人ノ有スル価値意識ノ固ニハ何等カノ共通点アリト云フコトヲ吾人ノ假定セリ、然ラサレハ価値タルノ效能ナシ *Pragmatism* 自身モ暗ニミテ認メ個人主義ニ陥ルコトヲ避ケツ、アリ、然ラハ *Pragmatism* ノ立場ヨリ如何ニシテ之ヲ証明スルヲ得ルカ、此ノ場合彼等ハ進化論ヲ採リテ社会的陶汰ノ説ヲ立ツ、即テ或ル種ノ事柄カ社会ノ多数且有カナルモノニヨリテ認メラル一般ノ人々ニ許サル、ニ至リ然ラサルモノハ指令価値アルモノノ価値減フルニ至ルモノナリト云フ、而シコレハ既ニ個人ノ標準ノ間ニ一致ノ存スルコトヲ暗ニ認ムルモノニシテ純然タル相對説ト認ムル能ハス、又更ニ考フレハゴ、説ハ真ニ論理的標準ヲ示スモノニアラス、何トナレハ社会ノ多数カ一致スル

ト云フ事實ハ必スシモ普遍的妥當性ト一致スルト云フ意味トハナラス、更ニ又一致スルト云フ理由ナケレハ要スル所ノ普遍妥當性モナキ歟ナリ、既ニ一致ヲ認ムレハアル種ノ相對的ナルモノヲ假定スヘカラサルニ至ル故ニ相對主義ハ自家撞着ニ陥ルモノト云フヘシ

ニ、生活主義ハ前云生活作用ヲ以テ各人ノ意識スル所口ニ止メタランニハ之ハ單ニ標準ノ心理的過程ヲ説クニスキス所云生活ノ效果ハ各人個々ナラサルヘカラス、然シキテ *Pragmatism* ニテハ生活ヲ標準トスル以上ハ何等カ一定シタルモノヲ假定スト云フヘシ又事實假定セルコトヲ吾人モ認ムルナリ、斯クハ如ク一定シタルモノハ必ス一ツノ判断ノ形ニテ云ヒ表ハシ得ルモノナリ、即チ一種ノ知識トシテ表ハレサルヘカラス、換言スレハ理想或ハ規則等ノ形ニテ表レサルヘカラス、如斯クナラハ *Pragmatism* ガ生活ノ效果ヲ説ク場合ニハ予メ一種ノ知識ヲ予想スルコト、ナラサルヘカラス、然シ一歩譲リテ生活ニハ必スシモ知識ヲ予想スルモノニアラスト云フ論ヲ立ツレハソレモ一説ナルカ而シソノ根本タル生活自身ニ何等カノ統一ナルヘカラス、而シテソノ

統一ト云フ事ハ一種ノ知的形式(論理關係)カ表ハレタルモノト見サルヘカラス、如斯クシテ生活ノ效果ト云フコトヲ標準トスルカタメニハ生活ノ前ニ知識ヲ假定スルカ若クハ生活要素ノ中ニ知識ヲ假定スルカ何レカニツノ方法ヲトササルヘカラス、前者ナラハ明カニ理性主義ト一致スル矣アリ而シテ後者ハ曖昧ニシテ右看カモシ極力知識ヲ排斥スルモノナラハソレハ生活ト知識トノ連絡ヲ絶ツモノニシテ望ム所ノ結果トナラス、之ニ及シテ何等カノ連絡ヲ許スナラハ同様ニ理性主義ト一致スルモノナリ、
三、經驗論的、經驗ヲ以テ普通ニハ單ニ知識ト考フルモ *Pragmatism* ハ之ニ及シシ之ヲ單ニ生活上ニ開アルコト、ナセリ、此ノ見方ハ一面實踐アレモ之ヲ究ムレハ經驗ノ中ニ暗ニソノ統一看ヲ認ムルカ故ニ矢張一種ノ理性的要素ヲ假定セルモノト云フヘシ、之ハ前ニ經驗論ト理性論ノ中ニテ論セシ所ナリ、要スルニコノ *Pragmatism* ハ心理主義生功學的認識論及ヒ經驗論ノ結合ニシテ從テソレ等ノ亭説ノ中ニ念マシ、長所短所ヲ併セ有スト云フヘシ故ニ古来所云絕對的真理ト云フコトハ今日ノ知識研究ヨリスレハ能ハサレハ然シアル種ノ絕對即チ相對的絶

対換言スレハ相對ノ極限トシテノ絶対ハ全ク説クコト能ハサルコトニア
ラス、然シナカラ絶対ト云フコトニハアラス吾人ハ主観説ヲ採レルカソ
ノ中ニ客観的實在ト云フモノヲ如何ナル歟マテ含ミ得ルカハ尚木更^相倍ニ
存究ヲ要スヘキコトナリ、

第五節 客観的實在

客観性ト云フコトノ要求ハ總テノ知識ニオイテ当然含マル、所ナリ、如
何ナル程度マテ此ノ要求ヲ充タスヲ得ルカ更ニ新ナル問題ナリ、既ニ速ハ
タル如ク觀念ハ理論上ハ極トテ有カナルモノナルカ然シ常識ト遠キ感アレ
ハ一方ニ客観的實在説ヲナスモノ多シ、此ノ説ハ多少 Pragmatism
ニモ近キモノナルカ Pragmatism、相對論的觀念論的傾向ニ反對
シ又古来ノ絶対觀念論唯心論等ニモ反對セルモノナリ、即チ此ノ説ハ吾人
カ日常見ル所ノ外界ソノモノカ如實ニ實在スルモノナリト主張ス、ユノ説
ハ種々アレトモ總稱シテ新實在論 *New Realism* ト云フ、ユノ思

想ヲ主張スルモノハ米國ノ新進ノ本者ニ多シ *Marvin Spaw-*
ling Perry 等ノ一派大人ハソノ主ナルモノナリ、尚ユノ思
想ハ英國ノ *Russell* 等ニモ形式論理トテ根柢トシテ哲學上勢カア
ル觀念論ニ及極シタリ、ソノ主要ナル論矣ハ
①、觀念論ニテ問題トスルS(主観)ノ(客観)ノ關係ヲ初メヨリ決定
シテ論議スル必要ナシ
②、觀念論ハ唯我論ニ陥ル
③、觀念論ト唯心論トハ結局同一ナリ
④、此等ハ主トシテ *Berkeley* ノ思想ニ對スル及對ナリト見ルコ
トヲ得
コノ以上ノ諸矣ハ一言ニテ云ハハ論者カ觀念論ヲ誤解シ目ツ問題ヲ
理解セサルコトニ歸ス、即チ第一ニ實在論者カ自明ナリトスルS(主
観)ノ(客観)ノ關係ハ實ハ反對論者ニトリテハ未解決ノ問題ナリ、
故ニコノ論ハ或長ナリト云フヘシ、次ニ實在論ハ論柢トスル所ノ材料
孝上ノ事實ト法則ト客観的ニ存在スルモノトシ此等ニ干シテ論及スル

場合ニ形式理論ノ万能ヲ信セリ、然ルニ此等ノニツハ共ニ仮定ニシテ
 哲學上屢々論セラル、所ナリ、且ツ *Peirce* ノ新實在論ハ哲學ノ内
 題トスル所ヲ總テ論セシテ自ラ認ニ哲學ヲ論セル傾アリ、ソノ論ニ
 テ採ルヘキ莫ハユノ論者ハ一般ニ理性的合理的ト云フコトニ重キヲ置
 ケルコトナリ、今日ノ一般ノ方向ハ主意識ニ傾ケルカソレニ対シテ
 主知説ナルコトカソノ長所ナリ、ソレ故ニ實在ト云フコトヲ認識論的
 ニ考フレハ結局觀念トナサ、ルヲ得ス、即チ意識内容タルヲ免レス如
 何称ニ意識外ノ事實即チ客觀的事實ヲ假定シテモソレカ認識セラル、
 トギハ意識内容ノ一ツトシテ表ハルモトナリ、如何ニ意識ヲ超越セ
 ントシテモ結局意識ニ内在セリト云フコトニ歸着ス、又意識内部ニ於テ
 意識内容ト意識スレモトノ區別ハ生ス

obj

Subj or B

Bewusstsein
Bewusstseinsinhalt

此ノ場合ニ意識者ヲ狭義ノ主觀トスレハ意識内容カ狭義ノ客觀ナリ、コ

高一三

哲學二十四

コノ意味ニテ觀念論ニテモ客觀的實在ニ個人的主觀トヲ対立セシムルコト
 得、故ニ吾人モアル意味ニテ客觀的實在ヲ説クモソレハ主觀内ノ客觀的實
 在ヲ意味スルナリ

subjective objects
 subjective object — 吾人ノ所云客觀
 Object — 吾人ノ向題トナラス物ソレ自身向題ハ哲學ノ向題ニアラス

然ラハ此ノ實在ヲ如何ナル性質ヲ有スルモノトシテ説クヲ得ヘキカ普通
 ノ意味ノ實在ハ假定シタルモノト云フ觀念ヲ與フルモノナレバ客觀ノ要求
 ヲ充タスタケノ性質ヲ有スルノミ、如斯キ意味ハ故ニ述ヘタル価値ト云フ
 觀念ニテ最モヨクアラハサル、今吾人カーツノ判断ハ知識ト下ス場合ニ
 ソノ判断ノ本質ト歎スヘキ莫ハアル事ヲ云ヒ表ハスコトニ存セスシテソ
 ノ事實ノ云ヒ表ハシ方ノ一般ノ人ニ兼認セラレ得ルヤ否ヤニアリ、即チ例
 ヘハ「此ノ花ハ美シト云フ判断ニテ美シト云フ實際ノ事實ヲ表ハスコト
 カ此ノ判断ノ主張ガラス、コノ花ハ美ト認メラルヘキ筈ナリト云フコト
 ハ此ノ判断ノ根ノ意味ナリ、而シテ判断ノ根本ハ「認メラルヘキ筈」ト云フ

所ニアリ、即ち判断ノ本質ハアリ (Dein 實在) ト云フコトニアラスシ
 テ可シ (vallem 当爲) ト云フコトニ存スト云フヘシ、コノ可シノ中ニ
 ハ或ル価値ノ觀念ヲ夢想ス、故ニ判断(知識)ノ最良ノ根柢ニハ常ニ *idea*
form 或ル価値ト云フモノヲ含マレテ之カ普通ノ場合ノ所云實在ナルモノ
 ノ代用ヲナセルナリ、コノ事實ヲ更ニ進メテ当爲ニアル超越的ノ意味ヲ与
 フレハ超越的当爲ナルモノヲ考フルヲ得、之ハ *overdetermined* ノ考ヘニシテ
 之ヲ超越的当爲ト云フ、斯クシテ哲学上ノ向題ハ從來ノ如ク實在ノ向題ヲ
 與シテ価値ノ向題ニ移リタリト云フヘシ、知識哲学ハ今迄ノ形而上学ヲ駁
 撃シテ此ノ新ラシキ価値ノ哲学ノ基礎ヲ定ムルモノト云ハサルヘカラス、
 斯クシテ知識哲学ハ併セテ真理価値ヲモ論ス、其ノ他ノ価値ハ人ノ行為ニ
 屬スル価値ナリ故ニ知識哲学ニ對シテ行為ヲ發活シタル価値ノ意向ナカラ
 サルヘカラス、之ヲ人生哲学ト云フ、コノ人生ノ価値ハ文化価値ニ總括ス
 ルヲ得、故ニ此ノ方面ノ哲学ヲ文化哲学ト名ツクルヲ得可シ、文化哲学ハ
 文化現象ノ根本ヲ研究シ又文化科学ニテ基礎トスルトユロノ既定ヲ考察ス
 ル事ナリ。
 哲学 終り

大正十三年十月二十五日 印刷 (非賣品)
 大正十三年十月三十日 發行

東京市麹町区飯田町三丁目九番地

編輯兼 發行者 矢田長次郎

同 上

印刷所 北光社

(振替口座東京二五一五一番)

14.
70/1

終

